



Salesforce連携オプション セットアップガイド

最終更新日: 2025.1.30

Version: 1.0.0

株式会社取引先オロ クラウドソリューション事業部



目次

1. はじめに
2. 本サービス利用の前提条件
3. クイックガイド
4. AWSアカウントの作成
5. Salesforceコネクタのセットアップ
6. ZAC APIの利用設定
7. アプリケーションのデプロイ
8. Salesforce各種セットアップ
 - カスタム項目の調整
 - Salesforce商談画面の調整

目次

10. フェーズIDの変換

11. 連携の調整

12. 連携の確認

- ・商談-案件連携

- ・取引先-クライアント連携

13. 連携の終了

14. 定期実行の設定

補足)AWSアカウント作成の流れ

参考)Salesforce「developer Edition」環境の作成

参考)連携フローを変更したい場合

参考)Salesforce・AWS公式ドキュメント各種

はじめに

ガイドの目的

このガイドでは、オロが提供するSalesforce連携オプションの各種機能である連携コネクタ、カスタム項目連携機能、連携フローテンプレートのセットアップ、連携の確認/開始方法について説明します。

AWSの各種サービスやZACのAPIを使用したことがないお客様が、容易に連携フローを作成し、Salesforceとのデータ連携ができるようになることを目的とします。

Salesforce連携オプションの概要

Salesforce連携オプションはZACのAPIと通信し、ZACへの連携が可能なデータの転送・変換を提供するプログラムです。

Salesforce連携オプションは以下のAWSサービスを組み合わせて動作します。

- AWS Lambda (<https://aws.amazon.com/jp/lambda/>)
- Amazon Athena (<https://aws.amazon.com/jp/athena/>)
- AWS Secrets Manager (<https://aws.amazon.com/jp/secrets-manager/>)
- Amazon S3 (<https://aws.amazon.com/jp/s3/>)
- Amazon DynamoDB (<https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/>)
- Amazon AppFlow (<https://aws.amazon.com/jp/appflow/>)
- AWS Glue DataBrew (<https://aws.amazon.com/jp/glue/features/databrew/>)
- AWS Step Functions (<https://aws.amazon.com/jp/step-functions/>)
- Amazon EventBridge (<https://aws.amazon.com/jp/eventbridge/>)

Salesforce連携オプションの配布はAWS Serverless Application Repositoryのプライベートアプリケーション(配布先を限定したアプリケーション)を通して行います。

連携のテストについて

Salesforce連携オプションでは、本番環境での連携(取り込み)前に「チェック実行機能」をご利用いただくことでZACとSalesforceの連携テストを行うことが可能です。

本機能ではチェック実行のみ行い、実際の取り込みは行わないため、連携のテストで連携エラーデータの修正後に実際の取り込みを行っていただく流れを推奨しています。

連携テストを行う環境として、ZACについてはテスト環境、

Salesforceについては「Sandbox」(https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.data_sandbox_create.htm&type=5)、

または「developer Edition」(<https://developer.salesforce.com/signup>)をご利用ください。

※1回のセットアップにつき、連携先はテスト環境もしくは本番環境のどちらか1つとなります。テスト環境での連携を実施する場合、別途本番環境への連携をセットアップする必要があります。

セットアップ項目整理シートについて

弊社から提供させていただく各種アプリケーションのセットアップ時に必要な項目の整理としてセットアップ項目整理シート (<https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ia/articles/42820037878937>) をご利用いただくことが可能です。

本資料の目的

当社より提供する「連携フローテンプレート」とは、当社が定めた標準的な連携フローに基づき、定期的にデータの出力・項目間のマッチング・データの変換・データの取込を行うものですが、お使いのZACの設定内容により、ZACへの取込項目が異なっている場合がございます。設定内容によって、お客様にて項目のマッチングやデータ変換の修正が必要となりますので、そのための整理としてこちらのシートをご活用いただくことを目的としています。

本資料の内容

- シート「**マッチング整理**」
 - 本ガイドを基にセットアップを進めていただく際の、設定が必要な連携項目の入力値についてメモ
 - 「[8. Salesforce各種セットアップ](#)」以降でご活用いただけます。
- シート「**【標準】Salesforce商談フェーズ**」
 - 本ガイドを基にセットアップを進めていただく際の、Salesforce側の商談フェーズおよびカスタム項目の整理
 - 「[9. フェーズIDの変換](#)」でご活用いただけます。

2. 本サービス利用の前提条件

契約・料金・サポート範囲に関して

- ・アウトプット出力APIオプション、案件取込APIオプション、Salesforce連携オプションの契約が必要です。
- ・お客様にてAWSアカウントを作成いただく必要があります。
- ・オプション料金の他にSalesforce利用料、各種AWSサービス利用料が発生します。
- ・Salesforceや各種AWSサービスに関する問合せはお応えいたしかねます。公式ドキュメントを参照いただくか、各種サポートをご利用ください。
(参考)Salesforce 公式ドキュメント(<https://help.salesforce.com/s/products/sales>)
(参考)AWS Support プラン(<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/>)
- ・SalesforceがAPIアクセス可能な契約プランでないにご利用できません。
(<https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000385436&type=1>)
- ・ZACのオプション機能であるテーブルデータ取込(案件取込)の取込のキーコードが「JobNo.」となっている場合はご利用できません。

出カコネクタに関して

- ・当社より提供する「出カコネクタ」とは、ZACのアウトプットAPIを実行できる「ZacApiAthenaConnector」とZACアウトプットの出力条件の指定ができる「カスタムテーブル機能」から構成されています。
- ・カスタムテーブル機能を使用して作成したテーブルデータは、AWSのデータストレージサービスであるS3にデータが格納をされます。
- ・データ取得処理に使用するAWS機能の制限により、ZAC API呼び出し1回あたりの応答時間が長い場合、自動的にAWS機能の制限内となるように調整します。そのため、1種類のデータを取得する場合でも複数回のZAC API呼び出しが実行される可能性があります。
- ・Salesforce連携オプションでは、カスタムテーブル機能のデータ保存機能は使用しません。データ保存機能を使用した場合、AWSサービスの利用料が増加する可能性があるため、Salesforce連携オプションのみご契約の場合は、利用しないようお願いいたします。
- ・Salesforceからのデータの出力は、Amazon AppFlowが提供する公式のSalesforceコネクタを使用しています。

取込コネクタに関して

- ・当社より提供する「取込コネクタ」とは、Amazon AppFlowで使用可能なZACのテーブルデータ取込(案件取込)APIに対応したカスタムコネクタであり、Amazon AppFlow上でデータの取込が実行できるコネクタです。
- ・Salesforceへのデータの取込は、Amazon AppFlowが提供する公式のSalesforceコネクタを使用しています。

連携フローテンプレートに関して

- ・当社より提供する「連携フローテンプレート」とは、当社が定めた標準的な連携フローに基づき、定期的にデータの出力・項目間のマッチング・データの変換・データの取込を行うものです。
- ・連携フローテンプレートは、お使いのZACが複数売上オプションをご利用か否かで、連携項目が異なります。
- ・連携フローテンプレートは、お使いのZACの設定内容により、お客様にて、項目のマッチングやデータ変換の修正が必要です。テーブルデータ取込(案件取込)機能の仕様書における取込必須項目と、連携フローテンプレートが定義する標準項目の差分をご確認のうえ調整いただきます。
- ・連携フローテンプレートは、お客様側で連携の設定内容の変更が可能です。お客様の判断により標準連携フローから変更をする場合は、お客様の責任にて変更を実施していただく必要があります。
- ・ZACの禁則文字を含むデータは、Salesforce上で入力できていてもZACに連携することができませんので、ZACの禁則文字を含まないようにSalesforceへの入力していただく必要があります。(ZACの禁則文字 <https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ja/articles/441210177871>)

カスタム項目連携機能に関して

- ・当社より提供する「カスタム項目連携機能」とは、ZACとSalesforce との連携において必要となる項目(ZACへの連携項目、連携の実行結果等)を、Salesforce のカスタム項目に新規作成/更新をする機能です。
- ・ZACの出力マスタAPIが用意されていない項目については、カスタム項目のラベルと内部値をお客様側で手動で登録していただく必要があります。
- ・カスタム項目連携機能は新規作成/更新する項目(カスタム項目)を標準環境を基に定義しております。標準環境よりZACへ設定変更を行いテーブルデータ取込(案件取込)の取込項目に変更がある場合は、Salesforceの商談オブジェクトにてカスタム項目の追加と連携フローテンプレートの修正を実施していただく必要があります。

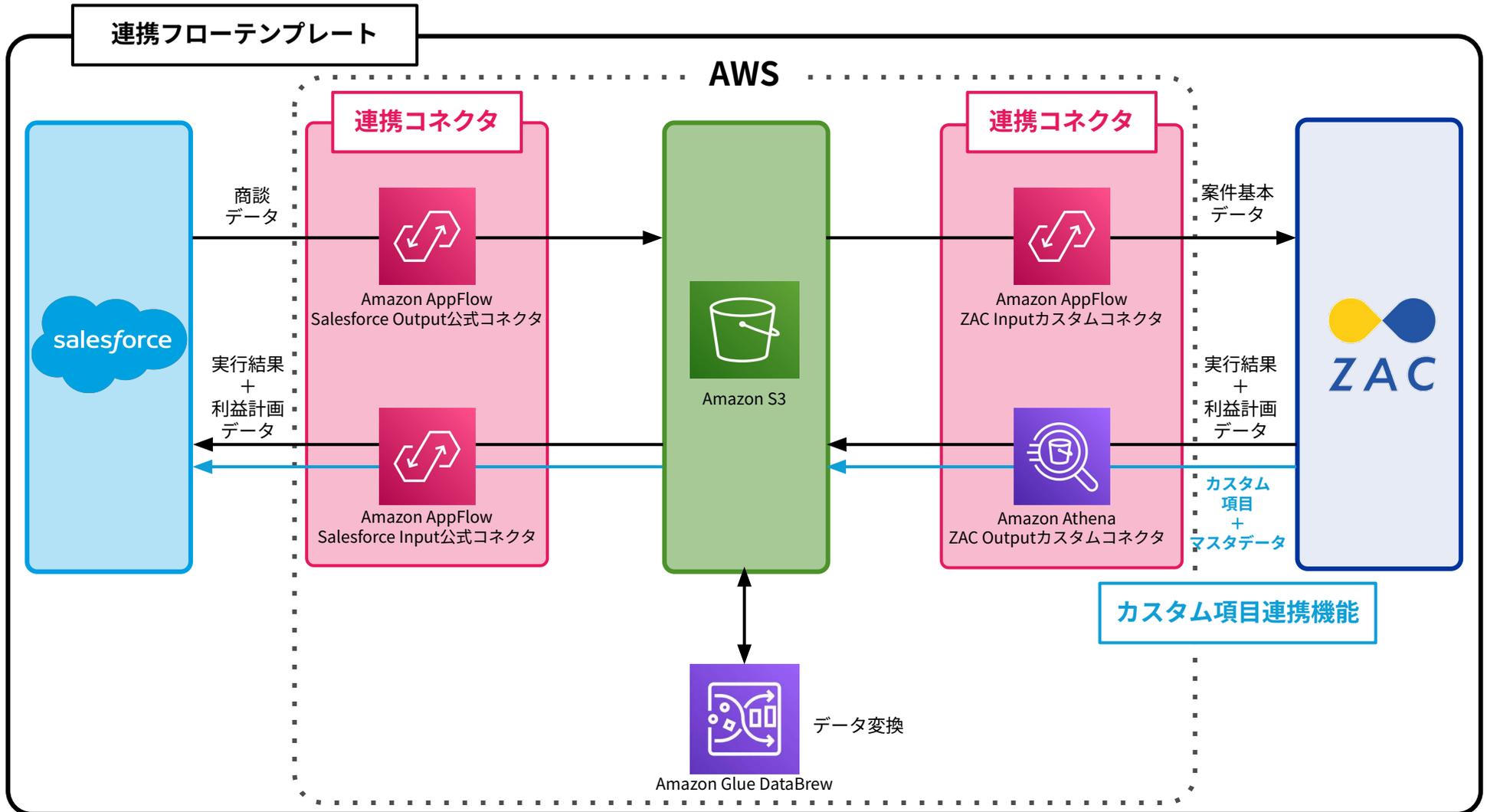
連携の頻度に関して

- ・SalesforceとZACの商談の連携の頻度は、土日を除く、7:00～19:00までの12時間で、1時間に1度(毎時0分付近)に実行がされます。(進捗が受注以降に移動されると、6:00で、1日1回の連携となります)
- ・カスタム項目連携については、6:00で、1日1回の連携となります。
- ・取引先-クライアント連携については、6:30で、1日1回の連携となります。

3. クイックガイド

概要

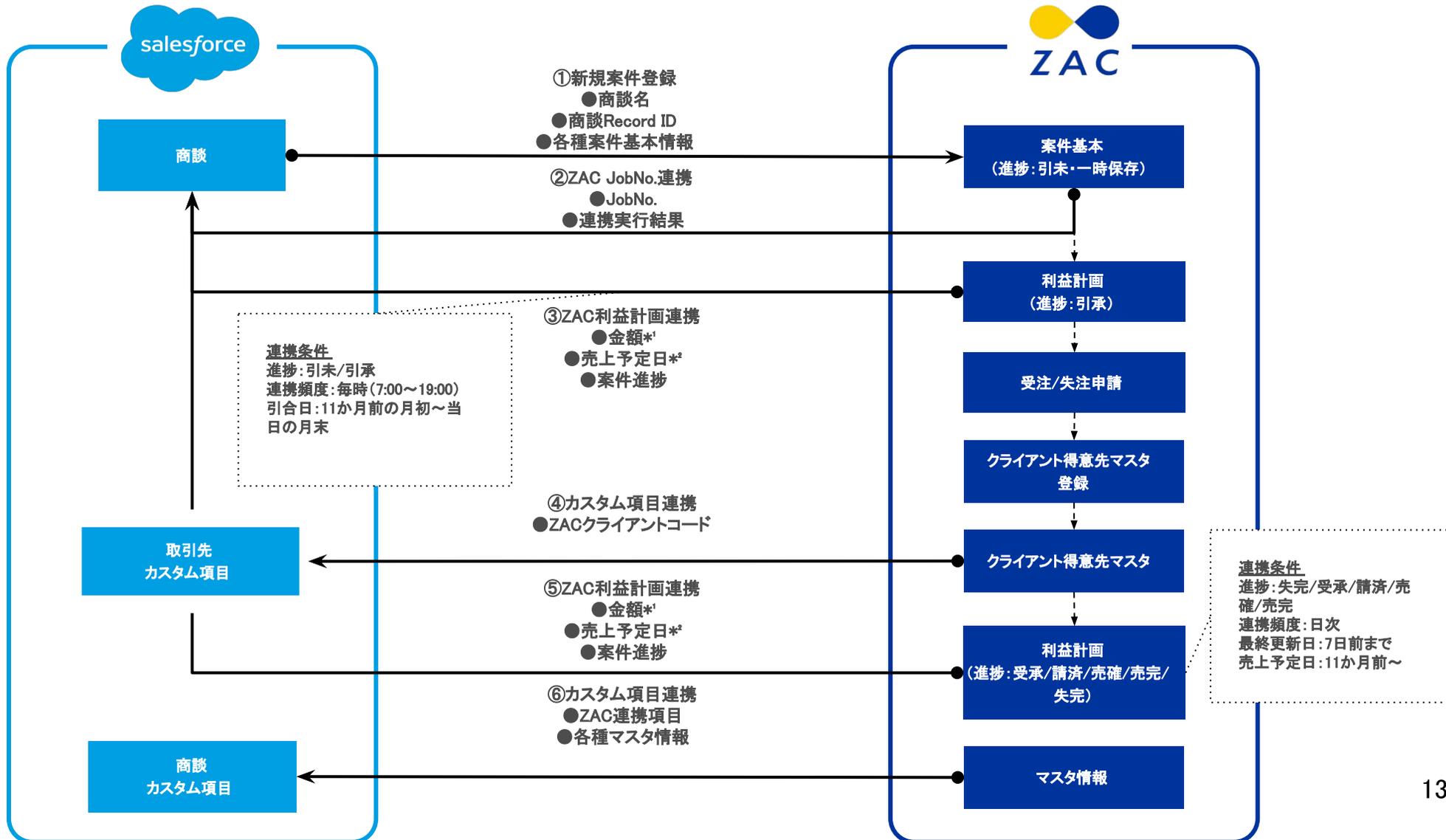
Salesforce連携オプションでは、汎用的な連携コネクタ、すぐに連携を開始できる連携フローテンプレート、最新のマスタ情報が連携されるカスタム項目連携機能の、主に3つの機能から構成されています。



連携の概要: 連携フロー

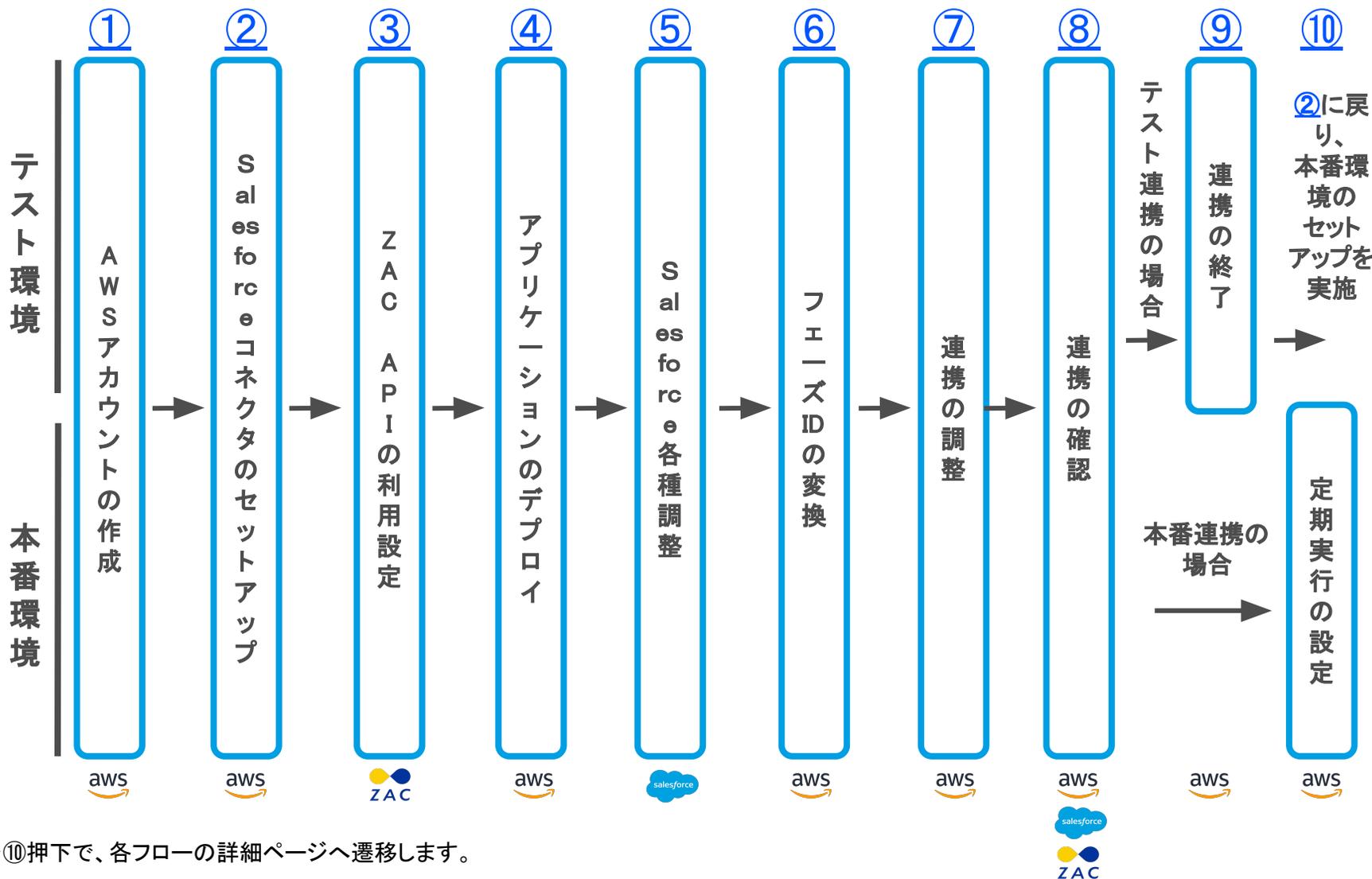
案件基本情報はSalesforceからZACに連携がされ、利益計画の情報はZACからSalesforce に連携がされます。

*'金額は案件進捗が引未では連携されず、引承から連携されます *'売上予定日は、複数売上環境の場合、ZACからSalesforceへ連携されます。



セットアップの流れ

本ガイドで解説をしているSalesforce連携のセットアップの一連の流れを記載しています。連携の確認にあたりチェック実行機能、またはZACテスト環境とSalesforceのSandboxまたはDeveloper Edition環境での検証を推奨しております。内容が重複する部分があるため、テスト環境と本番環境の混同にご注意ください。

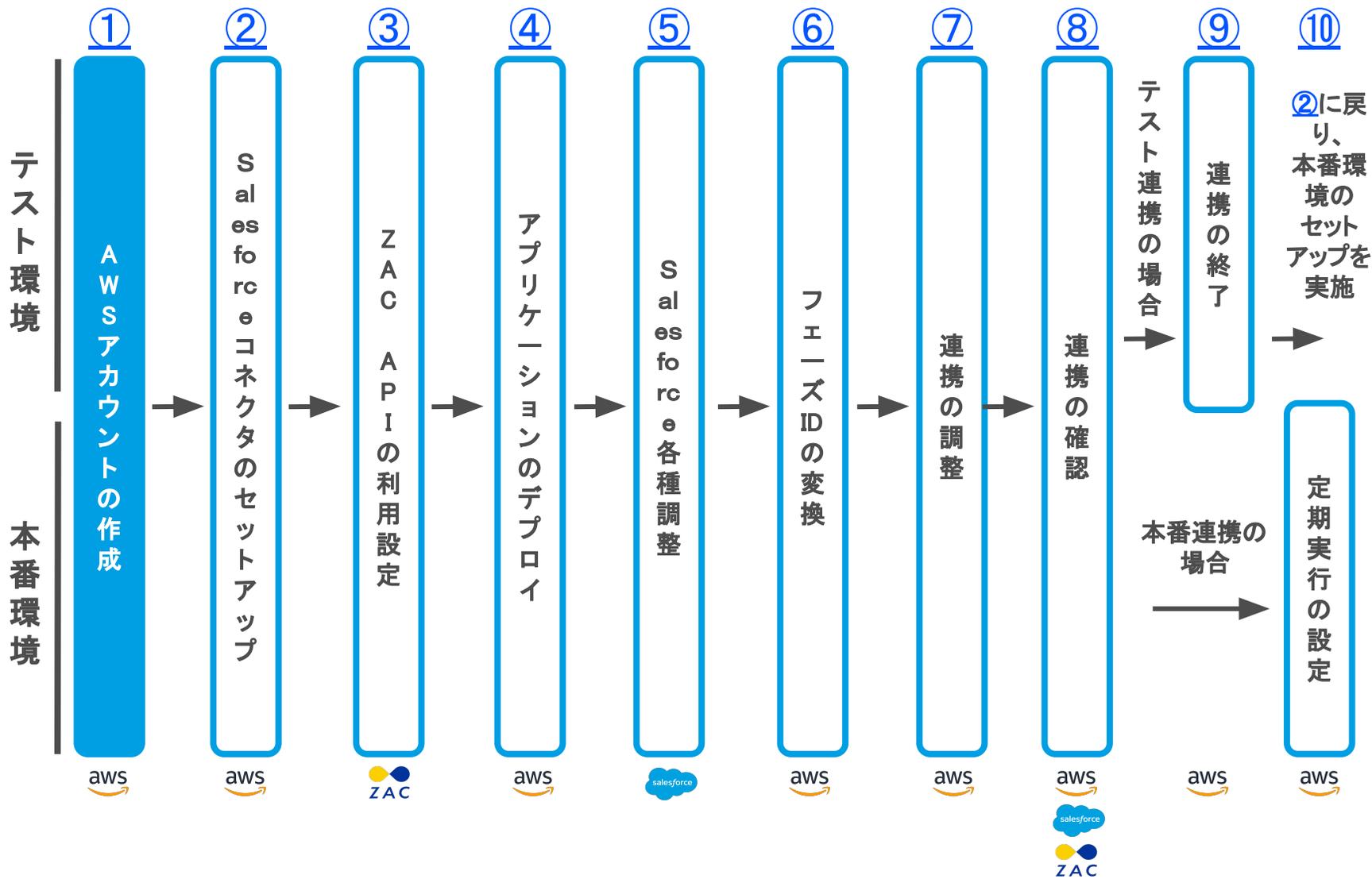


※①～⑩押下で、各フローの詳細ページへ遷移します。

4. AWSアカウントの作成

本章の目的

本章では、Salesforce連携オプションを使用するために、AWSアカウントの作成を行います。



AWSアカウントの作成

Salesforce連携オプションを使用するにあたり、AWSアカウントの準備が必要となります。

以下のAWS公式のドキュメントまたは本資料「[補足\)AWSアカウント作成の流れ](#)」に従って作成をお願いします。

※貴社にてAWSアカウント作成の手順がある場合はそちらに従ってください。

※既存のAWSアカウントでSalesforce連携オプションを使用することもできます。その場合は作成されるリソースの管理にご注意ください。

リソースの変更によりSalesforce連携オプションが使用できなくなることがあります。

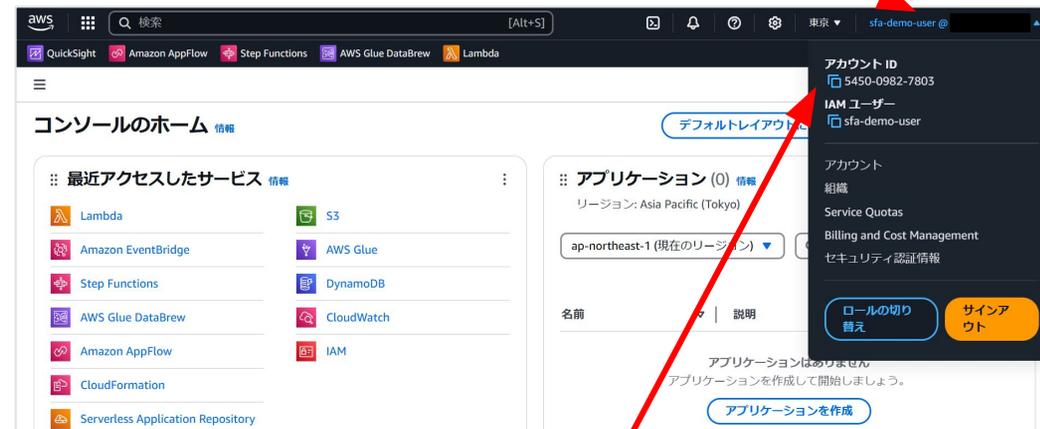
AWSアカウントIDの弊社へのご連絡

Salesforce連携オプションを貴社AWS環境でご利用になるには、Salesforce連携オプションを配布しているプライベートアプリケーションにて貴社のアカウントへのアクセスを許可する必要があります。

AWSアカウントの作成完了後、AWSコンソールにログインして頂き、下記の手順に従ってご連絡をお願いします。

- ① ホーム画面右上のアカウント名をクリックします。
- ② アカウントIDの左端のアイコンをクリックします。
- ③ クリップボードに12桁の数字が保存されますので、オロの担当者宛にご連絡ください。

① アカウント名をクリック

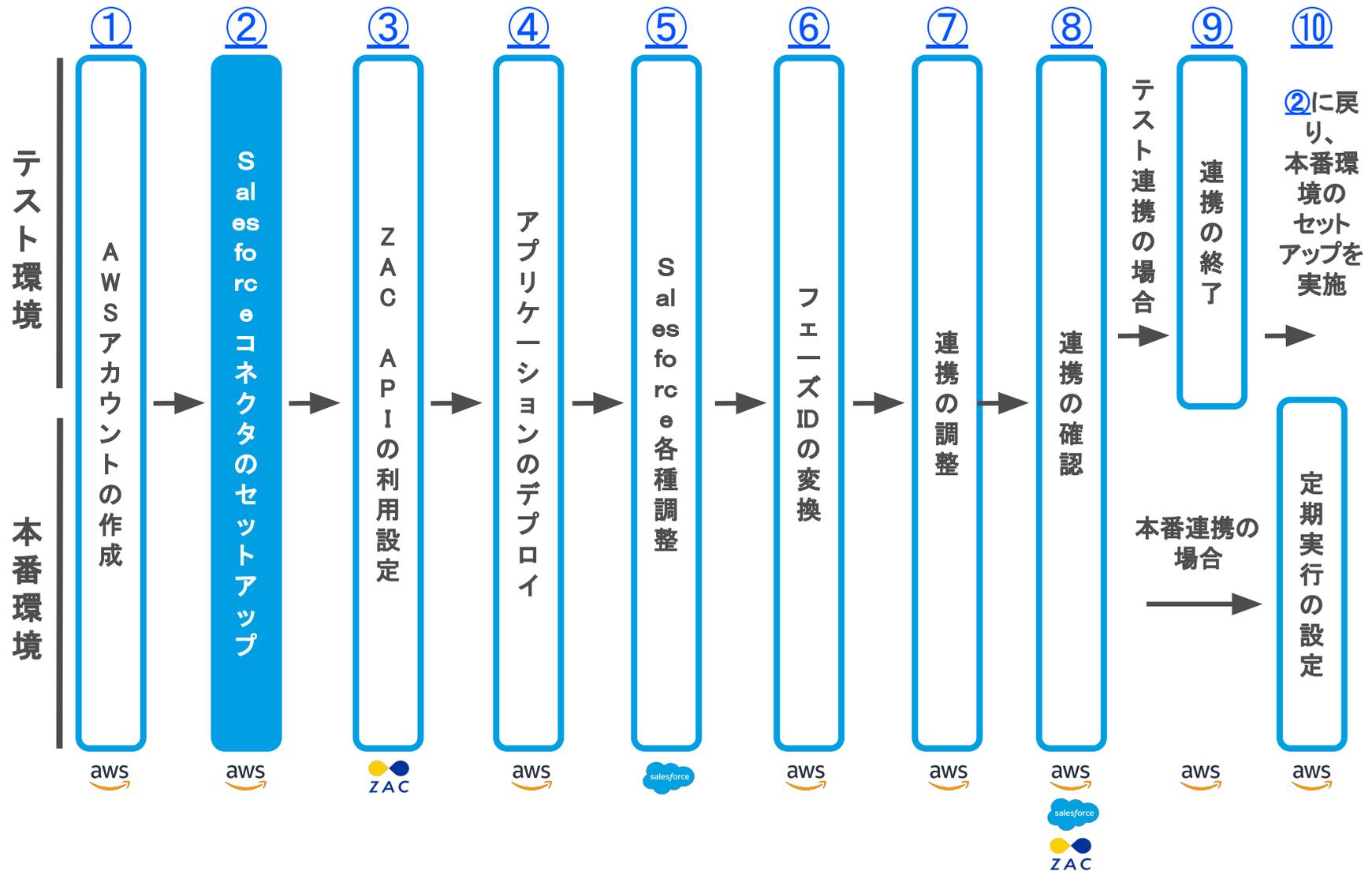


② アイコンをクリック

5. Salesforceコネクタのセットアップ

本章の目的

本章では、SalesforceとZACの案件情報を連携するための「Salesforceコネクタ」のセットアップを行います。



AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

AWS環境とSalesforceの接続を実施します。

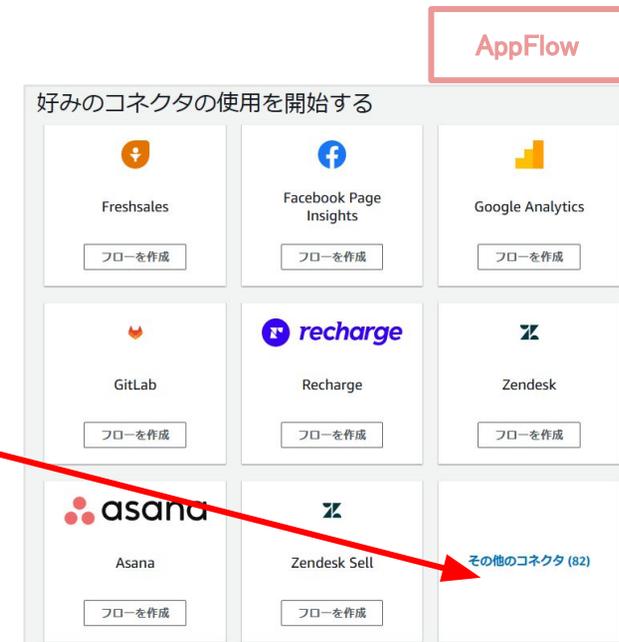
【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① AWSコンソールのリージョンが「東京」になっていることをご確認ください。「東京」以外になっている場合は、プルダウンより「アジアパシフィック（東京）ap-northeast-1」を選択してください。
- ② ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ③ 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ④ ページ下部の「好みのコネクタの使用を開始する」より「その他のコネクタ」を選択します。



③ Amazon AppFlowをクリック

④ 「その他のコネクタ」をクリック



AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ④ ページ左側の「接続」を選択します。
- ⑤ 「コネクタ」のプルダウンから「Salesforce」を選択します。
- ⑥ 「接続の作成」をクリックします。
- ⑦ 以下に各設定項目についての説明を記載します。

- 接続名
「接続名」を入力します。
本番用は「salesforce-profile-prod」
テスト用は「salesforce-profile-test」と入力してください。

- Salesforce 環境
本番用は「Production」、
テスト用は「Sandbox」を選択してください。

- PrivateLink
「無効」を選択してください。

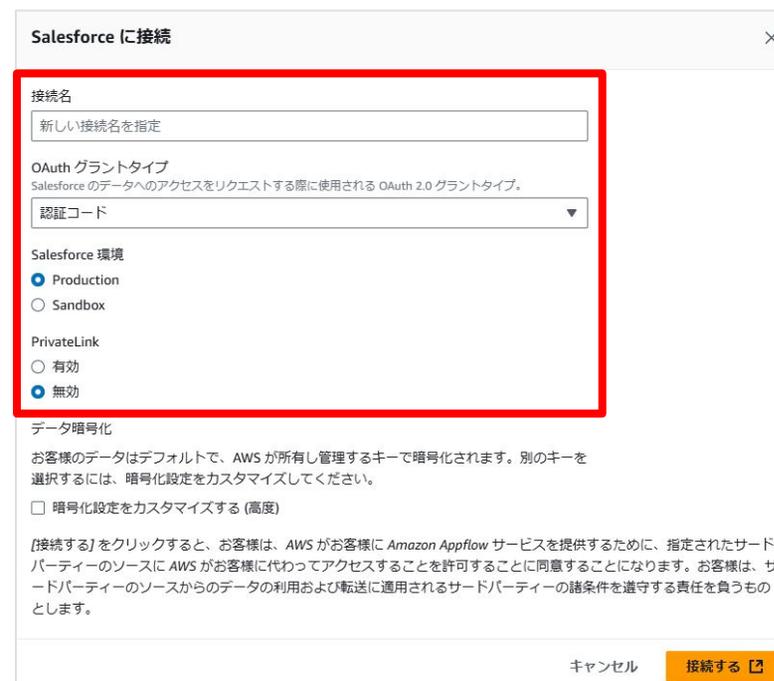
- ⑧ 最後に「接続する」をクリックします。



⑤ コネクタから「Salesforce」を選択

⑥ 「接続を作成」をクリック

⑦ 各項目の入力



⑧ 「接続する」をクリック

AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ⑨ 表示されるウィンドウでSalesforceにログインし、
連携するアカウントを選択し、
「アカウントを選択」ボタンをクリックします。

※テスト用では「Sandbox」、
本番用では「Production」のアカウントを選択します。

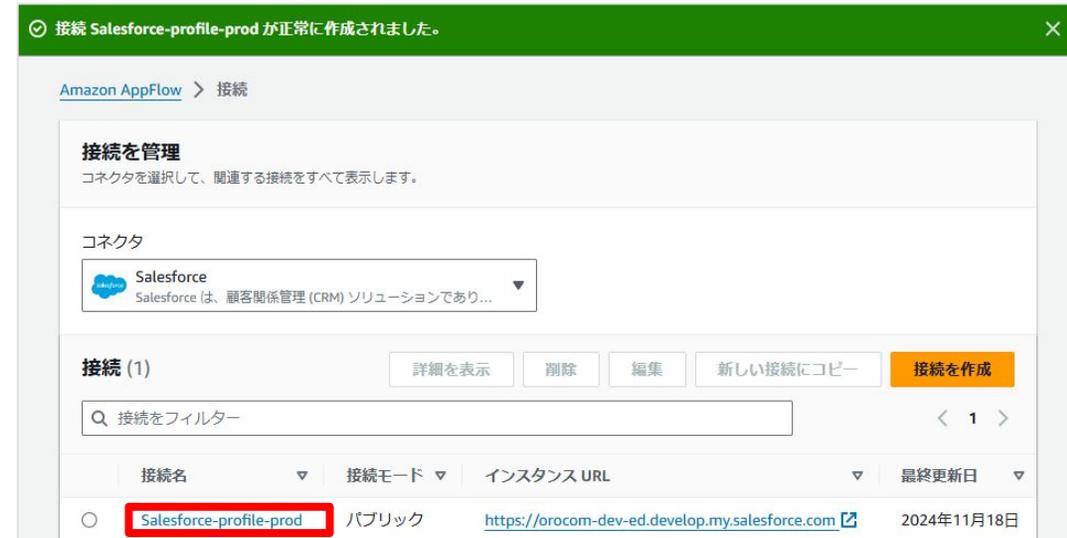
- ⑩ 接続確認のウィンドウが表示された場合は、
確認後、「許可」をクリックします。
(すでに認証済みの場合は、ウィンドウは表示されません。)

- ⑨ テスト用では「Sandbox」または「developer Edition」、
本番用では「Production」のアカウントの
ユーザー名とパスワードを入力

- ⑩ 確認後、「許可」をクリック

AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ⑩ 接続が成功すると、AppFlowで新しい接続が表示されます。
これにより、AppFlowとSalesforceの連携が完了しました。



The screenshot shows the Amazon AppFlow console interface. At the top, a green notification bar states: "接続 Salesforce-profile-prod が正常に作成されました。" (Connection Salesforce-profile-prod was successfully created). Below this, the page title is "Amazon AppFlow > 接続".

The main content area is titled "接続を管理" (Manage Connections) with the instruction: "コネクタを選択して、関連する接続をすべて表示します。" (Select a connector and display all related connections). Under "コネクタ" (Connectors), "Salesforce" is selected, with a description: "Salesforce は、顧客関係管理 (CRM) ソリューションであり..." (Salesforce is a Customer Relationship Management (CRM) solution and...).

Below the connector selection, there is a section for "接続 (1)" (1 Connection). It includes buttons for "詳細を表示" (Show details), "削除" (Delete), "編集" (Edit), "新しい接続にコピー" (Copy to new connection), and "接続を作成" (Create connection). A search bar labeled "接続をフィルター" (Filter connections) is also present.

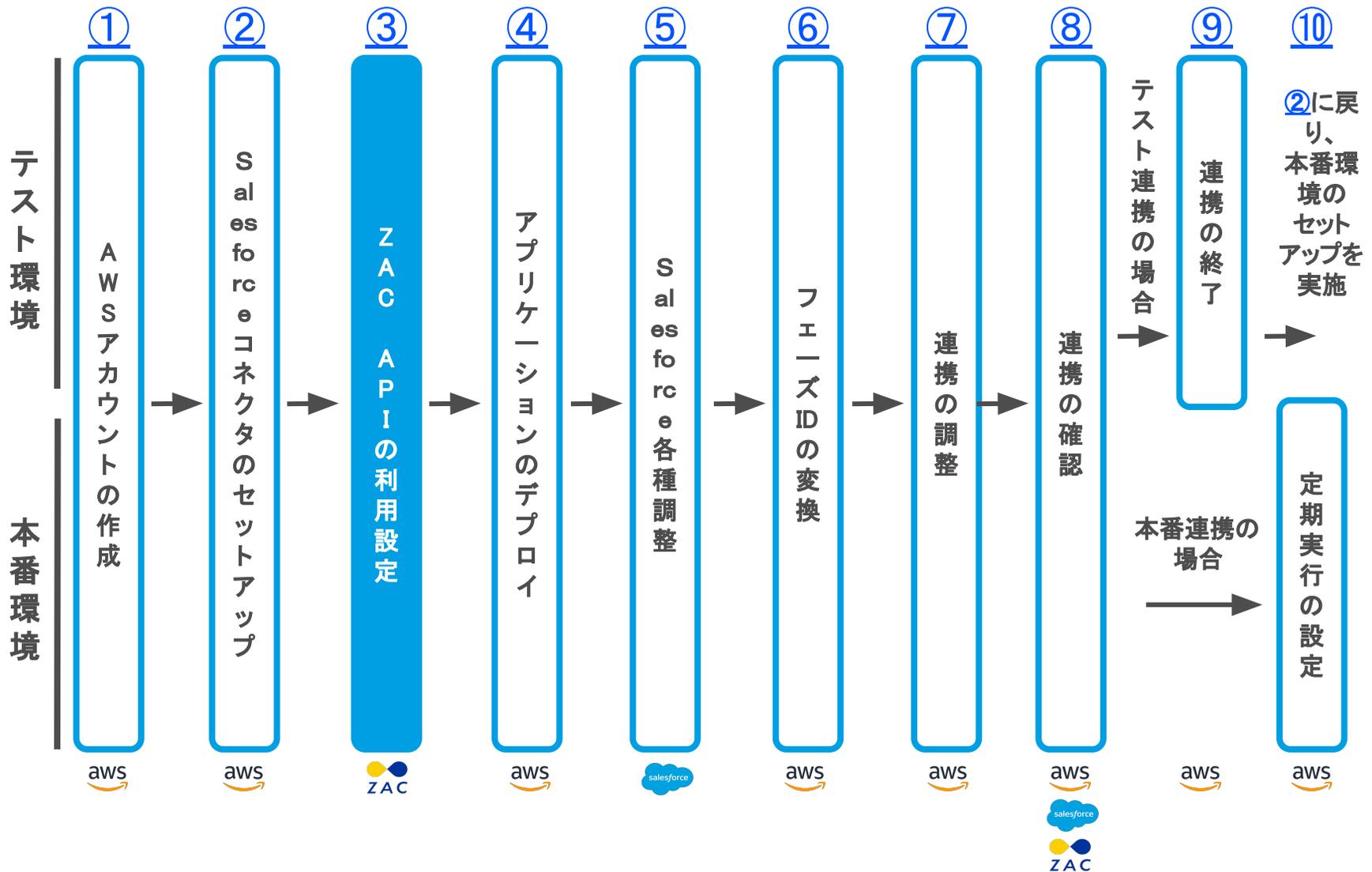
A table lists the connection details:

接続名	接続モード	インスタンス URL	最終更新日
Salesforce-profile-prod	パブリック	https://orocom-dev-ed.develop.my.salesforce.com	2024年11月18日

6. ZAC APIの利用設定

本章の目的

Salesforce連携オプションではZAC APIを使用します。テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、「APIアプリケーションマスタ、社員マスタ、権限マスタ」の設定を行います。



APIアプリケーションマスタの設定

Salesforce連携オプションではZAC APIを使用します。

Salesforce連携オプションからZAC APIへアクセスするための認証方法の設定をAPIアプリケーションマスタにて行います。

貴社ZAC環境にログインしていただき、APIアプリケーションマスタの設定を行います。ZAC TOP画面のメニューから、「経理・管理>マスタ>APIアプリケーションマスタ」を開きます。

※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、それぞれ設定を行います。

- ① 「新規登録」をクリックし、新しいAPIアプリケーションを登録します。
- ② 認証フローを「Resource owner credential flow」に変更します。
- ③ APIアプリケーションマスタに表示される名称を入力します。
- ④ アプリケーションIDを入力します。アプリケーションIDはAPI認証時にパラメータとして渡すID(文字列)です。貴社ZACに登録済みの他のアプリケーションIDと重複しなければどのような文字列でも構いません
- ⑤ 新しいパスワード及び新しいパスワード(確認)を入力します。
アプリケーションIDと同様、認証時にパラメータとして渡す必要のある文字列です。
- ⑥ アクセストークンの有効期間を129,600に変更します。
アクセストークンは貴社AWS環境の認証情報管理サービス(AWS Secrets Manager)に保管され、定期的に更新されます。
すべての入力が終わりましたら、登録をクリックします。
以降のSalesforce連携オプションの設定の手順で、アプリケーションIDとパスワードを使用しますので、参照できる場所に情報の記録をお願いします。

① 新規登録をクリック ② 認証フローをResource owner credential flowに変更

④ アプリケーションIDを入力
⑤ パスワードを入力
※「8.連携フローのセットアップ」で使用します。

The screenshot shows the 'API Application Master' configuration page. A red box highlights the input fields for 'Application ID', 'Password', and 'New Password (Confirmation)'. Red arrows point from the numbered instructions to these fields and other elements like the 'New Registration' button and the 'Access Token Validity Period' field.

名称	③ 名称を入力
アプリケーションID	
パスワード	新しいパスワード
	新しいパスワード(確認)
認証フロー	Resource owner credential flow ▼
アクセストークンの有効期間(秒)	129,600
IDトークンの有効期間(秒)	300
AuthCodeの有効期間(秒)	300
リフレッシュトークンの有効期間(秒)	2,592,000

⑥ アクセストークンの有効期間を129,600に変更

API接続ユーザーと社外接続の設定

APIの利用には、ZACの任意のアカウントを使用することができます。

アカウントは、ZACの社員マスタで登録し、ライセンスや権限を付与します。

※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、それぞれで設定を行います。

貴社ZAC環境に「APIユーザー」が存在する場合はそちらをお使いいただくことを推奨します。

初めてAPIユーザーを使用する場合、パスワードを設定してください。次回パスワード変更は「しない」を選択します。

「APIユーザー」が存在しない場合、新たに社員マスタを登録してください。

AWS環境からの接続となるため、APIユーザーは下記の条件を満たしている必要があります。

・ライセンスマスタ、権限マスタそれぞれで「社外接続」のライセンスおよび権限、各種アウトプットの権限が付与されている。

(次ページ参照)

・社員マスタのE-mailに、有効なメールアドレスが登録されている。*

※

・社員マスタの「次回パスワード変更」で「しない」が選択されている。

以降のSalesforce連携オプションの設定の手順でAPI接続に使用する「ユーザー名」と「パスワード」を使用しますので、参照できる場所に情報の記録をお願いします。

※連携において、社外接続を利用するためE-mailアドレスの登録が必要です。

社外接続ご利用の場合、セキュリティ上の理由で、ログイン時にメール通知がされます。

画面からのログイン時のみメール通知がされ、API接続の場合はメール通知はありませんが、登録は必要ですのでご対応よろしくお願いたします。

社員マスタ

検索項目

キーワード検索 部門 雇用形態

使用不可も表示

APIユーザーを検索 新規登録 検索

コード	社員名	階層5	階層6
99995	APIユーザー		

コード 社員名 姓 名 社員カナ 姓 名 役職 雇用形態 勤務形態

期間 勤務形態名 削除

所属部門

所属部門履歴

階層1~4	階層5	階層6	配属日
ZAC			2005/01/01~

修正 部門異動

作業単価 年月 ゾーン

E-mail @loro.com 上位承認者 入社日 (勤続年数 17年 8ヶ月) 退社日

ユーザー名 **パスワード** する しない

APIユーザーを検索

検索結果にAPIユーザーがあれば選択

ユーザー名・パスワードは、「8.連携フローのセットアップ」で使用します。

メールアドレスを入力

API接続ユーザーの社外接続時の権限設定

Salesforce連携オプションは、AWS環境からの接続となるため、対象のアカウントに対して、「権限マスタ>接続方法:社外接続」より、Salesforce連携オプションで使用する権限設定が必要です。
※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、それぞれ設定を行います。

権限設定は、接続方法:通常・社外接続の両方で設定が必要となります。(通常接続「○」かつ、社外接続「○」に設定が必要です)
 「APIユーザー」を使用する場合は、「APIユーザー」に対して、権限を設定してください。
 ※社外接続の設定の詳細については、ヘルプセンター「[社外接続 - ZAC / Reforma PSA ヘルプセンター](#)」をご参照ください。

①APIユーザーを検索

②接続方法を選択し検索

③Salesforce連携オプションで使用する権限を「○」に変更

④権限設定が終了したら「修正」をクリック

⑤接続方法:社外接続についても①～④の設定を行う

■権限マスタ

部門 雇用形態 権限タイプ 編集方法 個別 グループ

社員 役職 社員範囲指定 ~ 接続方法 通常 社外接続

修正

社員\画面	出力															その他																							
	売上データ集計表	売上推移表	仕入データ集計表	業務報告書出力	キャストイングリ一覧	作業時間集計表	案件CSV出力	クライアント・得意先	支払先マスタCSV出力	社員マスタCSV出力	部門マスタCSV出力	休日マスタCSV出力	科目マスタCSV出力	入金バターンマスタ	支払バターンマスタ	費目マスタCSV出力	集計区分マスタCSV	権限マスタCSV出力	売上区分マスタCSV	単位マスタCSV出力	見積明細CSV出力	売上明細データ	請求発行データ	回収予定表	前受管理表	売掛年節表	入金実績表	支払先残高表	アカウント	管理・管理	マスタ	警告画面	社外接続	コンタクト管理	ファイル管理	テーブルデータ取込	お知らせ	テーブルデータ取込	
9995 API ユーザー	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○

補足)API接続ユーザーの社外接続時の権限設定

社外接続の使用とアウトプット画面の表示のため、以下の権限を使用します。

- ・その他 → **アウトプット**
- ・その他 → **社外接続**

ZACへの案件の取り込みのため、以下の権限を使用します。

- ・その他 → **テーブルデータ取込**

Salesforceへの案件の連携のため、以下の権限を使用します。

- ・出力 → **案件CSV出力**

カスタム項目連携機能では、APIユーザーに以下の権限を付与することにより、ZACからSalesforceへ連携することができます。

- ・出力 → **クライアント・得意先マスタCSV出力**
- ・出力 → **集計区分マスタCSV出力**
- ・出力 → **社員マスタCSV出力**
- ・出力 → **売上区分マスタCSV出力**

※ APIユーザーに権限を付与しない場合、Salesforceへは仮の値が登録されます。仮の値を削除し、ラベルと内部値(各マスタのコード)をご登録ください。

※ Salesforceのカスタム項目設定につきましては、「カスタム項目連携機能のセットアップの確認」もご確認ください。

APIユーザーに権限が付与されている場合

(下記はSalesforce、設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション>集計区分(案件基本)の画面です。)

Salesforce

アクション	値	API 参照名
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9986 - 営業1課	9986
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9985 - 営業2課	9985
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9983 - 制作1課	9983
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9981 - 開発1課	9981
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9980 - 開発2課	9980
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	9979 - 制作2課	9979

Salesforceに連携されたカスタム項目に、ZACに登録されているマスタが値として登録されます。

APIユーザーに権限が付与されていない場合

Salesforce

アクション	値	API 参照名	デフォルト
<input type="checkbox"/> 編集	-	-	<input type="checkbox"/>

Salesforceに連携されたカスタム項目に、ZACに登録されているマスタは登録されず、仮の値が登録されます。

補足)API接続ユーザーの社外接続時の権限設定

APIユーザーに社外接続の設定が適切に設定されているかどうかは、ZACの社外接続画面よりログインすることによって確認できます。

- ① ブラウザを開き、貴社社外接続URL「 <https://secure.zac.ai/>「**環境名**」へ移動します。
- ② 「社外接続の認証」画面で、APIユーザーのログインIDおよびパスワードを入力し、「接続」ボタンを押します。
- ③ ZACのログイン画面が表示されますので、APIユーザーのログインIDおよびパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押します。
- ④ 左側のメニューより「アウトプット」を選択し、アウトプット一覧に遷移します。
- ⑤ 権限が付与されているアウトプットのみ表示されますので、必要なアウトプットが表示されていることをご確認ください。

社外接続の認証画面

ZACのログイン画面

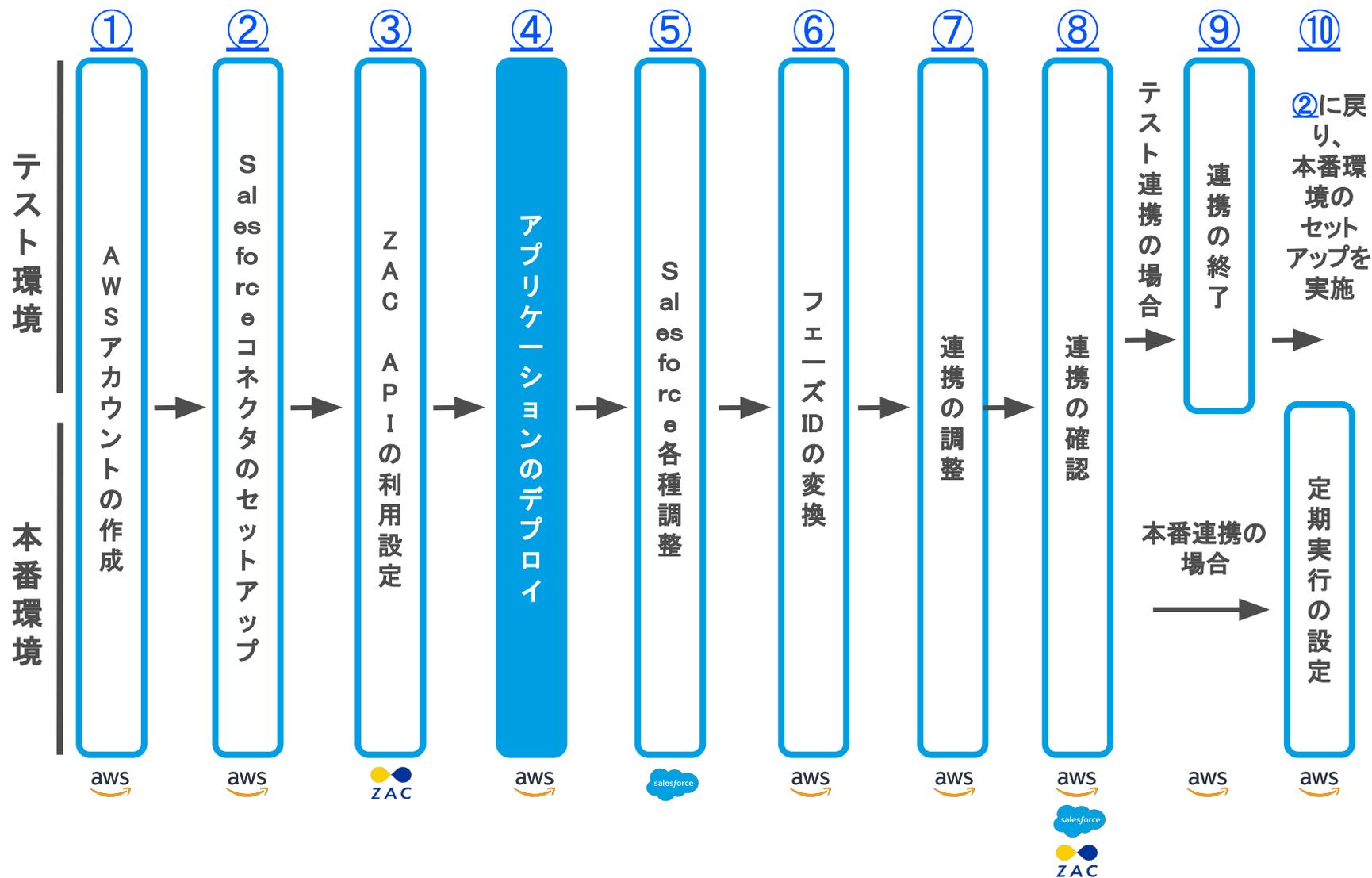
アウトプット一覧

社外接続からAPIユーザーが閲覧できる権限が付与されているアウトプットが表示されます。

7. アプリケーションのデプロイ

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携を行う各種アプリケーションのデプロイを行います。



AWS環境へのアプリケーションの配置

AWS環境へ取込コネクタを配置します。

【Serverless Application Repositoryサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Serverless」と入力します。
- ② 検索一覧から「Serverless Application Repository」をクリックします。



- ② Serverless ApplicationRepositoryをクリック

AWS環境へのアプリケーションの配置

サーバーレスアプリケーションのページを開くと、マイアプリケーション一覧が表示されます。

- ① AWSコンソールのリージョンが「東京」になっていることをご確認ください。「東京」以外になっている場合は、プルダウンより「アジアパシフィック(東京) ap-northeast-1」を選択してください。
- ② 使用可能なアプリケーションをクリックすると、ログイン中のアカウントに設置可能なアプリケーション一覧が表示されます。
- ③ プライベートアプリケーションをクリックします。
- ④ 検索欄に「ZacSalesforceIntegrationPackage」と入力します。
- ⑤ カスタムIAMロールまたはリソースポリシーを作成するにチェックを入れます。

アプリケーションの一覧に表示されます。
 アプリケーションの一覧に表示されない場合は、貴社AWSアカウントへの許可が完了していない可能性があります。
 このドキュメントの「4.AWSアカウントの作成 > [AWSアカウントIDの弊社へのご連絡](#)」をご確認の上、ご連絡ください。

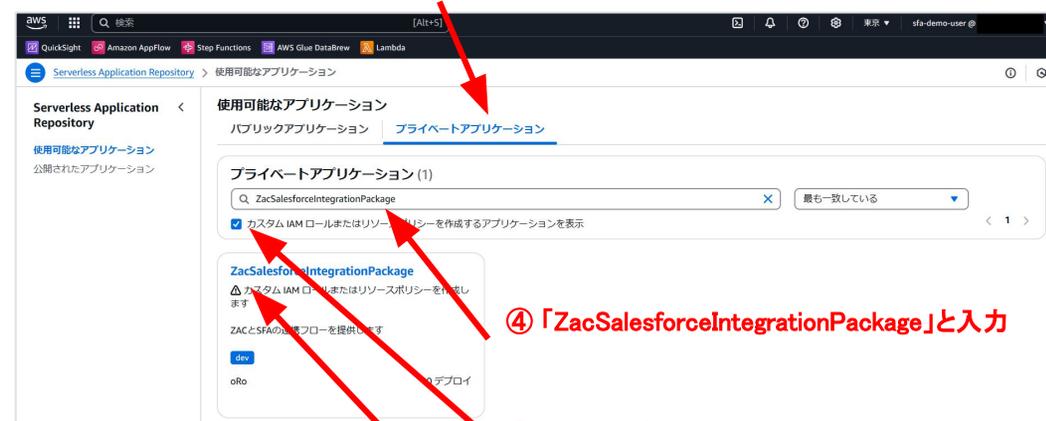
- ⑥ アプリケーションのセットアップに進むには、アプリケーションをクリックします。

① リージョンが「東京」になっていることを確認



② 使用可能なアプリケーションをクリック

③ プライベートアプリケーションをクリック



④ 「ZacSalesforceIntegrationPackage」と入力

⑤ チェックボックスにチェックを入れる

⑥ アプリケーションをクリック

AWS環境へのアプリケーションの配置

アプリケーションに関する説明が表示されます。



The screenshot displays the AWS SAM console interface for a specific application package. The breadcrumb navigation at the top reads 'Lambda > アプリケーション > 設定とデプロイ'. The main title is 'ZacSalesforceIntegrationPackage — バージョン 1.0.3-dev27', with a button labeled 'SAM リソースとしてコピーする' to the right. Below the title, the section '設定とデプロイ' is active. Underneath, the 'アプリケーションの詳細' (Application Details) section is expanded, showing a table with three columns: '筆者' (Author), '説明' (Description), and '脆弱性の報告' (Vulnerability Report). The '筆者' column contains 'oRo'. The '説明' column contains 'ZACとSFAの連携フローを提供します'. The '脆弱性の報告' column contains a warning message: 'このアプリケーションがセキュリティ上のリスクを生じさせるとお考えの場合は、脆弱性レポートを提出してください。' Below the table, there are four expandable sections: '▶ ネストされたアプリ', '▶ テンプレート', '▶ アクセス許可', and '▶ ライセンス'.

筆者	説明	脆弱性の報告
oRo	ZACとSFAの連携フローを提供します	このアプリケーションがセキュリティ上のリスクを生じさせるとお考えの場合は、 脆弱性レポートを提出してください 。

- ▶ ネストされたアプリ
- ▶ テンプレート
- ▶ アクセス許可
- ▶ ライセンス

AWS環境へのアプリケーションの配置

ページ下部の「アプリケーションの設定」の各設定項目についての説明を記載します。

※入力に誤りがあるとエラーとなるため、ご注意ください

変更可能な項目

- アプリケーション名
AWS上でアプリケーションを管理するための名前を入力します。
「ZacSalesforceIntegrationPackage」と入力してください。
- Environment
テスト環境用の場合「test」、
本番環境用の場合「prod」と入力してください。

②Environmentに
テスト環境用の場合「test」、
本番環境用の場合「prod」と入力

①アプリケーション名に
「ZacSalesforceIntegrationPackage」と入力

アプリケーションの設定

アプリケーション名
AWS CloudFormation 経由で作成されたこのアプリケーションのスタック名
ZacSalesforceIntegrationPackage

Environment
テスト環境の場合「test」本番環境の場合「prod」と入力してください。
prod

FlowType
連携のタイプを入力してください。(セットアップガイドを参照して、A1、A2、B1、B2から選択してください)
B2

SubscriptionEmail
カスタムテーブル機能で使用するワンタイムパスワード及びクエリ結果の通知先メールアドレスを入力してください。

ZacAppName
接続先ZACのアプリケーション名を入力してください。

ZacClientId
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションIDを入力してください。

ZacClientSecret
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワードを入力してください。

ZacUserId
ZACへのAPI接続を行うユーザー名を入力してください。

ZacUserPassword
ZACへのAPI接続を行うユーザーのパスワードを入力してください。

このアプリがカスタム IAM ロール、リソースポリシーを作成し、ネストされたアプリケーションをデプロイすることを承認します。

キャンセル 戻る デプロイ

AWS環境へのアプリケーションの配置

入力が必要な項目

- FlowType
貴社ZAC環境が「単数売上」の場合はB1、「複数売上」の場合はB2を選択してください。(ご不明の場合お問い合わせください)
- SubscriptionEmail
連携に使用するZACの案件の抽出条件を設定するアプリケーションの通知先として使用します。
ログインに必要な情報や出力結果が通知されます。

- ZacAppName
貴社ZAC環境のアプリケーション名(環境名)を入力します。
※ アプリケーション名(環境名)はZACにログインしたURLの下記の部分となります。この例では「oro」を入力します。



- ZacClientId
ZACの[APIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションID](#)を入力してください。
- ZacClientSecret
ZACの[APIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワード](#)を入力してください。
- ZacUserId
ZACへの[API接続を行うユーザー名](#)を入力してください。
- ZacUserPassword
ZACへの[API接続を行うユーザーのパスワード](#)を入力してください。

③各項目に左記の説明通り入力する

アプリケーションの設定

アプリケーション名
AWS CloudFormation 経由で作成されたこのアプリケーションのスタック名

ZacSalesforceIntegrationPackage

Environment
テスト環境の場合「test」本番環境の場合「prod」と入力してください。

prod

FlowType
連携のタイプを入力してください。(セットアップガイドを参照して、A1、A2、B1、B2から選択して入力してください)

B2

SubscriptionEmail
カスタムテーブル機能で使用するワンタイムパスワード及びクエリ結果の通知先メールアドレスを入力してください。

ZacAppName
接続先ZACのアプリケーション名を入力してください。

ZacClientId
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションIDを入力してください。

ZacClientSecret
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワードを入力してください。

ZacUserId
ZACへのAPI接続を行うユーザー名を入力してください。

ZacUserPassword
ZACへのAPI接続を行うユーザーのパスワードを入力してください。

このアプリがカスタム IAM ロール、リソースポリシーを作成し、ネストされたアプリケーションをデプロイすることを承認します。

キャンセル 戻る **デプロイ**

AWS環境へのアプリケーションの配置

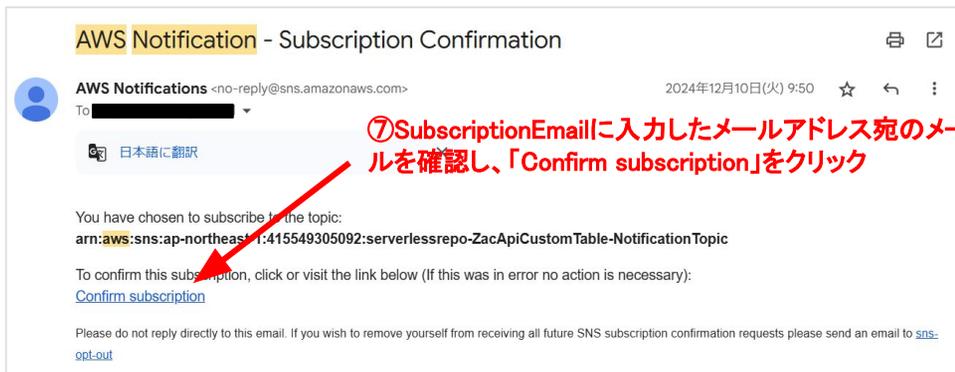
最後に「このアプリがカスタムIAMロールとリソースポリシーを作成することを承認します。」

にチェックを入れ、デプロイをクリックすると貴社AWS環境に取込コネクタが設置されます。

デプロイをクリック後、エラーが無ければしばらくしてアプリケーションのアプリケーション概要の画面に遷移します。

この時点ではデプロイ(配置)が進行中で、「デプロイ」タブをクリックすると進捗を見ることができます。

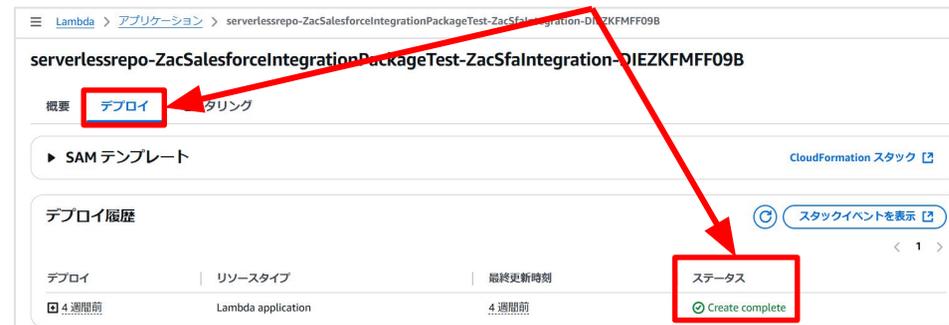
デプロイの実行中にSubscriptionEmailに入力したメールアドレス宛に差出人「AWS Notifications <no-reply@sns.amazonaws.com>」より、タイトル「AWS Notification - Subscription Confirmation」というメールが届きます。このメール本文に記載のリンク「Confirm subscription」をクリックしてください。「Subscription confirmed!」と表示されれば通知を受け取ることができます。



④ チェックを入れる

⑤ デプロイをクリック

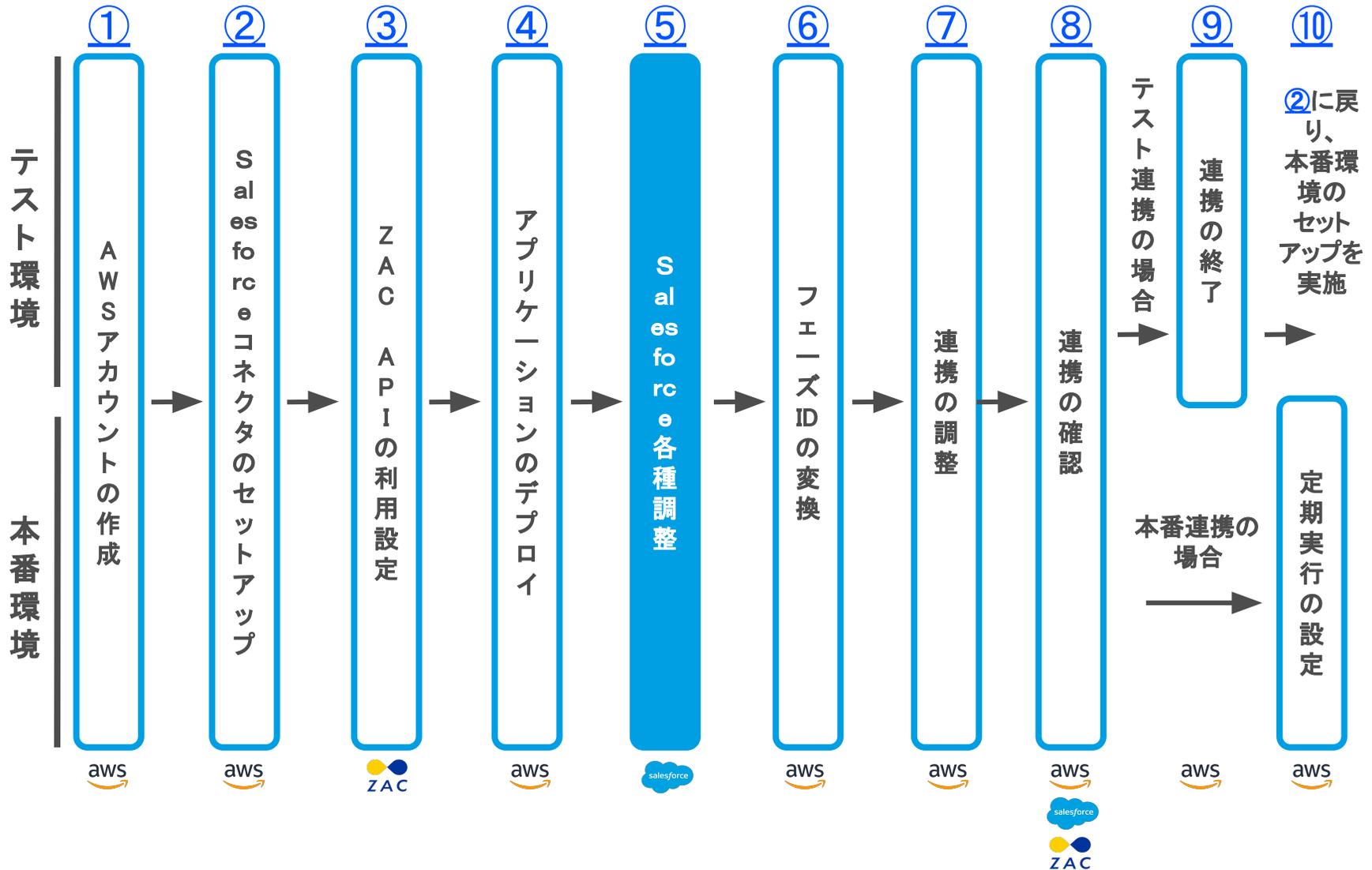
⑥ デプロイのタブを開くと、進捗を確認できます (ステータスが「Create complete」となれば完了です)



8. Salesforce各種セットアップ

本章の目的

本章では、連携を開始するために必要なSalesforce側の設定を行っていきます。



8-1. カスタム項目の調整

カスタム項目連携機能のセットアップの確認

Salesforce上でカスタム項目連携機能が
セットされているか確認します。

- ① 設定ボタンをクリックします。
- ② 画面左上の検索欄に「オブジェクト」と入力します。
- ③ 「オブジェクトマネージャー」を選択します。
- ④ 画面右上の検索欄に「商談」と入力します。
- ⑤ 「商談」を選択します。

① 設定をクリック

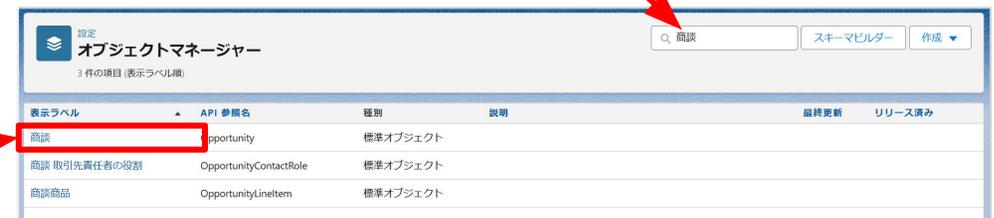


② 検索欄に「オブジェクト」と入力



③ 「オブジェクトマネージャー」を選択

④ 検索欄に「商談」と入力



⑤ 「商談」を選択

カスタム項目連携機能のセットアップの確認

- ⑥「項目とリレーション」をクリックすると項目が一覧で表示されます。
- ⑦ カスタム項目連携で作成されたZAC連携用の項目が表示されていることを確認します。

作成された項目の中で、どの項目が連携必須となる項目かを確認していきます。

⑥「項目とリレーション」をクリック



⑦カスタム項目が連携されていることを確認します

ZAC連携必須項目の確認

ZACのテーブルデータ取込リファレンスでお使いのZAC環境での連携必須項目について確認します。

- ① 「その他」>「テーブルデータ取込リファレンス」をクリックします。
- ② 取込種別「案件基本+利益計画」を選択します。
- ③ 1-1. ファイル1(案件基本)の取込書式を表示し、
入力条件が「必須」となっている項目を確認します。

②「案件基本+利益計画」を選択

テーブルデータ取込リファレンス 取込種別: 案件基本+利

案件基本+利益計画

1. 取込書式

- 1-1. ファイル1(案件基本)
- 1-2. ファイル2(売上項目)
- 1-3. ファイル3(予定原価)

2. 取込結果

- 2-1. 案件基本
- 2-2. 売上項目
- 2-3. 予定原価
- 2-4. 利益計画
- 2-5. 受注
- 2-6. 案件基本

3. 取込結果 (売上)

- 3-1. 見積
- 3-2. 見積明細
- 3-3. 請求登録
- 3-4. 売上登録
- 3-5. 案件基本

取込の基本情報

方式	ファイル数	ファイル
ファイルアップロード	3つ	CSV

取込テーブル

No.	ファイル名称	要否
1	案件基本	任意
2	売上項目	任意
3	予定原価	任意

①「テーブルデータ取込リファレンス」をクリック

③入力条件が「必須」となっている項目を確認

1. 取込書式

1-1. ファイル1(案件基本)

No.	項目名	入力条件	データ型	桁数	関連マスタ	取込ルール
1	旧JOBNo.	ワキー任意	文字列	全半角20文字		
2	案件名	○必須	文字列	全角44半角88文字		
3	決定確率コード	条件付必須	マスタコード	コード 2桁	決定確率マスタ	
4	事業セグメントコード	○必須	マスタコード	コード 3桁	事業セグメントマスタ	
5	プロジェクトコード	△任意	マスタコード	コード 4桁	プロジェクト	プロジェクトコード先頭のPは不要
6	営業担当者コード	○必須	マスタコード	コード 4桁	社員マスタ	
7	集計区分コード	○必須	マスタコード	コード 4桁	集計区分マスタ	
8	得意先コード	○必須	マスタコード	コード 5桁	クライアント・得意先マスタ	
9	得意先仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先コード=仮登録コード: 必須、#仮登録
10	得意先部門コード	○必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先部門マスタ	
11	得意先部門仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先部門コード=仮登録コード: 任意、#仮登録
12	得意先担当者コード	○必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先担当者マスタ	
13	得意先担当者仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先担当者コード=仮登録コード: 任意、#仮登録

※テーブルデータ取込リファレンスの確認方法の詳細は下記をご参照ください

[【2.0.14~】テーブルデータ取込書式リファレンスの操作](#)

ZAC連携項目の整理

連携必須項目の精査を行うにあたり、ヘルプセンターより、[セットアップ項目整理シート](#)をダウンロードしてご利用いただけます。
ZACテーブルデータ取込リファレンスの取込書式をコピー＆ペーストして、項目の整理することが可能です。

- 赤字の行は入力条件が必須の項目の行で、[ページレイアウトの設定](#)で必須項目として設定が必要な項目となります。
- 背景が赤色になっている行は、本章でカスタム項目のデータ型やプルダウンの調整が必要です。
標準項目の事業セグメントコードとプロジェクトコードと、設定変更で追加した項目が対象です。
※黒字の項目(入力条件が必須ではない)は、ZACに連携をしない場合は調整の必要はございません。
- 背景が青色の項目は「[9. フェーズIDの変換](#)」で、背景が緑色の項目は「[10. 連携の調整](#)」で調整する項目です。

※項目名を変更している場合はシート上で設定変更項目として判別されますが、変更前の項目名に対応する調整が必要になります。
項目名を変更している場合、変更しているかわからない場合は、弊社にお問い合わせください。

1. 取込書式						
1-1. ファイル1(案件基本)						
No.	項目名	入力条件	パターン	対応するSalesforce項目	調整の要否	調整内容
1	旧JOBNo.	▽キー任意	A	Salesforce商談のレコードID (項目名: Id)	不要	
2	案件名	○必須	A	Salesforce商談の商談名 (項目名: Name)	不要	
3	決定確率コード	条件付必須	A	Salesforce商談のフェーズ (項目名: StageName)	要	「9. フェーズIDの変換」にて、SalesforceのフェーズとZAC決定確率の変換の調整が必要です。
4	事業セグメントコード	○必須	B-2	カスタム項目	要	「8 - 1. カスタム項目の調整」にて、カスタム項目のプルダウンの調整が必要です。
5	プロジェクトコード	△任意	B-2	カスタム項目	要	「8 - 1. カスタム項目の調整」にて、カスタム項目のプルダウンの調整が必要です。
6	直or代理店	○必須	D	カスタム項目	要	「8 - 1. カスタム項目の調整」にて、カスタム項目のデータ型とプルダウンの調整が必要です。
7	営業担当者コード	○必須	B-1	カスタム項目	不要	
8	集計区分コード	○必須	B-1	カスタム項目	不要	
9	事業セグメント2コード	○必須	D	カスタム項目	要	「8 - 1. カスタム項目の調整」にて、カスタム項目のデータ型とプルダウンの調整が必要です。
10	得意先コード	○必須	B-4	カスタム項目	要確認	桁数を設定変更により5桁から変更している場合は、「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
11	得意先仮登録名	△任意	B-4	カスタム項目	不要	
12	得意先部門コード	○必須	B-4	カスタム項目	要確認	桁数を設定変更により2桁から変更している場合は、「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
13	得意先部門仮登録名	△任意	B-4	カスタム項目	不要	
14	得意先担当者コード	○必須	B-4	カスタム項目	要確認	桁数を設定変更により2桁から変更している場合は、「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
15	得意先担当者仮登録名	△任意	B-4	カスタム項目	不要	
16	請求先コード	○必須	B-4	カスタム項目	要確認	桁数を設定変更により5桁から変更している場合は、「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
17	請求先仮登録名	△任意	B-4	カスタム項目	不要	
18	請求先部門コード	○必須	D(例外)	カスタム項目	要	「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
19	請求先部門仮登録名	△任意	D(例外)	カスタム項目	要	「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
20	請求先担当者コード	○必須	D(例外)	カスタム項目	要	「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
21	請求先担当者仮登録名	△任意	D(例外)	カスタム項目	要	「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
22	クライアントコード	○必須	B-4	カスタム項目	要確認	桁数を設定変更により5桁から変更している場合は、「10. 連携の調整」にて調整が必要です。
23	クライアント仮登録名	△任意	B-4	カスタム項目	不要	
24	引合日	○必須	B-3	カスタム項目	不要	
25	受注予定日	○必須	B-3	カスタム項目	不要	
26	売上予定日	△任意	B-3	カスタム項目	不要	
27	請求予定日	△任意	B-3	カスタム項目	不要	
28	入金予定日	△任意	B-3	カスタム項目	不要	
29	完了予定日	○必須	B-3	カスタム項目	不要	
30	案件内容	△任意	B-3	カスタム項目	不要	
31	メモ	△任意	B-3	カスタム項目	不要	
32	取込進捗	○必須	C	自動判定	不要	

カスタム項目の調整

前ページのZAC連携項目の整理で背景が赤色になった項目で、ZACに連携する項目については、本章でカスタム項目の調整を行います。

※入力条件が必須でない項目は必ずしも調整する必要はありませんが、ZACに連携させたい場合は調整してください。

※設定変更によりZAC標準環境から項目追加がある場合でも、カスタム項目連携機能のデプロイにより、

Salesforce側でカスタム項目が自動で作成されます。自動作成されたカスタム項目に対して調整を行ってください。

※項目名を変更している場合は、対象の項目に対する調整の可否を弊社にお問い合わせください。

カスタム項目の調整方法については、項目により調整方法が異なりますので、下記を参考に調整してください。

- 事業セグメントコード、プロジェクトコードについて
カスタム項目のプルダウンの変更が必要です。
調整方法は、事業セグメントコードの調整例に沿って進めてください。
([事業セグメントコードのプルダウン項目の作成](#))
- 設定変更で追加した項目について
カスタム項目のデータ型の変更が必要です。
プルダウンが必要な項目については、プルダウン項目も変更をすることが必要です。
調整方法については下記例に従って進めてください。
(例にない項目を調整する場合も基本的には同様の手順で可能ですが、ご不明の場合は弊社にお問い合わせください)
 - [「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成](#)
 - [「直or代理店」のデータ型変更とプルダウン項目作成](#)
 - [「進行基準タイプ」のデータ型変更とプルダウン項目作成](#)
 - [「納品予定日」のデータ型変更](#)

事業セグメントのプルダウン項目作成

以降のページでは、Salesforceに作成されたカスタム項目の修正手順について解説します。

「事業セグメント」はZACからAPI連携できない項目のため、Salesforce側で手動でカスタム項目を編集する必要があります。

- ① 「設定＞オブジェクトマネージャー＞商談＞項目とリレーション」の項目一覧から「事業セグメント(案件基本)」を選択します。
- ② 初期値で登録されている値を削除します。

①「事業セグメント(案件基本)」をクリック



値

新規 並び替え 置換 印刷用に表示 グラフの色

選択済みのものを削除 | 選択済みのものを無効化 | 選択済みのものを置換

アクション	値	API 参照名	デフォルト	グラフの色
<input type="checkbox"/> 削除	選択不可 - 事業セグメントを登録してください	-	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み

② 削除ボタンをクリック

事業セグメントのプルダウン項目作成

- ③「新規」をクリックします。
- ④ZACに登録されている事業セグメント名を入力して「保存」をクリックします。
- ⑤登録された値について、「編集」をクリックして編集画面を開き、対応する事業セグメントコードをAPI参照名に入力して、「保存」をクリックします。対応する事業セグメントコードはZACの事業セグメントマスタで確認することが可能です。
- ⑥全ての事業セグメントについて⑤の作業を行い、Salesforceのカスタム項目「事業セグメント(案件基本)」のプルダウンとZACの事業セグメントマスタを対応させます。

③「新規」をクリック



⑤ 登録された値について、編集画面を開いてAPI参照名に、ZACの事業セグメントコードを入力し、「保存」をクリック



補足)「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成

設定変更により「事業セグメント2」を追加されている場合、Salesforceのカスタム項目を更新します。

事業セグメント2の場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で事業セグメント2が存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「事業セグメント2(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

①「事業セグメント2(案件基本)」をクリック



②「編集」をクリック



③「データ型の変更」をクリック



補足)「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成

- ④データ型の中から「選択リスト」を選び、右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤各値を入力し、右下の「保存」をクリックします。
- ⑥「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「事業セグメント2(案件基本)」を選択し、[事業セグメントの場合](#)と同様に、各値のAPI参照名にZACの事業セグメント2コードを入力します。

④「選択リスト」をクリックし、画面右下の「次へ」をクリック

⑤ZACに登録されている事業セグメント2名を入力し、画面右下の「保存」をクリック

⑥各値のAPI参照名にZACの事業セグメント2コードを入力

アクション	値	API 参照名	デフォルト	グラフの色
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	フロー	001	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	ストック	002	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み

補足)「直or代理店」のデータ型変更とプルダウン項目作成

設定変更により「直or代理店」を追加されている場合、Salesforceのカスタム項目を更新します。

直or代理店の場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で直or代理店が存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「直or代理店(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

①「直or代理店(案件基本)」をクリック



②「編集」をクリック



③「データ型の変更」をクリック



補足)「直or代理店」のデータ型変更とプルダウン項目作成

- ④データ型の中から「選択リスト」を選び、右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤ZACのテーブルデータリファレンスを確認し、各値を入力し、右下の「保存」をクリックします。
- ⑥「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「直or代理店(案件基本)」を選択し、各値にZAC取込用のコードを入力します。
※コードについては、ZACのテーブルデータ取込リファレンスから確認することが可能です。

参考)テーブルデータ取込リファレンス画面
※こちらの画面で内部値は確認が可能です

ZAC

JOBNo. / 案件名 を入力
テスト編成

テーブルデータ取込リファレンス 取込種別: 案件基本+利益計画 履歴: 2024/10/15 15:02 最新 比較: 指定なし

案件基本+利益計画

1. 取込書式

1-1. ファイル1(案件基本)

No.	項目名	入力条件	データ型	桁数	関連マスタ	取込ルール
1	旧JOBNo.	マキー任意	文字列	全半角11文字		
2	案件種別コード	○必須	コード・選択	-		選択肢: 01: 通常 / 04: 簡易入力。
3	案件名	○必須	文字列	全角44半角88文字		
4	決定確率コード	条件付必須	マスタコード	コード 2桁	決定確率マスタ	
20	直or代理店	○必須	コード・選択	-		選択肢: 01: 直 / 02: 代理店。
21	引合日	○必須	日付	yyyy/M/d	引合日≦受注予定日≦売上予定日	
22	受注予定日	○必須	日付	yyyy/M/d	引合日≦受注予定日≦売上予定日	
23	売上予定日	△任意	日付	yyyy/M/d	引合日≦受注予定日≦売上予定日	

Salesforce

- パーセント
- メール
- ロングテキストエリア
- 時間
- 数値
- 選択リスト
- 選択リスト(複数選択)

④「選択リスト」をクリックし、画面右下の「次へ」をクリック

Salesforce

ステップ 2. 詳細を入力

項目の表示ラベル 直or代理店(案件基本)

各値を改行で区切って入力します。

直
代理店

値を入力順ではなく文字コード順に表示

最初の値をデフォルト値とする

値セットで定義された値に選択リストを制限します

⑤「直」と「代理店」を入力し、画面右下の「保存」をクリック

Salesforce

値

新規 | 並び替え | 置換 | 印刷用に表示 | グラフの色

選択済みのものを削除 | 選択済みのものを無効化 | 選択済みのものを置換

アクション	値	API 参照名	デフォルト	グラフの色
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	直	01	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み
<input type="checkbox"/> 編集 削除 無効化	代理店	02	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み

⑥各値のAPI参照名に直or代理店のコードを入力

補足)「進行基準タイプ」のデータ型変更とプルダウン項目作成

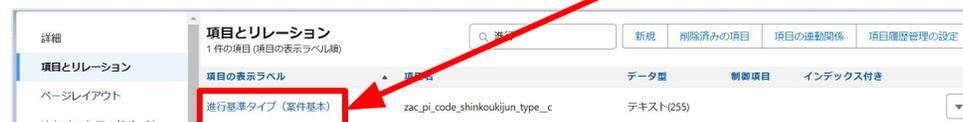
設定変更により「進行基準タイプ」を追加されている場合、Salesforceのカスタム項目を更新します。

進行基準タイプの場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で進行基準タイプが存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「進行基準タイプ(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

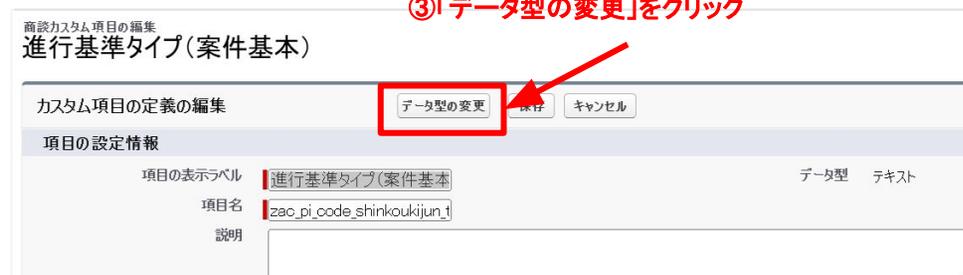
①「進行基準タイプ(案件基本)」をクリック



②「編集」をクリック



③「データ型の変更」をクリック



補足)「進行基準タイプ」のデータ型変更とプルダウン項目作成

- ④データ型の中から「選択リスト」を選び、右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤ZACのテーブルデータリファレンスを確認し、各値を入力し、右下の「保存」をクリックします。
- ⑥「設定 > オブジェクトマネージャー > 商談 > 項目とリレーション」の項目一覧から「進行基準タイプ(案件基本)」を選択し、各値にZAC取込用のコードを入力します。
※コードについては、ZACのテーブルデータ取込リファレンスから確認することが可能です。

④「選択リスト」をクリックし、画面右下の「次へ」をクリック

- ⑤「完成基準」と「進行基準(原価比例法)」を入力し、画面右下の「保存」をクリック

⑤「完成基準」と「進行基準(原価比例法)」を入力し、画面右下の「保存」をクリック

参考) テーブルデータ取込リファレンス画面
※こちらの画面で内部値は確認が可能です

ZAC

No.	項目名	入力条件	データ型	桁数	関連マスタ	取込ルール
1	旧JOBNo.	マキー任意	文字列	全半角11文字		
2	案件種別コード	○必須	コード・選択	-	選択肢: 01: 通常 / 04: 簡易入力。	
3	案件名	○必須	文字列	全角44半角88文字		
4	決定確率コード	条件付必須	マスタコード	コード 2桁	決定確率マスタ	
14	進行基準タイプコード	○必須	コード・選択	-	選択肢: 01: 完成基準 / 02: 進行基準(原価比例法)	
15	集計区分コード	○必須	マスタコード	コード 6桁	集計区分マスタ	
16	顧客コード	○必須	マスタコード	コード 6桁	販売店・顧客マスタ	

- ⑥各値のAPI参照名に進行基準タイプのコードを入力

値	API 参照名	デフォルト	グラフの色
<input type="checkbox"/> アクション 編集 削除 無効化 完成基準	01	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み
<input type="checkbox"/> アクション 編集 削除 無効化 進行基準(原価比例法)	02	<input type="checkbox"/>	動的に割り当て済み

補足)「納品予定日」のデータ型変更

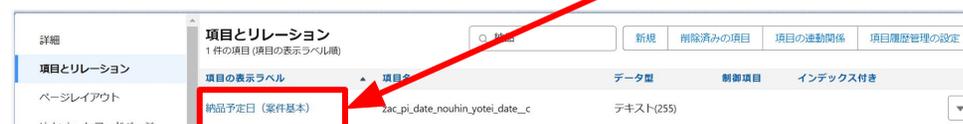
設定変更により「納品予定日」を追加されている場合、Salesforceのカスタム項目を更新します。

納品予定日の場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で納品予定日が存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「納品予定日(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

①「納品予定日(案件基本)」をクリック



②「編集」をクリック



③「データ型の変更」をクリック



補足)「納品予定日」のデータ型変更

- ④データ型の中から「日付」を選び、
右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤ステップ2: 詳細入力の画面に移行すると、
画面右端「保存」をクリックします。

④「日付」をクリックし、
画面右下の「次へ」をクリック

⑤「保存」をクリック

8-2. Salesforce商談画面の調整

ZAC連携へ連携対象とするカスタム項目の「必須項目」設定

ZACへの連携対象のカスタム項目は、ユーザーの入力を制御するため、Salesforce設定画面で「必須項目」設定を行います。

※連携に必要な項目は下記です。

([セットアップ項目整理シート](#)をご参照ください)

- Salesforce項目
 - 商談名
 - フェーズ
- カスタム項目
 - セットアップ項目シートで入力条件が「必須」で旧JOBNo.、案件名、決定確率コード、取込進捗以外の項目全て

- ① 「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「必須項目」設定をしたい項目を選択します。(ここでは例として「事業セグメント(案件基本)」を選択します。)
- ② 「編集」をクリックします。
- ③ 「一般的なオプション>必須項目」で、「値の入力を必須にする」にチェックします。
- ④ 「保存」をクリックします。
- ⑤ 「必須項目」設定をしたい全ての項目について、上記①～④の操作を繰り返します。

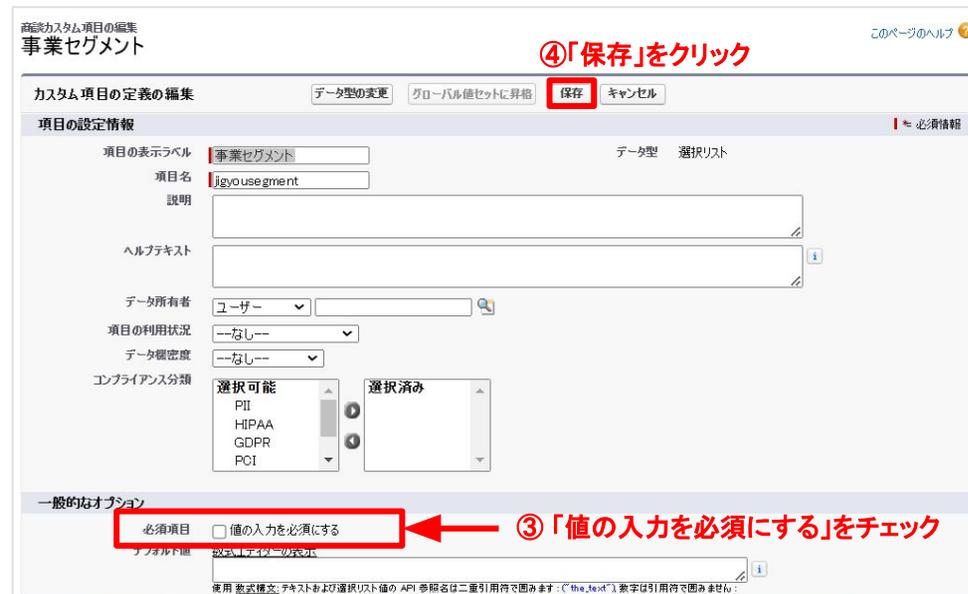
①「必須項目」設定をしたい項目を選択
(例として「事業セグメント(案件基本)」を選択)



②「編集」をクリック



④「保存」をクリック



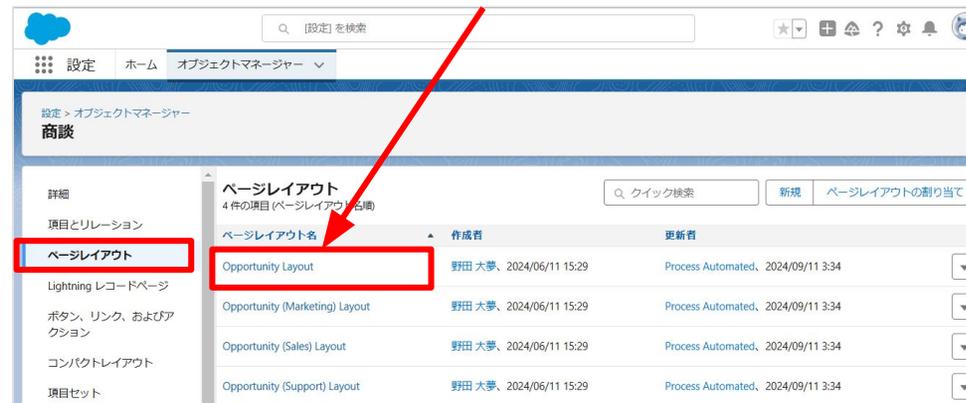
③「値の入力を必須にする」をチェック

ページレイアウトの設定

ZACへの連携対象のカスタム項目を、Salesforce商談の登録画面で入力できるよう、ページレイアウトの設定を行います。

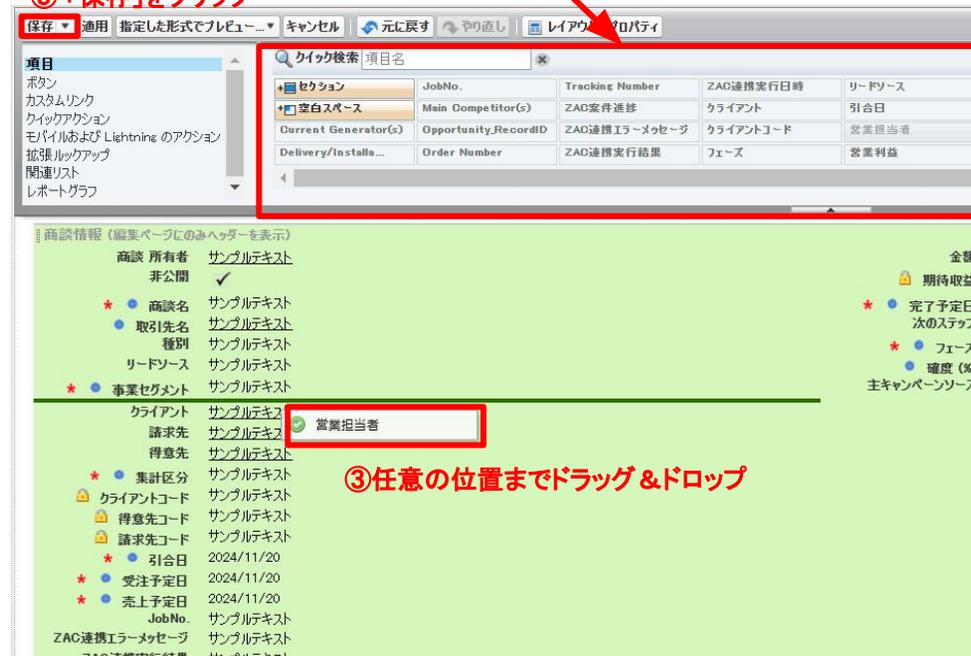
- ① 「設定>オブジェクトマネージャー>商談>ページレイアウト」から、「Opportunity Layout」をクリックします。
- ② 画面上部からZACへの連携対象のカスタム項目を選択します。
- ③ 選択した項目を表示したい任意の位置までドラッグ&ドロップします。
- ④ ZACへの連携の項目全てについて、
 - ①～③の操作を繰り返します。※
- ⑤ 最後に「保存」をクリックします。

①「Opportunity Layout」をクリック



②ZACへの連携対象のカスタム項目を選択

⑤「保存」をクリック

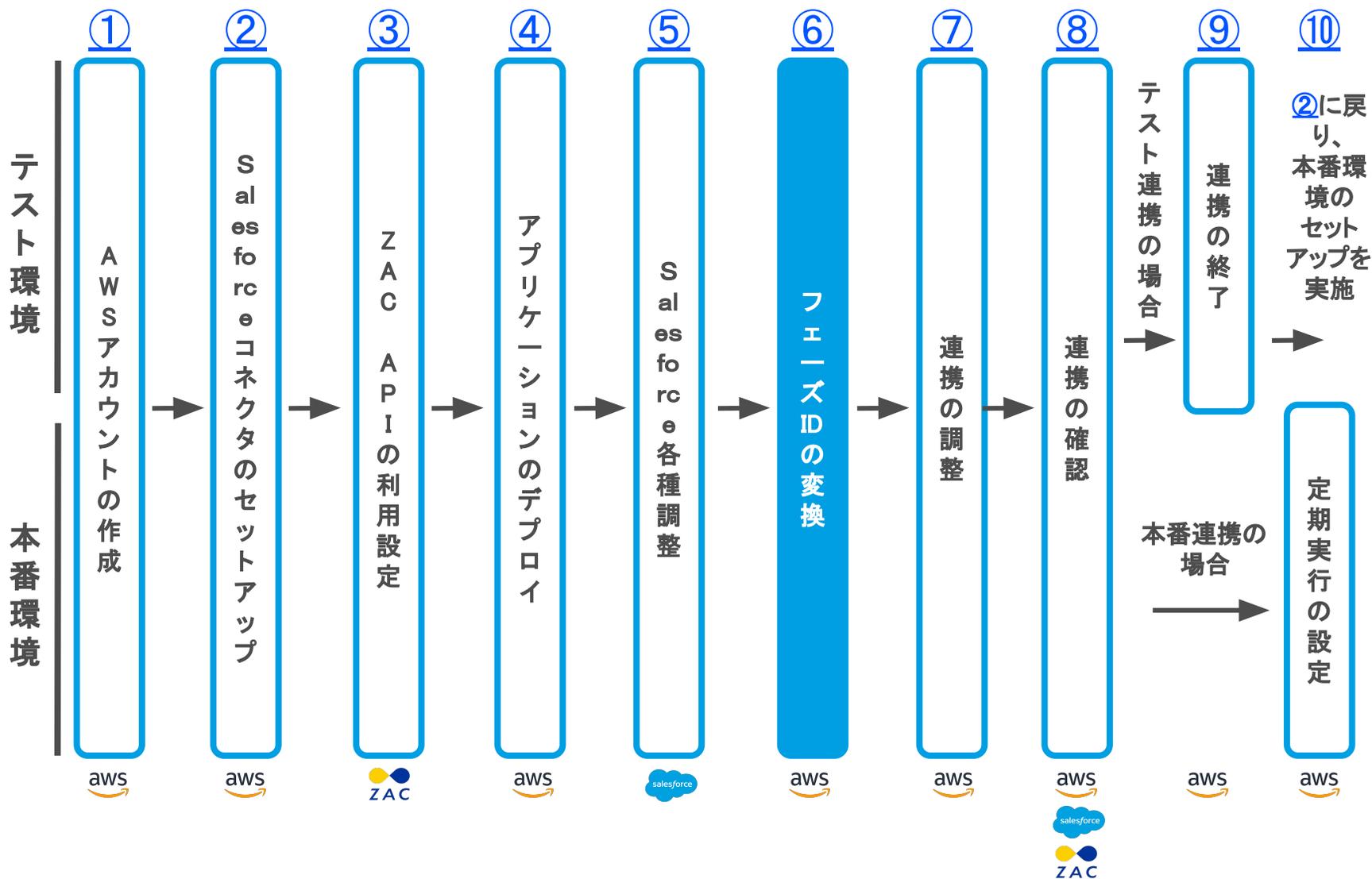


③任意の位置までドラッグ&ドロップ

9. フェーズIDの変換

本章の目的

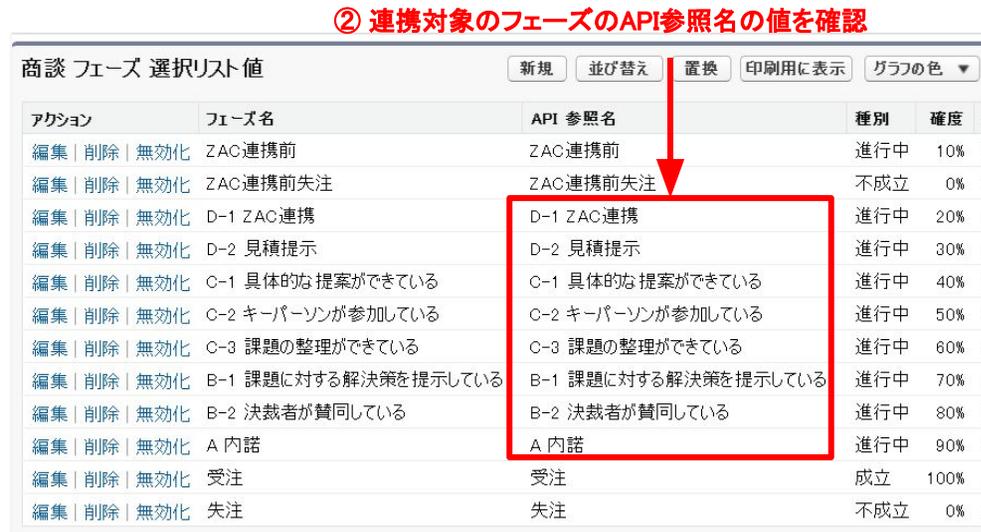
本章ではSalesforceのフェーズIDをZACの決定確率に変換するための手順について解説します。



連携対象フェーズの整理

ZACへの連携対象としたいフェーズのAPI参照名を取得します。

- ① 「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「フェーズ」を選択します。
- ② 画面下部の「商談 フェーズ 選択リスト値」において、ZACへの連携対象としたいフェーズのAPI参照名を確認します。
- ③ [セットアップ項目整理シート](#)を用いて、連携対象のSalesforceフェーズとZAC決定確率を対応させて整理します。



③ セットアップ項目整理シートの入力例

フェーズ	ZAC連携前	ZAC連携前失注	D-1 ZAC連携	D-2 見積提示	C-1 具体的な提案 ができています	C-2 キーパーソン が参加している	C-3 課題の整理が できています	B-1 課題に対する 解決策を提示して いる	B-2 決裁者が賛同 している	A 内諾	受注	失注
連携対象	対象外	対象外	対象外	対象	対象	対象	対象	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
フェーズ API参照名	ZAC連携前	ZAC連携前失注	D-1 ZAC連携	D-2 見積提示	C-1 具体的な提案 ができています	C-2 キーパーソン が参加している	C-3 課題の整理が できています	B-1 課題に対する 解決策を提示して いる	B-2 決裁者が賛同 している	A 内諾	受注	失注
ZAC決定確率			D (0 ~ 30%未満)	D (0 ~ 30%未満)	C (30 ~ 50%未満)	C (30 ~ 50%未満)	C (30 ~ 50%未満)	B (50 ~ 80%未満)	B (50 ~ 80%未満)	A (80 ~ 100%)		
ZAC決定確率ID			04	04	03	03	03	02	02	01		

Deal StageのIDをGlue DataBrewにセット

新規案件登録

【AWS Glue DataBrewサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Glue」と入力します。
- ② 検索一覧から「AWS Glue DataBrew」をクリックします。

③ 「プロジェクト」画面で

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project」

本番環境用の場合

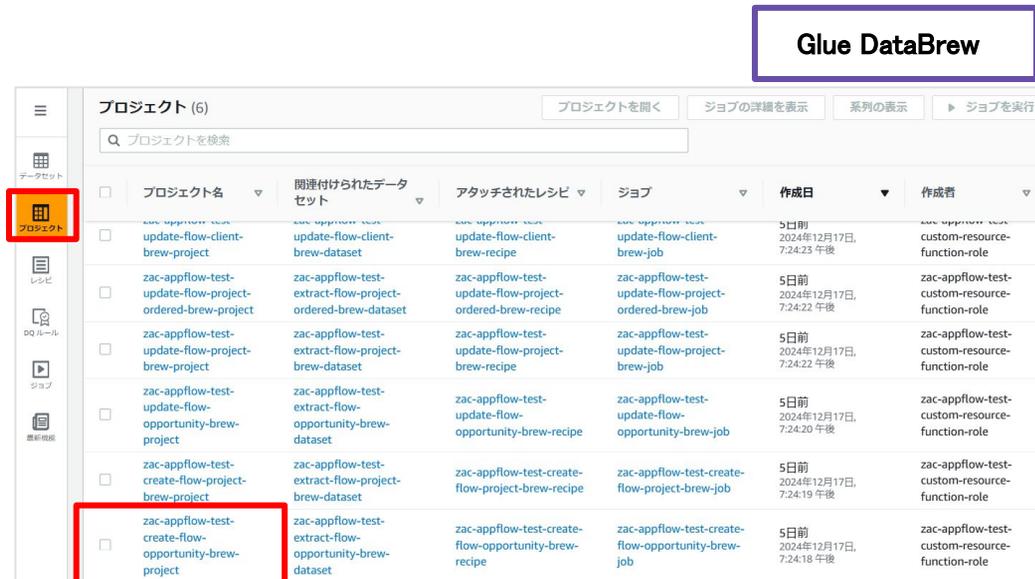
「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

※Glue DataBrewは、画面を開いている時間に応じてセッション課金がされるため、ご注意ください。



② AWS Glue DataBrewをクリック



③ 「プロジェクト」をクリックし、プロジェクト画面で「zacapi-appflow-create-flow-opportunity-brew-project」をクリック

Deal StageのIDをGlue DataBrewにセット

- ④ セッションの準備が完了するまで待機します。
- ⑤ 準備完了後、画面右側の「レシピ」から「さらに10個のレシピステップ」をクリックし、「列を作成zac_project_infos_dealstage使用 論理関数 CASE」の「編集」を選択します。



⑤ 「編集」を選択

フェーズIDをGlue DataBrewにセット

- ⑥ ソースのプルダウンで「次の値」「dealstage」を選択し、論理条件で「次と等しい」を選択します。
- ⑦ 「結果の値」欄にZACの決定確率コードが記載されていますので、連携対象のSalesforceのフェーズAPI参照名を、該当の対応させる「値を入力」欄に入力します。
- ⑧ デフォルトで設定されているCASE条件よりSalesforceの連携フェーズが多い場合は、「別のCASE条件を追加」から、条件の追加を行います。
- ⑨ 最後に「適用」ボタンをクリックします。

⑥ ソース「次の値」「dealstage」を選択
論理条件「次と等しい」を選択

⑦ Salesforceでコピーした内部IDを、
紐づける「結果の値」が入力された
「結果の値」欄に入力

⑧ 「別のCASE条件を追加」から連携する
フェーズを追加

⑨ 「適用」をクリック

The screenshot shows the '列を作成' (Create Column) dialog box in Glue DataBrew. It is divided into several sections:

- ソース (Source):** A dropdown menu is set to '次の値' (Next Value) and 'dealstage'. A red box highlights this section, with an arrow pointing to the text '⑥ ソース「次の値」「dealstage」を選択 論理条件「次と等しい」を選択'.
- 論理条件 (Logical Condition):** A dropdown menu is set to '次と等しい' (Next and Equal).
- 値を入力 (Enter Value):** The 'カスタム値を入力' (Enter Custom Value) option is selected. The input field contains '154582180'. A red arrow points to this field with the text '⑦ Salesforceでコピーした内部IDを、紐づける「結果の値」が入力された「結果の値」欄に入力'.
- 結果の値 (Result Value):** The 'カスタム値を入力' (Enter Custom Value) option is selected. The input field contains '01'. A red arrow points to this field with the text '⑧ 「別のCASE条件を追加」から連携するフェーズを追加'.
- 別のCASE条件を追加 (Add Another Case Condition):** A button labeled '別のCASE条件を追加' is highlighted with a red box and an arrow.
- 送信先列 (Destination Column):** The input field contains 'zac_project_infos_dealstage'. Below it, there is a preview section and buttons for 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and 'ステップを削除' (Delete Step). The '適用' button is highlighted with a red box and an arrow, with the text '⑨ 「適用」をクリック'.

Deal StageのIDをGlue DataBrewにセット

- ⑨ 「レシピのステップを検証」画面が表示されます。
検証が完了しましたら、「続行」ボタンをクリックしてクローズします。



Deal StageのIDをGlue DataBrewにセット

案件更新

① AWS Glue DataBrewから「プロジェクト」画面にもどり、

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」

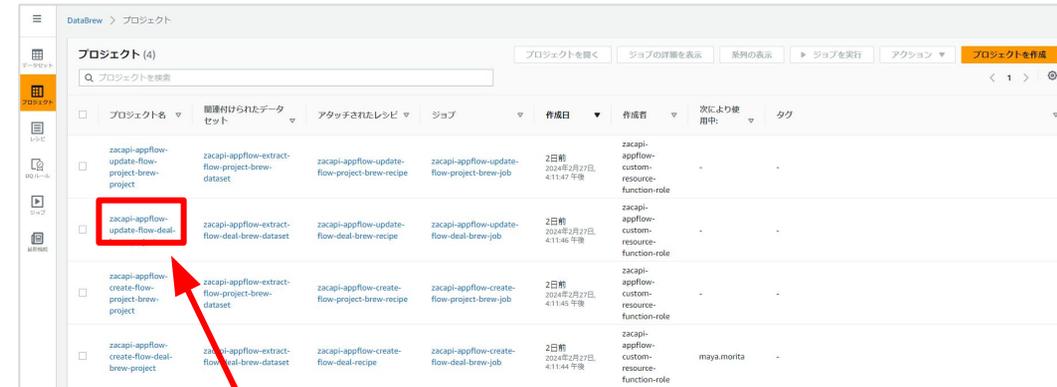
本番環境用の場合

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

② 以下の手順は「[新規案件登録](#)」と同じとなりますので、

省略します。



プロジェクト名	関連付けられたデータセット	アタッチされたレシピ	ジョブ	作成日	作成者	次に予定されている	タグ
zacapi-appflow-update-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:47 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-update-flow-deal	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:46 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:45 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:44 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	maya.morita	-

① プロジェクト画面で

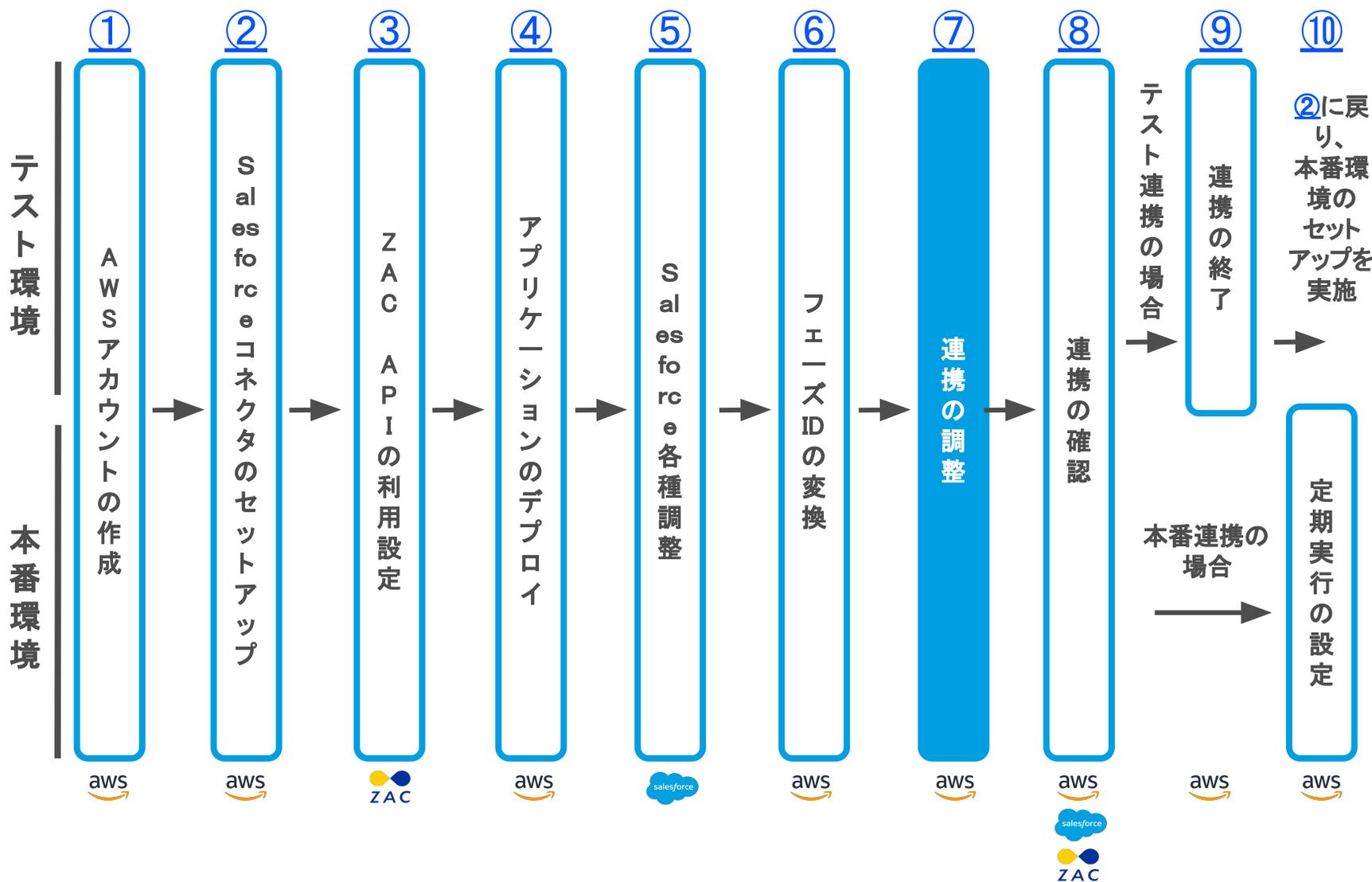
「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」
もしくは

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」
をクリック

10. 連携の調整

本章の目的

本章では、連携の調整を行います。こちらの章の内容は補足的な内容であり、クライアントコードの桁数変更など、必要に応じて連携の内容の更新を行いたい場合などに実施をしてください。



補足)コードの桁数変更

※本ガイドでは、クライアントコードの桁数を変更している場合の操作例を記載しています。

※クライアントコードの桁数を5桁から変更されている場合はこちらの対応が必要です

新規案件登録

※新規案件登録と案件更新連携、それぞれでコード桁数変更の対応が必要となります。

【AWS Glue DataBrewサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Glue」と入力します。
- ② 検索一覧から「AWS Glue DataBrew」をクリックします。
- ③ 「プロジェクト」画面で

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project」

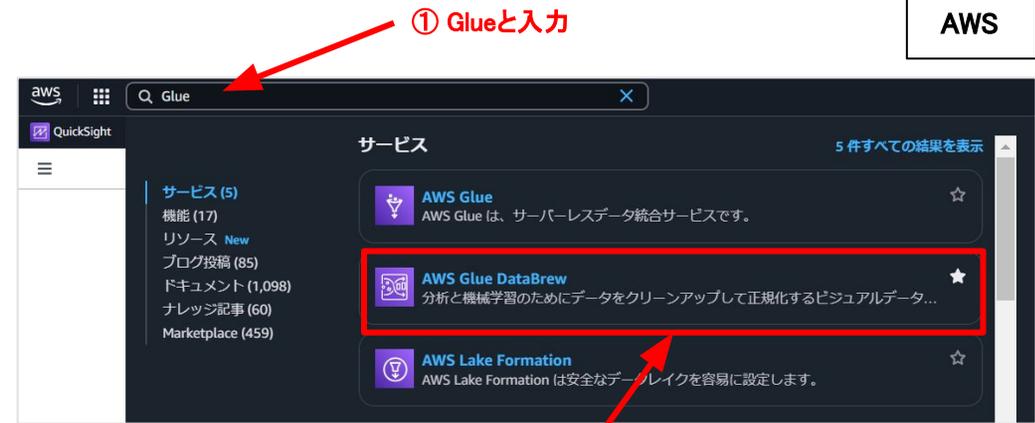
本番環境用の場合

「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

※Glue DataBrewは、画面を開いている時間に応じてセッション課金がされるため、ご注意ください。

AWS



② AWS Glue DataBrewをクリック

Glue DataBrew

プロジェクト名	関連付けられたデータセット	アタッチされたレシビ	ジョブ	作成日	作成者
update-flow-client-brew-project	update-flow-client-brew-dataset	update-flow-client-brew-recipe	update-flow-client-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:23 午後	custom-resource-function-role
zac-appflow-test-update-flow-project-ordered-brew-project	zac-appflow-test-extract-flow-project-ordered-brew-dataset	zac-appflow-test-update-flow-project-ordered-brew-recipe	zac-appflow-test-update-flow-project-ordered-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:22 午後	zac-appflow-test-custom-resource-function-role
zac-appflow-test-update-flow-project-brew-project	zac-appflow-test-extract-flow-project-brew-dataset	zac-appflow-test-update-flow-project-brew-recipe	zac-appflow-test-update-flow-project-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:22 午後	zac-appflow-test-custom-resource-function-role
zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project	zac-appflow-test-extract-flow-opportunity-brew-dataset	zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-recipe	zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:20 午後	zac-appflow-test-custom-resource-function-role
zac-appflow-test-create-flow-project-brew-project	zac-appflow-test-extract-flow-project-brew-dataset	zac-appflow-test-create-flow-project-brew-recipe	zac-appflow-test-create-flow-project-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:19 午後	zac-appflow-test-custom-resource-function-role
zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project	zac-appflow-test-extract-flow-opportunity-brew-dataset	zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-recipe	zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-job	5日前 2024年12月17日, 7:24:18 午後	zac-appflow-test-custom-resource-function-role

③ 「プロジェクト」をクリックし、プロジェクト画面で「zacapi-appflow-create-flow-opportunity-brew-project」をクリック

補足)コードの桁数変更

- ④ セッションの準備が完了するまで待機します。
- ⑤ 準備完了後、画面右側の「レシピ」から「さらに10個のレシピステップ」をクリックし、「入力 欠落した値99999 次において: zac_project_infos_code_client」の「編集」を選択します。
- ⑥ 「カスタム値」に該当の桁数(5桁の場合は「99999」)を入力し、「適用」ボタンをクリックします。



11. 入力 欠落した値 99999 次において: zac_project_infos_code_client

- ⑤ 「入力 欠落した値99999 次において: zac_project_infos_code_client」をクリック

- ⑥ 「カスタム値」に該当の桁数を入力し、「適用」をクリック



補足)コードの桁数変更

- ⑦「レシピのステップを検証」画面が表示されます。
検証が完了しましたら、「続行」ボタンをクリックしてクローズします。



補足)コードの桁数変更

案件更新

① AWS Glue DataBrewから「プロジェクト」画面にもどり、

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」

本番環境用の場合

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

② 以下の手順は「[新規案件登録](#)」と同じとなりますので、

省略します。

プロジェクト名	関連付けられたデータセット	アタッチされたレシビ	ジョブ	作成日	作成者	次に使用	タグ
zacapi-appflow-update-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:47 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-update-flow-deal	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:46 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:45 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日 4:11:44 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	maya.morita	-

① プロジェクト画面で

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」
もしくは

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」
をクリック

補足) 請求先部門・担当者の登録

※本ガイドでは、請求先部門・請求先担当者を登録必須に設定変更されている場合の操作例を記載しています。

※請求先部門と担当者を登録必須に変更されている場合はこちらの対応が必要です。

新規案件登録

※新規案件登録と案件更新連携、それぞれでコード桁数変更の対応が必要となります。

【AWS Glue DataBrewサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Glue」と入力します。
- ② 検索一覧から「AWS Glue DataBrew」をクリックします。
- ③ 「プロジェクト」画面で

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

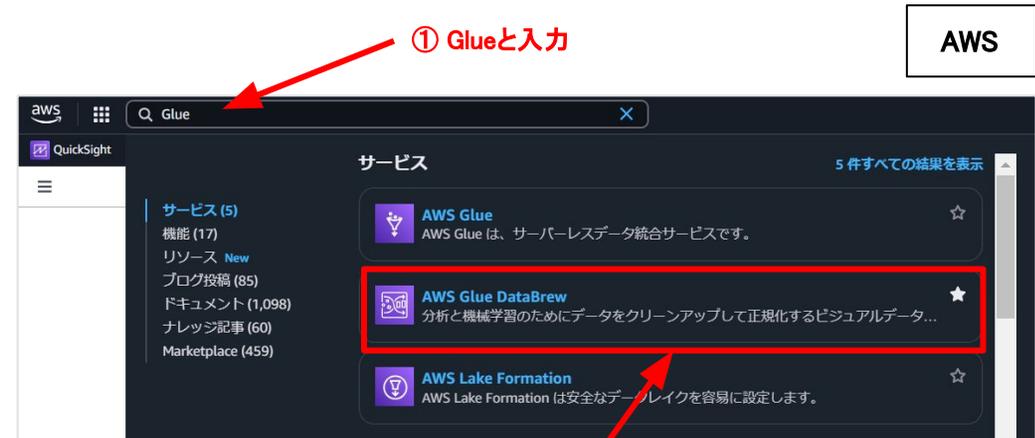
「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project」

本番環境用の場合

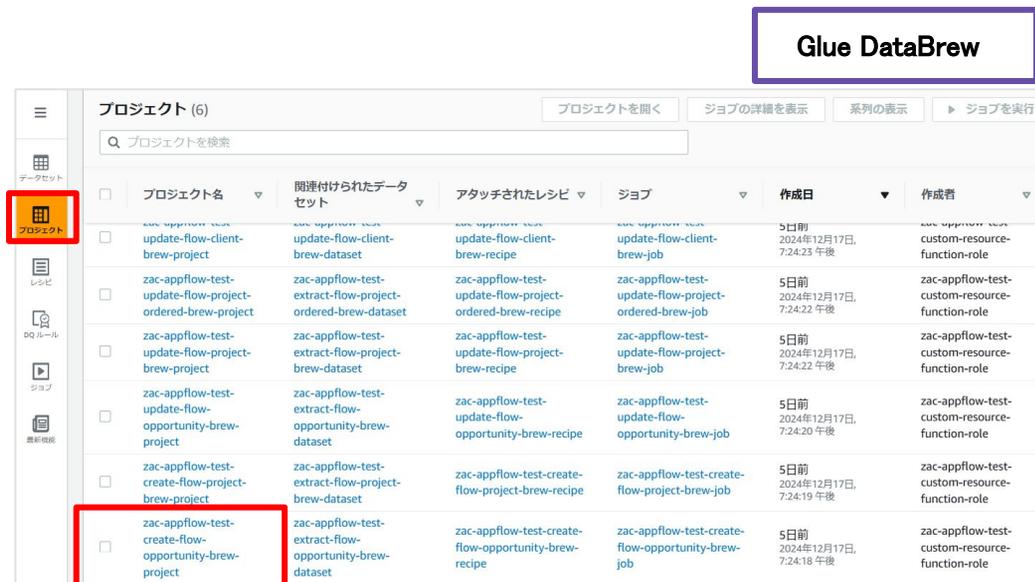
「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

※Glue DataBrewは、画面を開いている時間に応じてセッション課金がされるため、ご注意ください。



② AWS Glue DataBrewをクリック



③ 「プロジェクト」をクリックし、プロジェクト画面で「zacapi-appflow-create-flow-opportunity-brew-project」をクリック

補足) 請求先部門・担当者の登録

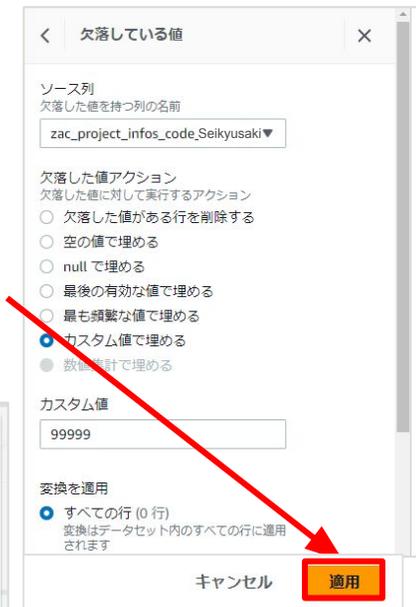
- ④ セッションの準備が完了するまで待機します。
- ⑤ 準備完了後、画面右側の「ステップの追加」をクリックします。
- ⑥ 「欠落した値を埋める/帰属」をクリックします。
- ⑦ ソース列を「zac_project_infos_code_seikyusaki_section」を選択し、「カスタム値」に「99」(※その他)を入力し、「適用」ボタンをクリックします。(桁数変更している場合は該当のコードを登録)
- ⑧ 「レシピのステップを検証」画面が表示され、検証が完了したら、検証画面をクローズします。
- ⑨ 「zac_project_infos_code_seikyusaki_person」に対して、⑤～⑧の手順にて、「ステップの追加」を行います。
- ⑩ 「zac_project_infos_else_name_seikyusaki_section」に対して、⑤～⑧の手順にて、「ステップの追加」を行いますが、ここでは「カスタム値」に「 」(半角スペース)を入力します。
- ⑪ 「zac_project_infos_else_name_seikyusaki_person」に対して、⑩と同じ手順にて、「ステップの追加」を行います。



⑥「カスタム値」を入力し、「適用」をクリック



⑦「カスタム値」を入力し、「適用」をクリック



⑧「レシピのステップを検証」画面



補足) 請求先部門・担当者の登録

案件更新

① AWS Glue DataBrewから「プロジェクト」画面にもどり、

プロジェクト名:

テスト環境用の場合

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」

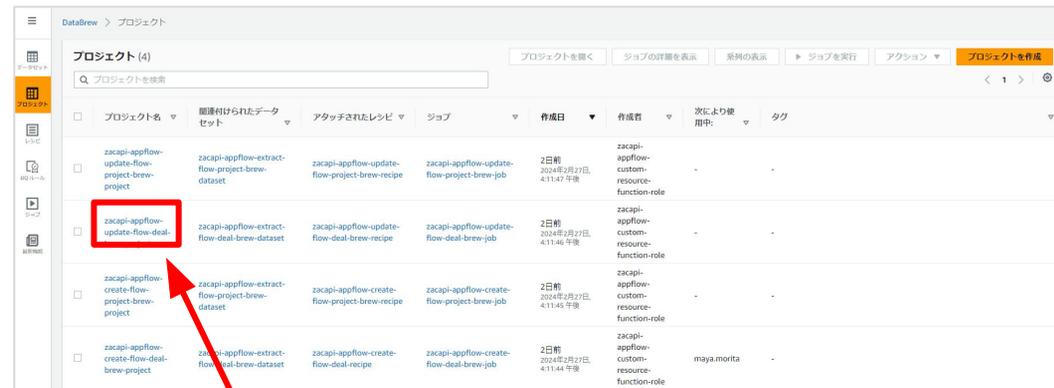
本番環境用の場合

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

② 以下の手順は「[新規案件登録](#)」と同じとなりますので、

省略します。



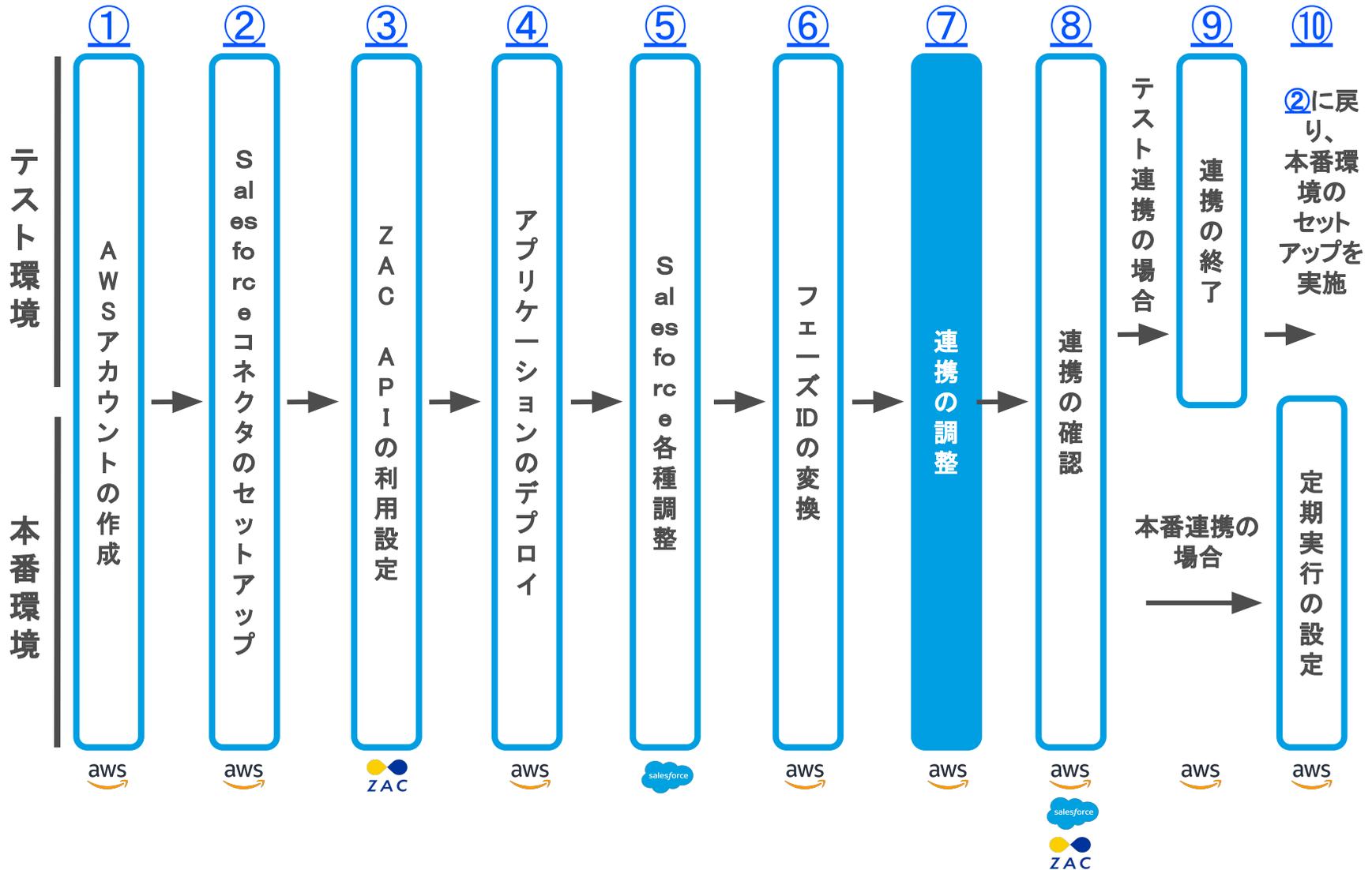
① プロジェクト画面で
「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」
もしくは
「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」
をクリック

11. 連携の確認

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携の確認を行います。「Salesforceで商談の作成」⇒「ZACで案件作成の確認」⇒「商談・案件更新の確認」⇒「連携終了の確認」⇒「商談ビューの作成」⇒「既存商談の更新」の流れでセットアップを行います。

※テスト連携では、手動でStep Functionsで連携を実行します。本番連携では、定期実行できるようにスケジュールの設定を行います。



11-1. 商談-案件連携

確認用商談の作成

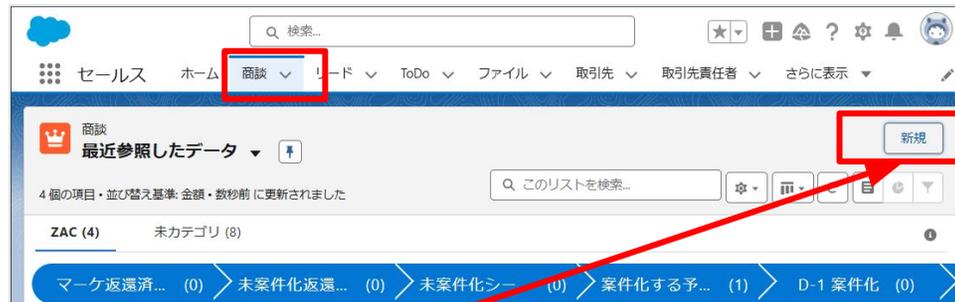
本頁からは、実際にSalesforceで商談を作成し、その情報がZACに連携されることを確認します。

新規登録確認用の商談作成

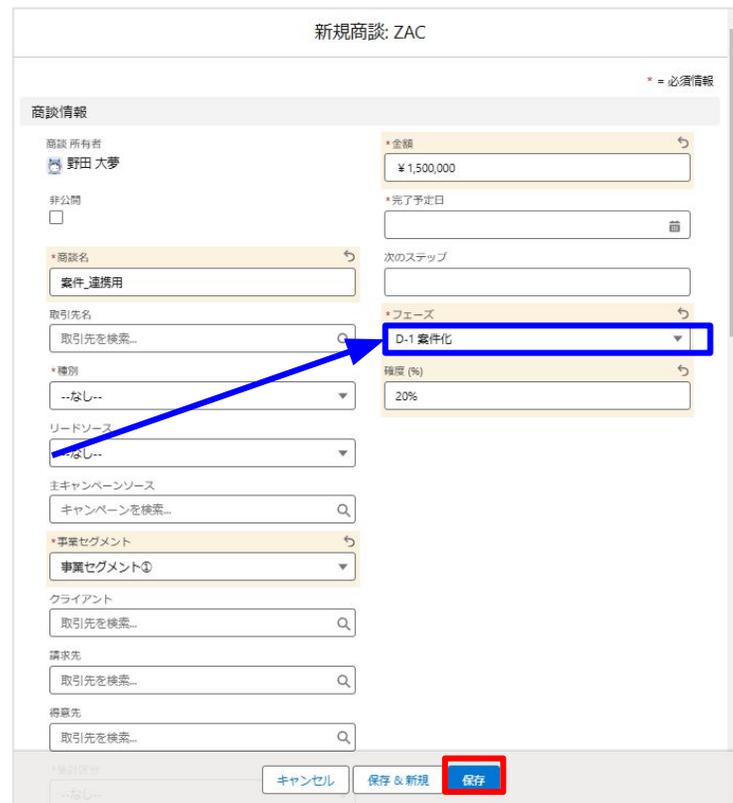
- ① 「セールス」タブから「商談」を選択します。
- ② 商談画面で「商談を作成」をクリックします。
- ③ 「商談を作成」画面でZAC連携時に必要な項目を入力し、「作成」ボタンをクリックします。

※ZACへの連携対象となる「商談フェーズ」を選択した場合、または連携対象フェーズに移動した際に、ZACで案件が作成されます。

① 「セールス」タブで「商談」を選択



② 「新規」をクリック



③ 必要項目を入力し、「保存」をクリック

確認用商談の作成

更新登録確認用の商談作成

④①~③と同様の手順で商談を作成しますが、
この際に「JOBNo.(案件基本)」に仮のコードを入力します。

The screenshot shows the Salesforce interface for a conversation record. The record is titled '連携テスト 更新用' (Integration Test Update). The record details include: '取引先名' (Client Name), '完了予定日' (Completion Date) 2025/06/30, '金額' (Amount), and '商談所有者' (Conversation Owner) Kawakubo Takumi. There is a '+ フォローする' (Follow) button.

④ 「JOB No.(案件基本)」に仮のコードを入力し、
「保存」をクリック

The screenshot shows a close-up of the 'JOB No.(案件基本)' (Job No. (Case Basic)) field in the Salesforce form. The field contains the value '2100001'. Below the field is a search box for '取引先を検索...' (Search for client...). At the bottom of the form, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red box.

連携の実行

ここまでの手順で、定期実行は行わない状態になっています。次の手順で実行が成功することを確認後、定期実行を設定してください。
Bパターンの場合、受注前の連携と、受注以降の連携で2つに分かれています。

【Step Functionsサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前：
テスト環境用の場合「zac-appflow-test-workflow」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-workflow」
をクリックします。

※[受注以降の連携](#)を確認する場合は、「ステートマシン」画面で名前：

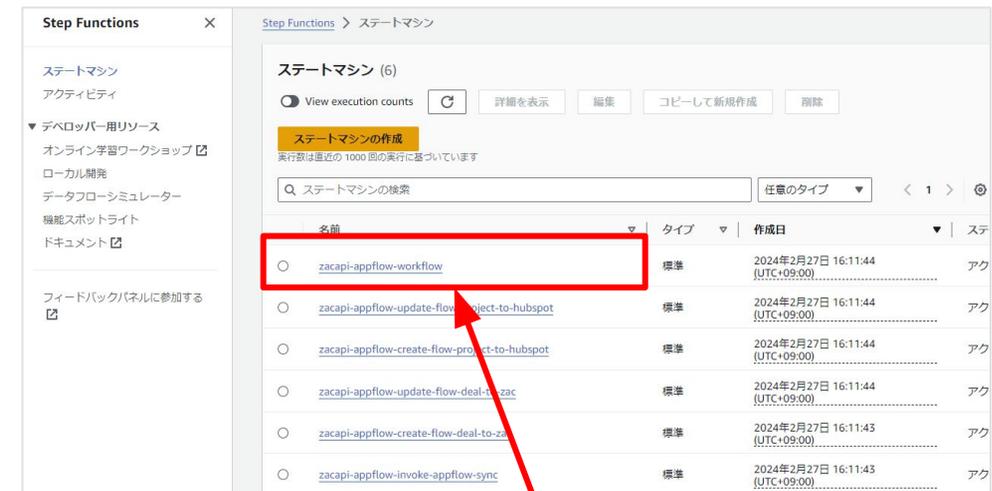
- テスト環境用の場合「zac-appflow-test-workflow2」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-workflow2」
をクリックします。

※[取引先と商談の紐づけ](#)を確認する場合は、「ステートマシン」画面で名前：

- テスト環境用の場合「zac-appflow-test-client-workflow」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-client-workflow」
をクリックします。



② Step Functionsをクリック



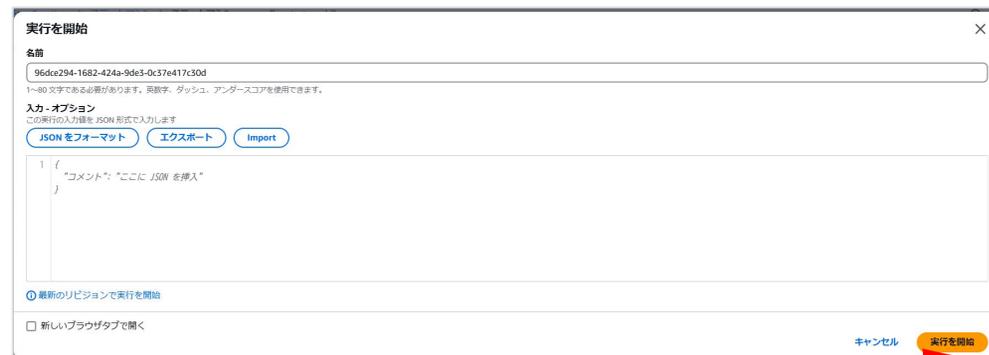
③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-workflow」もしくは「zac-appflow-prod-workflow」を選択

連携の実行

【連携の実行】

- ④ 選択したステートマシンの画面から、「実行を開始」をクリックします。
- ⑤ 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。

④ 「実行を開始」をクリック



⑤ 「実行を開始」をクリック

連携の実行

- ⑥ 連携フローの実行画面が表示されます。
- ⑦ 実行状況にしたがって実行ステータスが表示されます。
- ⑧ 実行ステータスが「成功」になると、1回の連携が完了となります。

⑦ 実行ステータスが表示されます

The screenshot shows the AWS Step Functions console for an execution with ID 08457614-e554-4b83-8ab1-9666bd5d6deb. The execution status is '進行中' (In Progress). The console displays various details such as start time, end time, duration, and IAM role. Below the details, there is a 'グラフィックビュー' (Graphical View) showing a flowchart with steps: Start, HubSpotから取引を取得 (In Progress), ZACから案件を取得 (1) (Completed), and several dashed boxes representing other steps in the workflow.

チェック実行の確認

「チェック実行」の連携結果を確認します。

確認用商談作成後、ZACの「経理・管理＞その他＞テーブルデータ取込＞検索」より、チェック実行が成功しており、かつ意図した内容で実行結果が表示されることを確認します。また、確認用商談以外の商談はチェック実行が失敗しており、エラー内容がSalesforceに表示されることを確認します。

【Salesforce→ZAC連携のチェック実行】

- ① ZACのテーブルデータ取込画面で取込日等を指定後、「検索」ボタンを押下します。
- ② チェック実行結果が表示されます。
取込状態が「チェック済」のデータが、「チェック実行」で連携を実行した商談です。

※チェック実行が成功している場合は「エラー行数:0」です。

- ③ チェック実行が失敗しているデータの処理コードを押下します。

■テーブルデータ取込

テーブルデータ取込

取込種別

取込日 2024年 月 日 ~ 年 月 日

キーワード

取込状態 処理済を含む

取込種別	処理コード:処理名	最終更新者	取込状態
最終更新日時	処理予約日時	処理終了日時	エラー行数
案件基本+利益計画	0000367 :API	API ユーザー	チェック済
2024/04/15 14:19			2

③ 「処理コード」を押下

①② 「検索」ボタン押下後、
取込状態「チェック済」のデータを確認

チェック実行の確認

- ④ 「チェック結果画面」ボタンを押下し、
チェック結果(エラー内容)を確認します。
- ⑤ チェック結果確認後、Salesforce商談の情報を修正します。

登録				
処理コード	0000367		取込状態	チェック済
取込種別	案件基本+ 利益計画			
処理名	API			
	ファイルを指定	アップロード済ファイル名	行数	
案件基本	ファイルを選択 選択されていません	api_file_1.txt	2	削除
売上項目	ファイルを選択 選択されていません	api_file_2.txt	2	削除
予定原価	ファイルを選択 選択されていません		0	削除
合計(ヘッダ行含む)			4	
				削除 保存
チェック				
チェック済行数	4行		チェック実行	
エラー行数	2行		チェック結果画面	



■チェック結果 0000367: API			
ファイル名	エラー行数		
api_file_1.txt	ダウンロード		
api_file_2.txt	ダウンロード		
No.	ファイル名	行番号	エラー内容
1	api_file_1.txt	2	事業セグメントコードを入力してください。営業担当者コードを入力してください。集計区分コードを入力してください。引合日を入力してください。受注予定日を入力してください。売上予定日を入力してください。
2	api_file_2.txt	2	売上(税込)を入力してください。売上額を入力してください。指定された旧JOBNoが存在しません。売上予定日を入力してください。売上区分コードを入力してください。単価を入力してください。

(補足) 連携実行結果の確認方法

【ZAC→Salesforce連携のチェック実行】

全ユーザーがエラー商談(チェック実行失敗)を一覧で確認できるように、ビュー条件の保存を行います。

- ① 「セールス」から「商談」を選択します。
- ② 「リストビューコントロール」をから、「新規」を選択します。
- ③ 「リスト名」と「リストAPI参照名」に任意の名称を入力し、「保存」をクリックします。



②「リストビューコントロール」から「新規」を選択

新規リストビュー

*リスト名
連携エラー商談

*リストAPI参照名 ⓘ
zac_error_view

誰がこのリストビューを表示しますか?

自分のみがこのリストビューを表示できる

すべてのユーザーがこのリストビューを表示できる ⓘ

リストビューをユーザーグループと共有 ⓘ

③「リスト名」と「リストAPI参照名」に任意の名称を入力し、「保存」をクリック

(補足) 連携実行結果の確認方法

- ④画面右上の「検索条件」をクリックします。
- ⑤「所有者別に絞り込み」をクリックし、「全ての商談」をチェックして「完了」を押下します。
- ⑥「検索条件を追加」をクリックします。
- ⑦下記の検索条件を追加します。
 - ・項目: ZAC連携実行結果
 - ・演算子: 次の文字列と一致する
 - ・値: 失敗
- ⑧「連携エラー商談」のビューで、連携エラーの商談の「ZAC連携エラーメッセージ」を確認し、Salesforce商談の情報を修正します。

- ⑦下記の検索条件を追加し、「保存」をクリック
- ・項目: ZAC連携実行結果
 - ・演算子: 次の文字列と一致する
 - ・値: 失敗

⑧ビューの確認をする



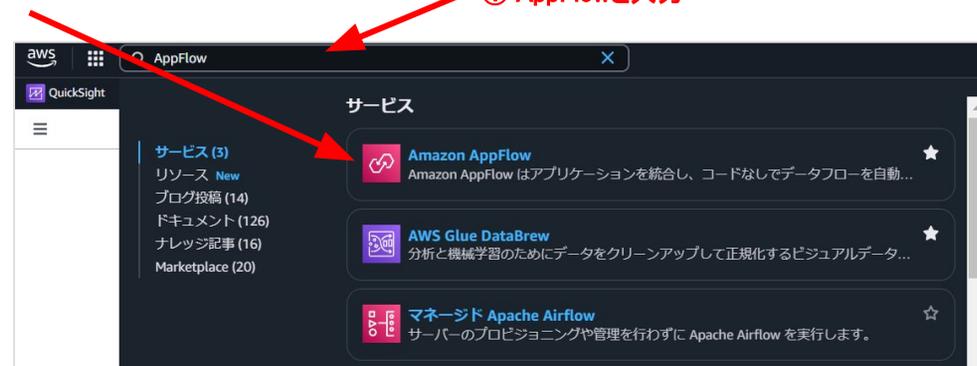
案件取込実行への変更

チェック実行で「Salesforce→ZAC, ZAC→Salesforce」それぞれの連携が成功していることを確認したら、「チェック実行」の選択肢を「False」に変更します。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ ページ左側の「接続」を選択します。
- ④ 「コネクタ」のプルダウンから、テスト環境の場合は「zac-appflow-connector-test」、本番環境の場合は「zac-appflow-connector-prod」を選択します。
- ⑥ 作成されている接続をクリックします。

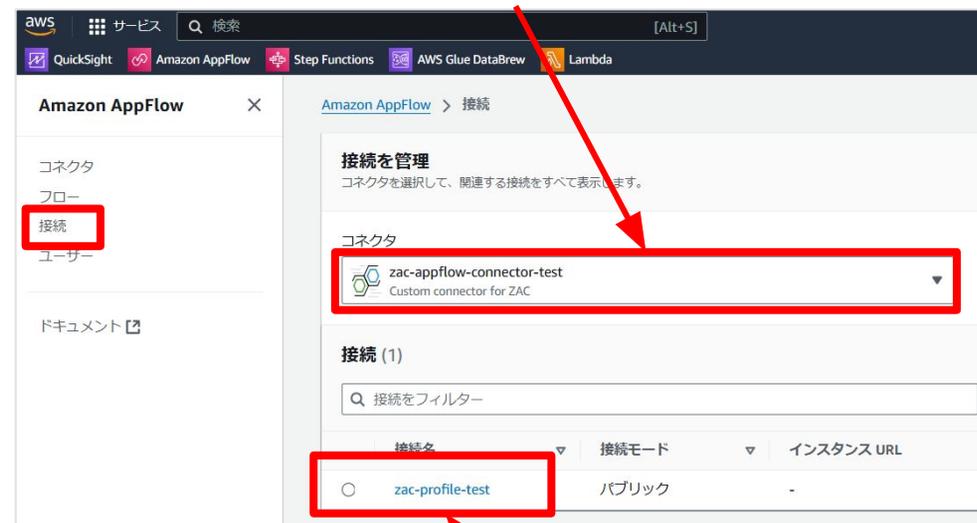
② Amazon AppFlowをクリック

① AppFlowと入力



⑤ コネクタからテスト環境の場合は「zac-appflow-connector-test」、本番環境の場合は「zac-appflow-connector-prod」を選択

③ 「接続」をクリック



⑥ 作成されている接続をクリック

チェック実行の確認

- ⑥ 「編集」をクリックします。
- ⑦ username、password、client_id、client_secretを
[デプロイ時と同様](#)に入力し、
「チェック実行のみ」を「False」に変更し、
「変更の保存」を押下します。

その後、「[連携を実行](#)」します。

Amazon AppFlow > 接続 > zac-profile-Prod

zac-profile-Prod 削除

一般的な設定

接続名 zac-profile-Prod	接続 ARN arn:aws:appflow:ap-northeast-1:387420415383:connectorprofile/zac-profile-b2	作成日 2024年9月20日, 15:28
接続モード パブリック	接続認証情報の ARN arn:aws:secretsmanager:ap-northeast-1:387420415383:secret:appflow!387420415383-zac-appflow-connector-b2-zac-profile-b2-1726813712777-rjvwHF	最終更新日 2024年9月20日, 17:32
コネクタタイプ カスタムコネクタ		

接続プロパティ (4) **編集** Secrets Manager でシークレット値を表示する

接続の編集

接続設定

Secrets Manager でシークレット値を表示する

接続名
zac-profile-b2

username
ZAC ユーザーID

password
ZAC パスワード

client_id
ZAC アプリケーションID

client_secret
ZAC アプリケーションのパスワード

ZAC ホスト名
secure.zac.ai

ZAC アプリケーション名
True

False

False

「False」選択後、「変更の保存」をクリック

キャンセル **変更の保存**

確認用商談作成の確認

① ZACの案件検索画面で

- ・進捗: 引未
- ・営業担当者: Salesforceで登録した営業担当者で検索し、ZAC側で案件が作成されていることを確認します。

※Salesforceから以下の項目が連携されていることを確認します。

(ZACの案件基本画面を確認します。)

- ・案件名
- ・事業セグメント
- ・営業担当者
- ・集計区分
- ・引合日
- ・受注予定日
- ・売上予定日
- ・金額

② ZACの利益計画画面を登録します。

※引未: 一時保存のため、利益計画の引用機能が使用可能です。

③ ZACの「JOBNo.」と「金額」が

Salesforceへ連携されていることを確認します。

① ZACで案件が作成されていることを確認

ZAC

2000007 【新規】株式会社目黒ソフト

高来担当名 0002 ユーザー 2 売上予定日 2024/10/31

案件基本 | **利益計画** | 見積 | 受注・失注 | 請求 | 売上 | :

一時保存中 | **新規申請**

集計表	売上	原価1	粗利	粗利率	原価2	売上総利益	売総率	原価3	利益	営利率
見込	5,000,000	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%
予定	5,000,000	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%
予定+実績	5,000,000	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%
実績	0	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%

② 利益計画画面で金額等を入力し、「新規申請」をクリック

Salesforce

セールス ホーム 商談 リード ToDo ファイル 取引先 取引先責任者 キャンペ

商談 案件CSV_連携用 + フォローする

取引先名 完了予定日 金額 商談所有者
2024/08/22 ¥1,500,000 野田大夢

Needs An... Value Pro... Id. Decisi... Perceptio... Proposal/... Negotiati... マーク返...

活動 詳細 Chatter

商談所有者 野田大夢

金額 ¥1,500,000

非公開 期待収益 ¥300,000

商談名 完了予定日 2024/08/22

案件CSV_連携用

取引先名 次のステップ

種別 フェーズ Needs Analysis

③ 「JOBNo.」と「金額」が連携されていることを確認

更新の確認

【Salesforceの更新】

Salesforceの商談情報を更新した際に、ZAC側に連携されるかの確認を行います。

例)

- ・商談フェーズ
- ・金額
- ・日付

※右図はSalesforceで「商談フェーズ」を更新した場合の例です。

- ① 該当の商談を選択し、「フェーズ」のプルダウンします。
- ② 「[連携を実行](#)」します
- ③ ZACの案件基本画面を開き、「決定確率」が更新されていることを確認します。



商談更新後



③ 「決定確率」の更新を確認

更新の確認

ZAC

【ZACの更新】

ZACの利益計画画面を更新した際に、Salesforce側に連携されるかの確認を行います。

- 例)
- ・金額
 - ・売上予定日

※右図はZACで「金額」と「売上予定日」を更新した場合の例です。
 ※「売上予定日」が更新されるのは、お使いのZAC環境が複数売上環境の場合のみです。
 貴社の環境が複数売上環境がご不明な場合は、下記の記事をご参照いただくか、弊社担当にお問い合わせください。

[【2.0.8～】【複数売上】複数売上オプションの概要 - ZAC / Reforma PSA ヘルプセンター](#)

- ① ZACで該当の案件を開き、「金額」と「売上予定日」を更新します。
- ② 「[連携を実行](#)」します。
- ③ Salesforceの商談を開き、「金額」が更新されていることを確認します。

集計表	売上	原価1	粗利	粗利率	原価2	売上総利益	売込率	原価3	営業利益	営業率
見込	5,000,000	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%	0	5,000,000	100%
予定	4,500,000	0	4,500,000	100%	0	4,500,000	100%	0	4,500,000	100%
予定+実績	4,500,000	0	4,500,000	100%	0	4,500,000	100%	0	4,500,000	100%
実績	0	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%

① 「金額」と「売上予定日」を更新

Salesforce

取引先名	完了予定日	金額	商談所有者
001 要件定義	2024/08/22	¥1,500,000	野田大夢

③ 「金額」と「売上予定日」が更新されていることを確認

受注以降の連携の確認

ZACの案件進捗が受承/失完/請済/売確/売完ときに、Salesforce→ZACで案件が更新されず、ZAC→Salesforceで金額およびZACの案件進捗が更新されることを確認します。

※右図は、ZACの案件進捗を「受承」に更新した場合の例です。

- ① 該当のZAC案件を受注申請し、案件進捗を「受承」に更新します。
- ② 「[連携を実行](#)」します。
- ③ Salesforceで該当の案件を開き、「金額」「粗利(予定実績)額」「売上総利益(予定実績)額」「営業利益(予定実績)額」「ZAC案件進捗」が更新されていることを確認します。
- ④ 該当の案件の案件基本情報が、Salesforceの情報で更新されていないことを確認します。

以降、失完/請済/売確/売完の案件進捗でも同様の更新がかかります。

※連携条件

進捗: 失完/受承/請済/売確/売完

連携頻度: 日次

最終更新日: 7日前まで

売上予定日: 11か月前～

ZAC

受承
2100015 クライアントあり請求先なし得意先あり
🔍

営業担当 0001 ユーザー 1 売上予定日 2024/09/30 売上金額 -99,999,998

案件基本
利益計画
見積
受注・失注
請求
売上
: ① 該当の案件を受注申請

2024/09/25 売上予定金額 -99,999,998円 9999>実行 1>ザ-
最新
承認済
変更申請

集計表	売上	原価1	粗利	粗利率	原価2	売上総利益	売総率	原価3	営業利益	営利率
見込	-99,999,998	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%
予定	-99,999,998	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%
予定+実績	-99,999,998	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%	0	-99,999,998	100%
実績	0	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%

Salesforce

セールス
ホーム
商談
リード
To Do
ファイル
取引先
取引先責任者
キャンベ

商談
案件CSV_連携用
+ フォローする

取引先名
完了予定日
金額
商談所有者

2024/08/22
¥1,500,000
野田大夢

Needs An...
Value Pro...
Id. Decisi...
Perceptio...
Proposal/...
Negotiati...
マーク返...

活動
詳細
Chatter

商談所有者

野田大夢

非公開

商談名

案件CSV_連携用

取引先名

種別

金額

¥1,500,000

粗利

¥1,000,000

売上総利益

¥800,000

営業利益

¥500,000

ZAC案件進捗

受承

フェーズ

Needs Analysis

③ 「金額」が更新されていることを確認

11-2. 取引先-クライアント連携

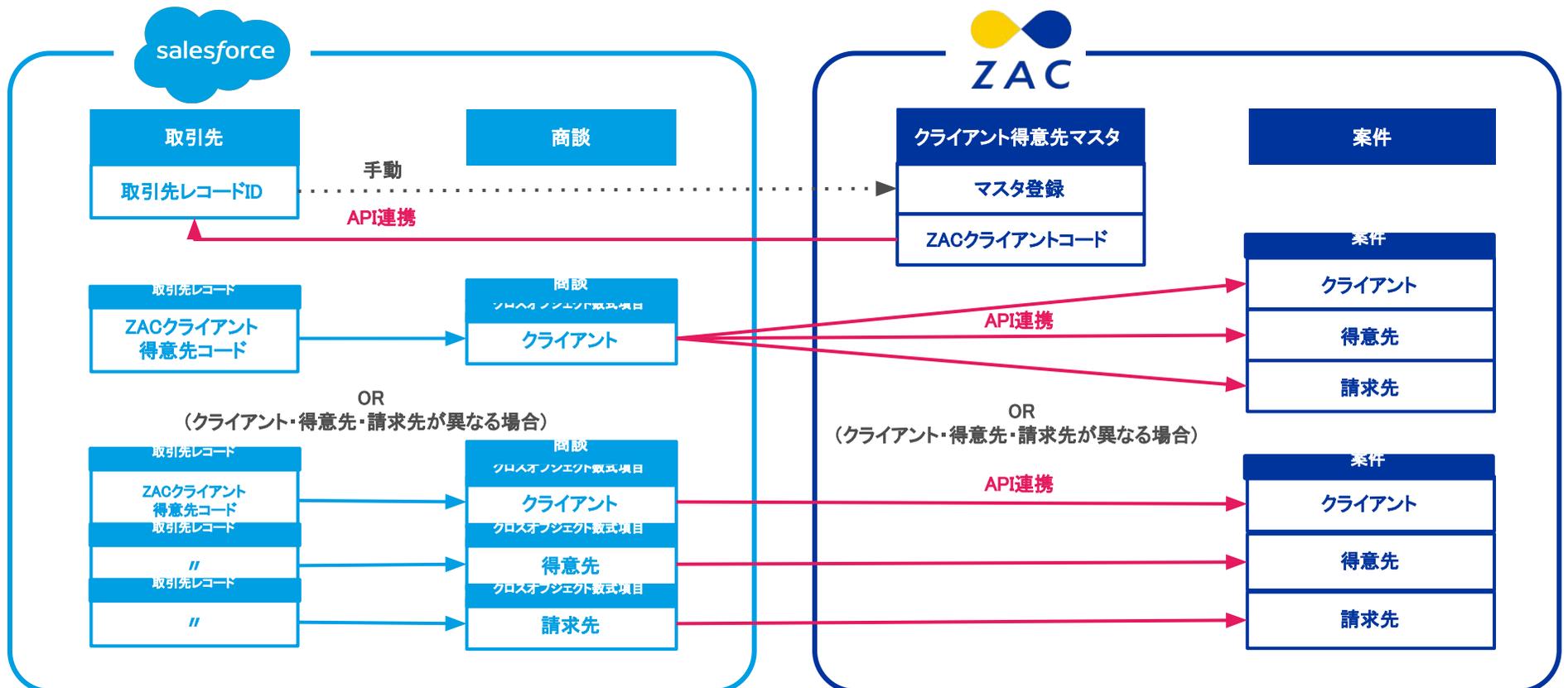
取引先-クライアント連携 概要

取引先-クライアント連携機能は、Salesforceの取引先オブジェクトに「ZACクライアント得意先マスターコード」を連携し、商談に紐付けられた取引先レコードから、Salesforceのクロスオブジェクト数式項目を活用しZACクライアント得意先コードを引用する機能です。

商談に紐ついている該当の取引先レコードに「ZACクライアント得意先コード」が登録されていない、もしくは商談に取引先が紐付けられていない場合、ZACに登録される案件の「得意先」「請求先」「クライアント」は仮登録で登録がされます。

商談に紐付けられた取引先レコードが「クライアント」のみである場合、ZAC連携時は、すべて「クライアント」で紐つけられた取引先レコードのZACクライアント得意先コードが連携されます。

商談に対して複数の取引先レコードを紐付けた場合、登録した内容に応じてそれぞれのZACクライアント得意先コードが優先され、連携がされます



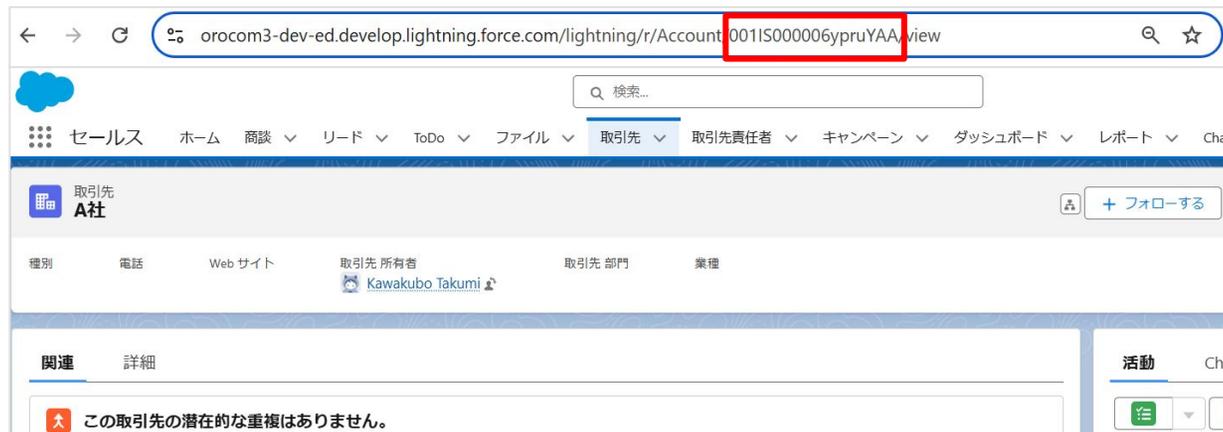
クライアント得意先マスタの登録

取引先オブジェクトからZACに登録をする該当のレコードの詳細に入り、レコードIDを取得します。

- ①取引先オブジェクトの中に入り、該当の取引先レコードの画面を開き、URLからレコードIDを取得します。



①「レコードID」の値をコピー



クライアント得意先マスタの登録

ZACのクライアント・得意先マスタの登録時に「Salesforce取引先レコードID」に入力をしてください。

Salesforce取引先オブジェクトの「ZACクライアント得意先マスタ」カスタム項目に、ZACのクライアントコードが自動で連携されます。

①クライアント得意先マスタを開き、該当のクライアント内の「Salesforce取引先レコードID」にコードを登録します。

クライアント・得意先登録	
登録内容	<input type="radio"/> 仮登録 <input checked="" type="radio"/> 本登録
クライアント・得意先	<input checked="" type="checkbox"/> クライアントとして使用 <input checked="" type="checkbox"/> 得意先として使用 <input checked="" type="checkbox"/> 請求先として使用
クライアントコード	00003
(旧)クライアントコード	
クライアント正式名	株式会社A
クライアント略称	株式会社A
クライアントカナ	カブシキガイシャエー
住所	〒 123-7654 東京都港区青山3-3-3 青山タワー33階
電話番号	03-2222-2222
FAX番号	
URL	
クライアント事業内容	宿泊業, 飲食サービス業
資本金	
ファイルグループ	添付ファイル (0件)
※クライアントのみ選択した場合、バックカラーが灰色の上記項目のみ入力して下さい。	
Salesforce取引先レコードID	001IS000006ypnuYAA
書類送付方法	<input checked="" type="radio"/> PDF出力 <input type="radio"/> メール送信

①「Salesforce取引先レコードID」に「レコードID」の値をコピー

ZACクライアント得意先マスターコードの連携

日次の連携が実行されることで、ZACクライアント得意先コードとZACクライアント得意先名が表示されます。
連携の実行をして、クライアントコードを取得できるかを確認します。

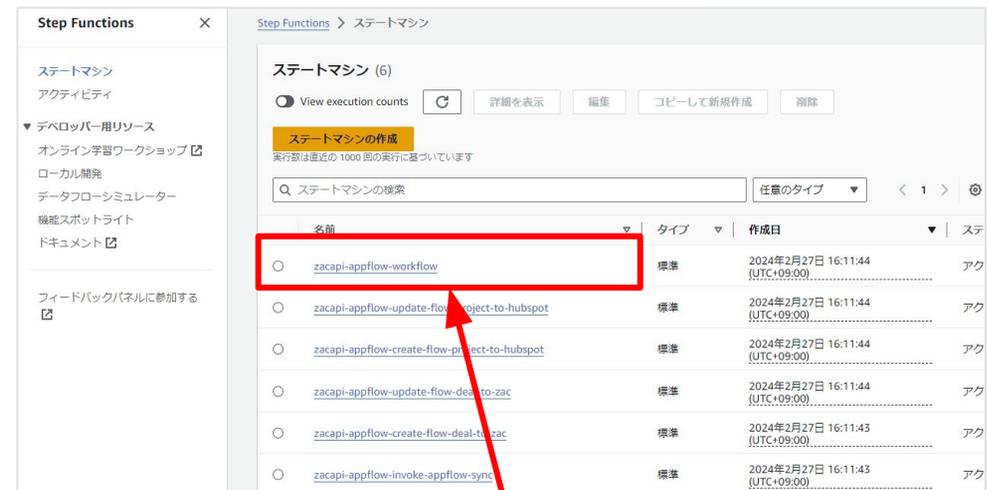
- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

テスト環境用の場合「zac-appflow-test-client-workflow」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-client-workflow」
を選択して、「実行を開始」をクリックします。

実行完了後、該当の取引先コードに
ZACクライアント得意先コードが登録されていれば連携は成功です。



② Step Functionsをクリック



③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-client-workflow」
もしくは「zac-appflow-prod-client-workflow」を選択

(補足)取引先-クライアント連携の準備

Salesforce連携オプションのご利用にあたり、すでにZACとSalesforceをご利用の場合は、データ間の突合を行う必要がございます。

1. **ZACのマスタ取込機能** を使い、クライアント得意先マスタにSalesforceの取引先レコードIDを一括で取り込む(更新させる)
 - a. ZACを新規でご導入いただくお客様の場合は、ZACへのマスタ取込時に合わせて実施いただくことを推奨致します。
 - b. ZACをすでにご利用されているお客様も、基本的にはこちらを推奨致します。
2. **Salesforceのインポート機能** を使い、Salesforceの取引先オブジェクトにZACクライアント得意先マスタコードを一括で取り込む(更新させる)
 - a. ZACをすでにご利用で、Salesforce連携オプションを追加導入いただいたお客様で、1の方法が難しい理由がある場合は、2の方法をご選択ください。

1. の方法については下記ヘルプセンターの記事をご参照ください。

[【2.0.12～】01.取込機能\(マスタ\)の概要 - ZAC / Reforma PSA ヘルプセンター](#)

(<https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ja/articles/18865726920345>)

2. の方法については下記Salesforceの記事をご参照ください。

[Salesforceデータインポート](#)

(<https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.importing.htm&type=5>)

商談と取引先の紐づけの確認

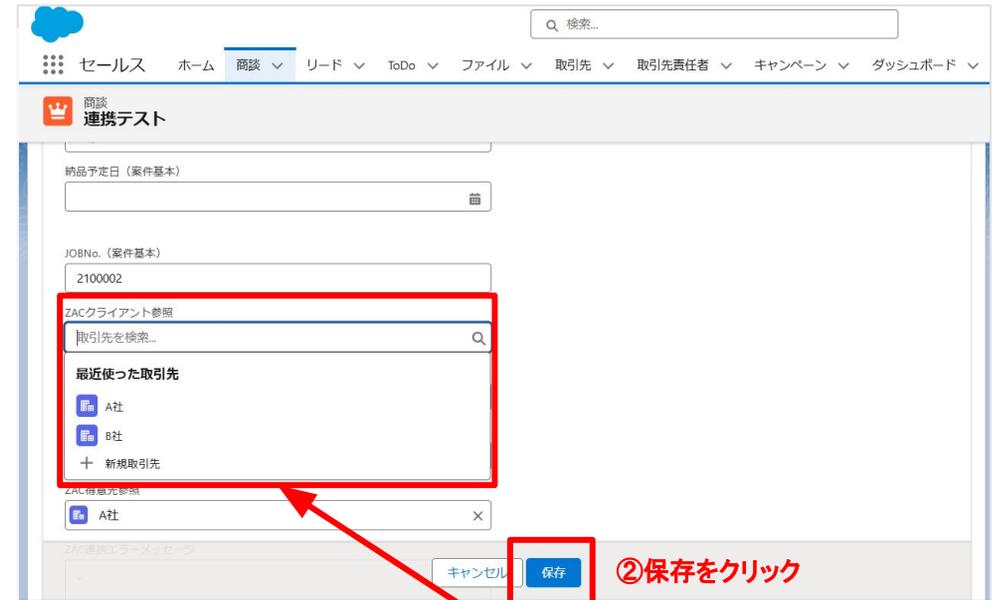
本項からは商談に取引先を紐づけることで、ZACに得意先、請求先、クライアントが連携される手順についてご紹介します。

商談に対して取引先を紐づけ、ZACの案件に正しく連携されるかを確認します。

商談に取引先の紐つきがない、もしくは紐づいた取引先に「ZACクライアント得意先マスターコード」の値が登録されていない場合は、ZACには仮登録で連携がされています。

ZACにクライアント、得意先、請求先を指定して連携するためには、商談に取引先を紐付けて行きます。

- ① 商談画面に遷移し、連携確認用の商談の詳細画面に入り、「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」について、取引先から参照して選択します。(クライアント、得意先、請求先に同一の取引先を選択することも、別々の取引先を選択することも可能です)
- ② 「保存」をクリックします。



①「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」について該当の企業を選択

取引先と商談の紐づけ

商談に取引先を紐付けた後のZACへの連携までの流れ

商談の「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」に対して取引先を紐づけることで、取引先レコードの「ZACクライアント得意先コード」が、商談レコードの「クライアント」、「得意先」、「請求先」の項目に連動します。

(クロスオブジェクト数式項目機能)

こちらの状態で、連携を実行することで、該当のZAC案件に「クライアント」「得意先」「請求先」を連携させることができます。

- ① 該当の商談の「クライアント」「得意先」「請求先」に値が入っていることを確認して、「[連携を実行](#)」します。
- ② ZACの案件基本を開き、「得意先」「請求先」「クライアント」が更新されていることを確認します。

The screenshot shows the Salesforce interface for a conversation record titled "連携テスト". The record ID is 2025/05/31. The following fields are visible:

- 請求予定日 (案件基本): 2025/04/30
- ZAC得意先参照: A社
- ZAC請求先参照: A社
- ZACクライアント参照: A社
- 得意先: 00003
- 請求先: 00003
- クライアント: 00003
- 案件名 (案件基本): A社 システム開発

A red box highlights the fields "得意先", "請求先", and "クライアント", with a red arrow pointing to the corresponding fields in the ZAC screenshot below.

②「クライアント」「得意先」「請求先」に値が入っていることを確認

The screenshot shows the ZAC interface for a case. The case ID is 0001. The transaction information is as follows:

取引先情報	
得意先	00003 A社
	99 その他
	99 その他
請求先	00003 A社
クライアント	00003 A社

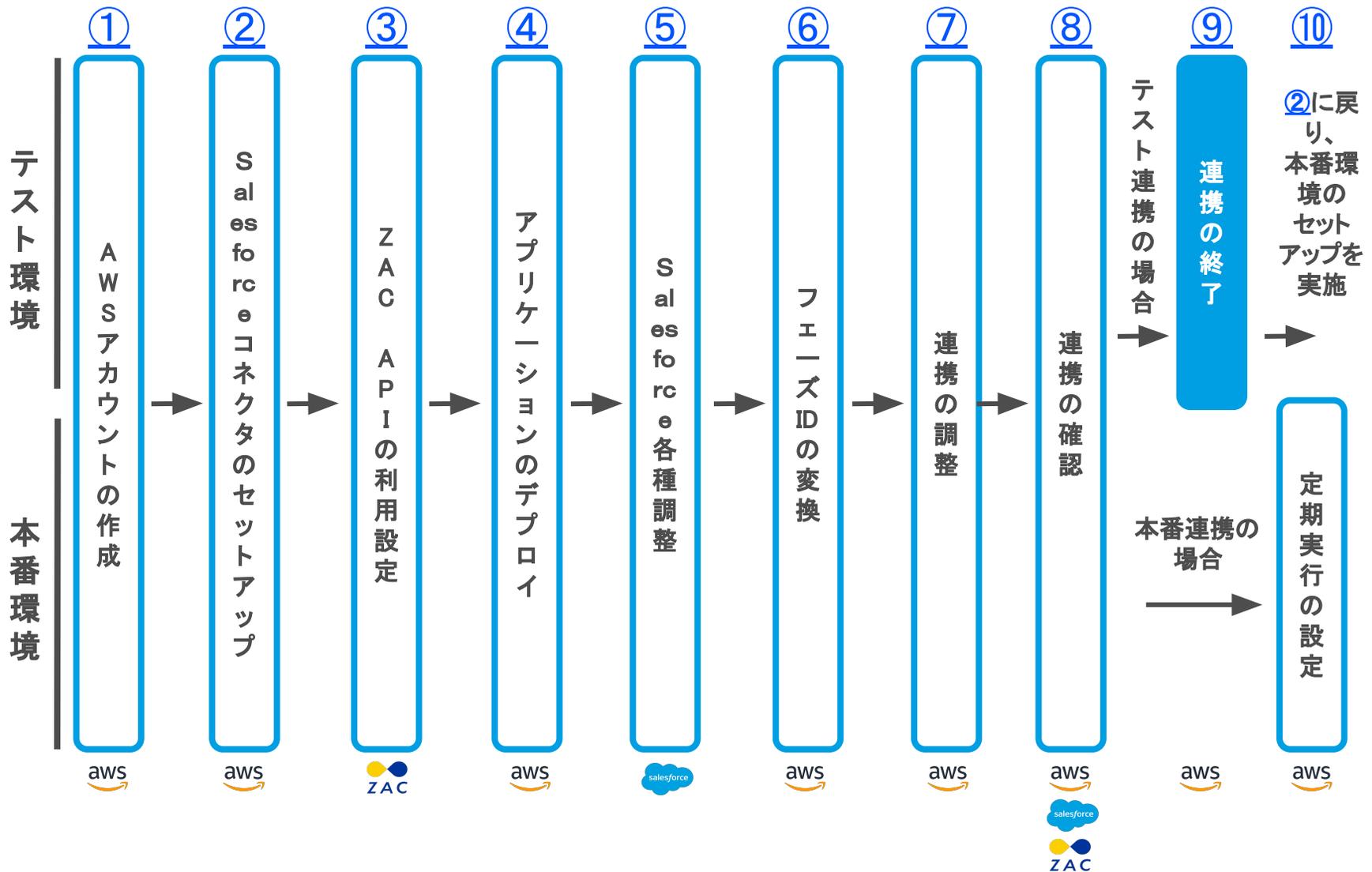
Red boxes highlight the "得意先" and "請求先" rows, and another red box highlights the "請求先" and "クライアント" rows.

②取引先情報が更新されていることを確認

12. 連携の終了

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceのテスト連携終了を行います。「連携情報の削除」後、「[7. ZAC APIの利用設定](#)」に戻り、本番環境のセットアップを行います。
 ※テスト連携を実施しない場合は、「[13. 定期実行の設定](#)」へお進みください。

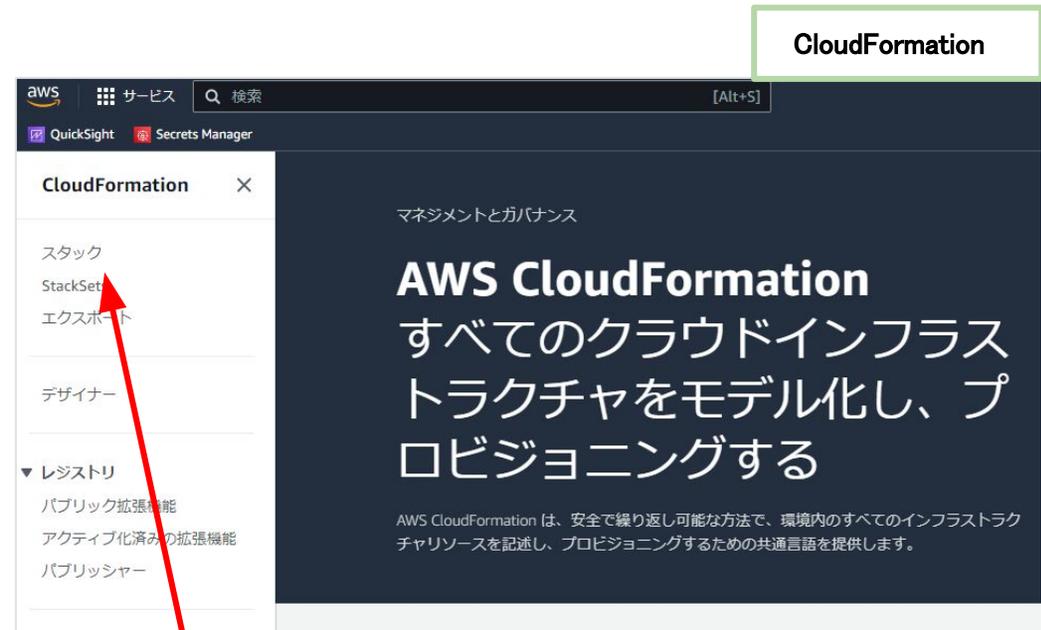


連携の終了

※テスト環境で連携テストを行わない場合は、本作業は不要です。

テスト環境で連携テストが完了し、ZAGとSalesforceの連携を終了させたい場合は、以下の手順を実施します。

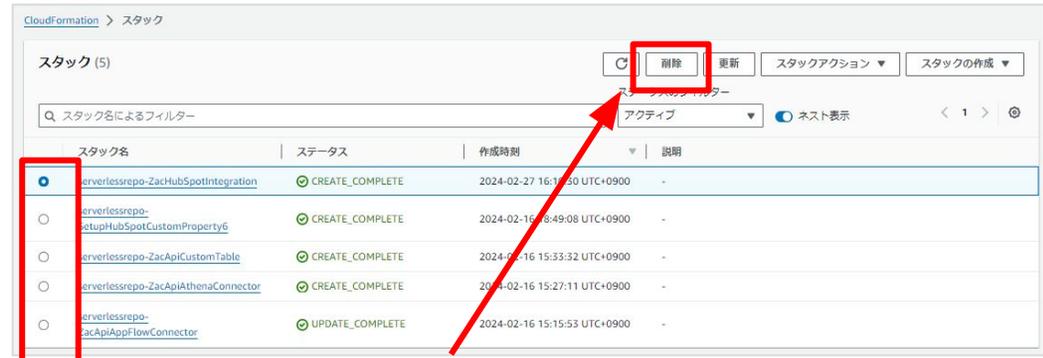
- ① ページ上部検索欄に「CloudFormation」と入力します。
- ② 検索一覧から「CloudFormation」をクリックします。
- ③ CloudFormationの画面が表示されましたら、「スタック」をクリックします。



連携の終了

- ④ スタック画面でスタック名 左側にチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。

※Salesforce本番環境とZAC本番環境の連携は、「[3 クイックガイド](#)」の流れに沿って実行してください。

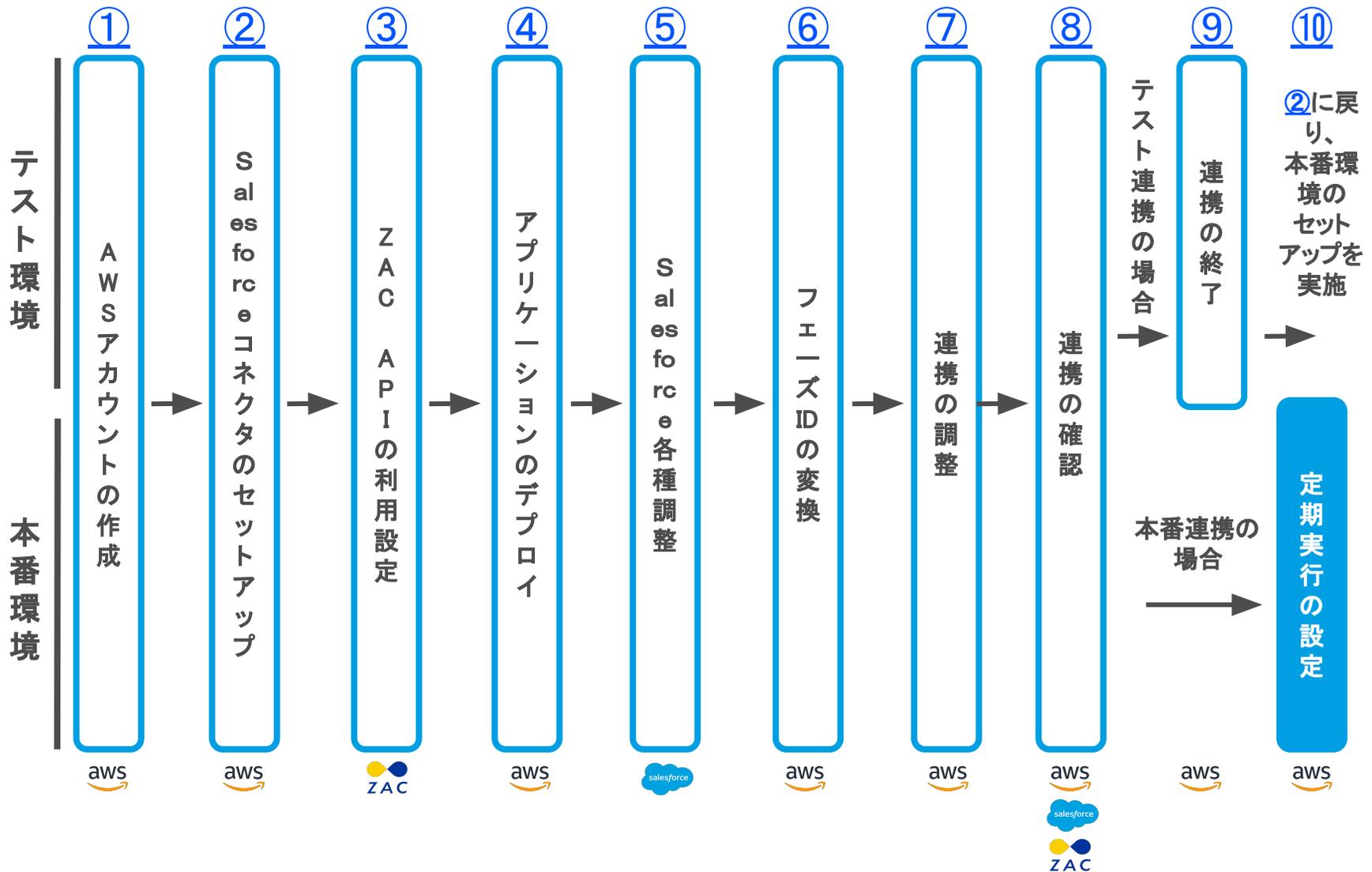


- ④ スタックを選択し、「削除」をクリック

13. 定期実行の設定

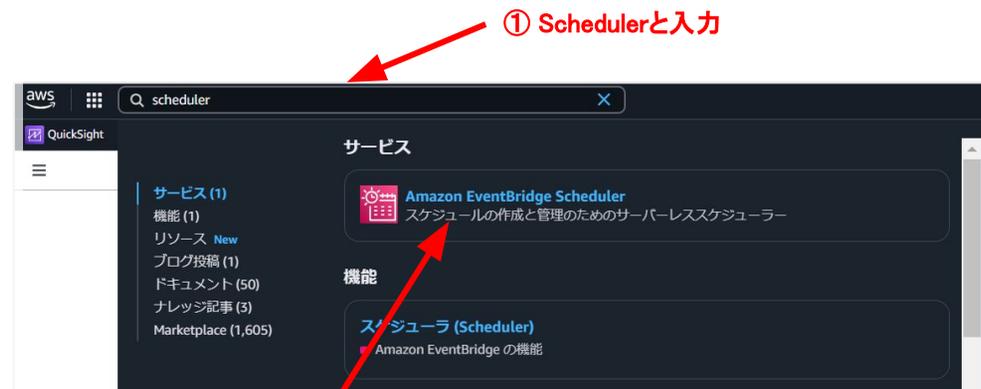
本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携の定期実行できるようスケジュールの設定を行います。



定期実行の設定

- ① ページ上部検索欄に「Scheduler」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon EventBridge Scheduler」をクリックします。



- ② Amazon EventBridge Schedulerをクリック

定期実行の設定

③ スケジュールの一覧から、実行スケジュールを変更したいスケジュールを選びます。

○受注前の商談の連携

テスト環境用の場合 : `zac-appflow-test-Schedule`

本番環境用の場合 : `zac-appflow-prod-Schedule`

初期設定 : 実行頻度は1時間に1回、
月曜日～金曜日の7:00～19:00

○受注後の商談の連携

テスト環境用の場合 : `zac-appflow-test-Schedule2`

本番環境用の場合 : `zac-appflow-prod-Schedule2`

初期設定 : 実行頻度は1日に1回、
月曜日～金曜日の6:00

○ZACクライアントの連携

テスト環境用の場合 : `zac-appflow-test-Client-Schedule`

本番環境用の場合 : `zac-appflow-prod-Client-Schedule`

初期設定 : 実行頻度は1日に1回、
月曜日～金曜日の6:00

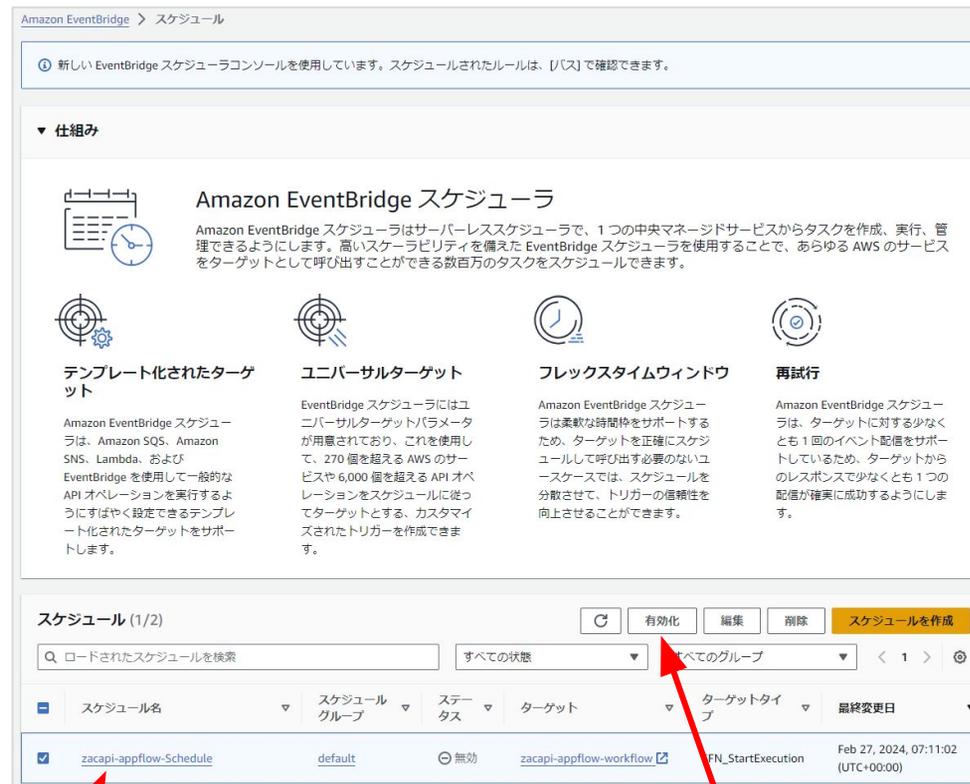
○カスタム項目の連携

テスト環境用の場合 : `SetupSfaCustomProperty-test-Schedule`

本番環境用の場合 : `SetupSfaCustomProperty-prod-Schedule`

初期設定 : 実行頻度は1日に1回、
月曜日～金曜日の6:00

⑤ 「有効化」をクリックします。



③ `zacapi-appflow-Schedule` を選択します

⑤ 有効化をクリックします

※連携の実行頻度や時間帯を変更する場合、「編集」をクリックし変更することができます。

設定方法については公式ドキュメント

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/scheduler/latest/UserGuide/schedule-types.html

を参照ください。

(補足)連携されていない既存商談と既存案件の連携

Salesforceで商談を登録しており、かつ、ZACで新規案件登録をしている場合、本頁の手順を行うことで、Salesforce/ZACの連携が可能となります。

【対象となるシチュエーション】

- ・Salesforceの商談: 該当の「JOBNo.」が登録されていない
- ・ZAC: Salesforceの商談の「Record ID」が、ZACの「旧JOBNo.」に登録されていない

【手順】

- ① 連携をしたいSalesforce商談とZAC案件の画面を開きます。
- ② Salesforce商談画面の「ZAC連携エラーメッセージ」に表示されているエラー内容を確認し、ZACへの連携に必要な項目の入力をします。
- ③ Salesforce商談画面で、「JOBNo.(案件基本)」にZACのJOBNo.を入力します。
- ④ ZAC案件基本画面で、「旧JOBNo.」にSalesforceの「Opportunity ID」を入力します。
(「Opportunity ID」はSalesforce商談画面のURLで確認できます)

【注意事項】

- ・連携対象とした場合、Salesforceのデータが正となり、ZACの案件基本の情報がSalesforceの商談情報に上書きされるため、Salesforce側のデータを正しく入力してください。
- ※案件名・クライアント・得意先・請求先・営業担当者・事業セグメント・集計区分・各種日付等が、Salesforce側の情報で上書きされます。

④ ZACの旧JOBNo.にSalesforceの「Opportunity ID」を入力

SalesforceのOpportunity ID Salesforce

② エラー内容を確認し、修正

③ Salesforceの商談の「JOBNo.(案件基本)」にZACのJOBNo.を入力

ZAC

2100001 デモ用案件 (連携エラー)

営業担当者 9999 ヌカ 1-ガ- 売上予定日 2025/03/31 売上金額 1,000,000

案件基本 | 利益計画 | 見積 | 受注・失注 | 請求 | 売上

案件情報 | 担当者情報 | 取引先情報 | スケジュール | 付帯情報

案件情報

資格請求 ZACのJOBNo. 適格

JOBNo.	2100001
旧JOBNo.	
案件名	デモ用案件 (連携エラー)
決定確率	C (30 ~ 50%未満)
事業セグメント	コンサルティング

補足)AWSアカウント作成の流れ

AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

はじめにAWSアカウントのログイン情報を登録します。下記のURLよりサインアップ画面に移動します。

<https://portal.aws.amazon.com/billing/signup#/start>

※表示されたページが「日本語」でない場合、ページ右上より「日本語」を選択後、サインアップ画面へお進みください。

「ルートユーザーのEメールアドレス」にはAWSへのログイン時に使用するメールアドレスを設定します。

「AWSアカウント名」に、お客様のお名前を半角アルファベットで入力します。

入力が完了したら、「認証コードをEメールアドレスに送信」ボタンをクリックします。

※ご登録いただくメールアドレスは、AWS 側からの通知等にも利用されます。複数の方への通知が必要な場合は、メーリングリストのご利用をご検討ください。



AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

「ルートユーザーの E メールアドレス」で入力したメールアドレスに届いた確認コードを入力します。

入力が完了したら、「認証を完了して次へ」ボタンをクリックします。



AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

「root ユーザーパスワード」で AWS へのログイン時に使用するパスワードを設定し、確認用にもう一度同じパスワードを入力します。

※パスワードは8文字以上で次のうち3つ以上が含まれている必要があります。

- ・ 半角英字大文字
- ・ 半角英字小文字
- ・ 半角数字
- ・ 半角記号

入力が完了したら、「次へ」ボタンをクリックします。



AWSアカウントの作成の流れ



② 連絡先情報の入力

法人でのご利用であれば、「ビジネス - 職場、学校、組織向け」、個人のご利用であれば「個人 - ご自身のプロジェクト向け」を選択します。

連絡先情報は、すべて「半角アルファベットおよび半角数字」で入力します。AWS カスタマーアグリーメント (利用規約) に同意の上、チェックボックスをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

AWSアカウントの作成の流れ



③ 請求情報の入力

お客様の有効なクレジットカードまたはデビットカード情報を入力します。AWS では、ほとんどの主要クレジットカードとデビットカードをご利用いただけます。カード番号、有効期限などの情報に間違いのないようお気をつけください。

請求先住所を選択します。前のステップでご入力いただいたご住所と同様の場合は、「連絡先住所を使用する」を選択します。アカウント作成時にご入力いただいたご住所と異なる請求先となる場合は、「新しい住所を使用する」を選択して、請求先住所を入力します。

入力が完了したら、「確認して次へ」ボタンをクリックします。

日本語 ▼

aws

AWS にサインアップ

請求情報

クレジットカードまたはデビットカード番号

VISA Mastercard American Express JCB UnionPay

AWS では、ほとんどの主要クレジットカードとデビットカードをご利用いただけます。支払いオプションの詳細については、よくある質問をご確認ください

有効期限日

月 ▼ 年 ▼

カード保有者の氏名

請求先住所

連絡先住所を使用する
Meguro3-9-1
Meguro-ku Tokyo 136-0076
JP

新しい住所を使用する

確認して次へ - (ステップ 3/5)

確認のための請求を承認するために、銀行のウェブサイトからリダイレクトされる場合があります。

AWSアカウントの作成の流れ



④ SMSまたは音声電話による本人確認

作成していただいた AWS アカウントのご本人確認を行います。テキストメッセージ (SMS) または、電話 (自動音声) をお選びいただけます。

SMS または電話 (日本語自動音声) で4桁の検証コードが届きます。

検証コードが届いたら入力欄に検証コードを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

AWSアカウントの作成の流れ



⑤ AWS サポートプランの選択

最後に AWS のサポートプランの選択を行います。

有償のサポートを現時点で必要としていない場合は、「ベーシックサポート」を選択します。

選択が完了したら、「サインアップを完了」ボタンをクリックします。

※開発者、デベロッパー、ビジネスいずれかの有償プランをご選択した場合、月額最低サポート料金が加入時に請求となります。有償プランは AWS アカウント作成後にお申込みいただくこともできます。

日本語 ▼

aws

AWS にサインアップ

サポートプランを選択

ビジネスアカウントまたは個人アカウントのサポートプランを選択します。プランと料金の例を比較 [🔍](#) します。プランは、AWS マネジメントコンソールでいつでも変更できます。

<input checked="" type="radio"/> ベーシックサポート - 無料 <ul style="list-style-type: none"> AWS の使用を開始したばかりの新規ユーザーにお勧め AWS リソースへの 24 時間 365 日対応のセルフサービスアクセス アカウントと請求の問題のみ Personal Health Dashboard と Trusted Advisor へのアクセス 	<input type="radio"/> デベロッパーサポート - 29 USD/月から <ul style="list-style-type: none"> AWS を試用するデベロッパーにお勧め 営業時間中の AWS サポートへの E メールでのアクセス 12 (営業) 時間の応答時間 	<input type="radio"/> ビジネスサポート - 100 USD/月から <ul style="list-style-type: none"> AWS での実稼働のワークロードの実行にお勧め E メール、電話、チャットによる 24 時間年中無休のテクニカルサポート 1 時間の応答時間 Trusted Advisor のベストプラクティスに関するすべての推奨事項
--	--	--

エンタープライズレベルのサポートが必要ですか?
 1 か月あたり 15,000 USD から、担当のテクニカルアカウントマネージャーが 15 分間応対し、コンシエルジュ形式のサービスをご利用いただけます。詳細は [こちら](#) [🔍](#)

サインアップを完了

参考) 連携フローを変更したい場合

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携フローの変更をしたい場合の方法を解説します

テンプレートのマッチング項目を変更したい場合、ZACへ連携する案件の進捗を変更したい場合はご参照ください。

※本番連携での実施を想定していますが、テスト連携でも実施いただけます。

AppFlowでのマッチングの変更

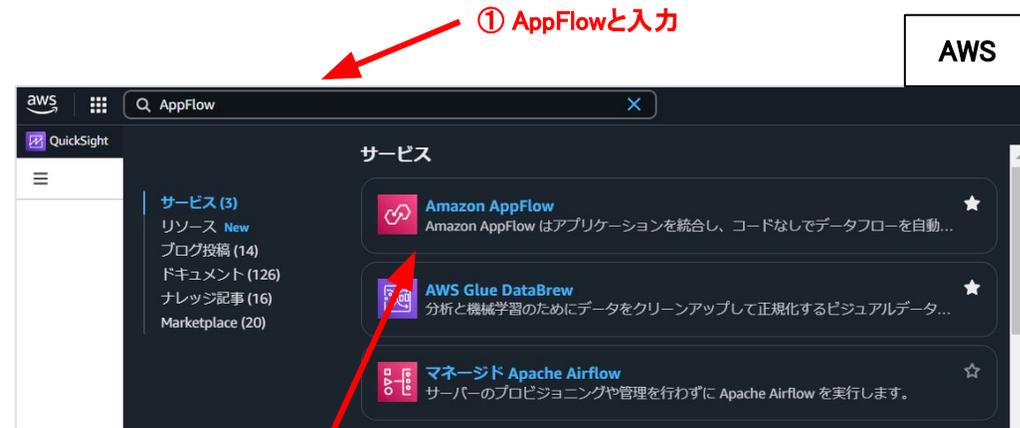
例)

- ・「クローズ日」を「売上予定日」として連携したい
- ・「商談金額」と「売上金額」は別で管理したい

AppFlow/Amazon S3の連携項目を定義します。

【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。



② Amazon AppFlowをクリック



③ 「フローを表示」をクリック

AppFlowでのマッチングの変更

④ 一覧から

- ・送信元: Salesforce
- ・送信先: Amazon S3

下記の該当のフローを選択します。

本番環境用の場合:

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity`

テスト環境用の場合:

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity`

⑤ 画面下部のマッピングされたフィールドで

「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥ 送信元から送信先フィールドへのマッピング欄で、

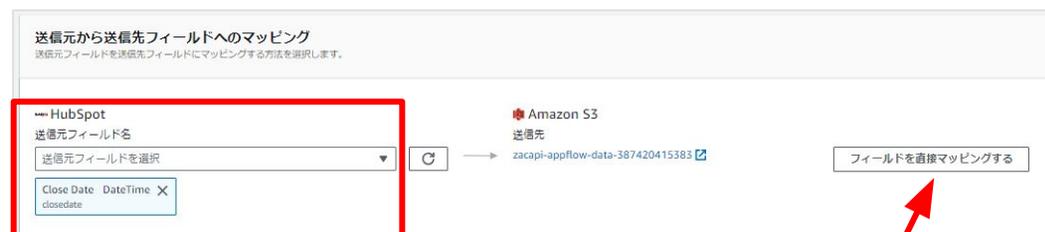
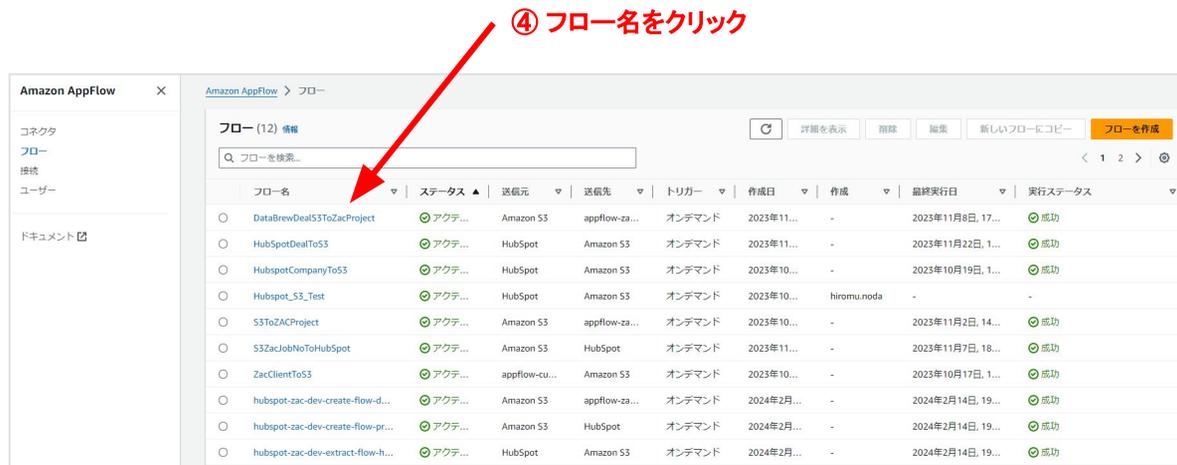
「送信元フィールド名」のプルダウンから、

連携したい項目を選択し、

「フィールドを直接マッピングする」

をクリックします。

※右図は「クローズ日」をSalesforceからAmazon S3へ送信する流れを記載しています。



⑥ 「送信元フィールド名」から「クローズ日」を選択し、「フィールドを直接マッピングする」をクリック

AppFlowでのマッチングの変更

⑦ 最後に、画面右下の「保存」ボタンをクリックします。

▶ **パーティションと集約の設定**
パーティションと集約の設定を使用して、出力データをフォルダやファイルに整理します。これらの設定で、データにアクセスするアプリケーションのクエリパフォーマンスを最適化できます。

▶ **妥当性確認 - オプション**
データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ **保存**

⑦ 「保存」ボタンをクリック

AppFlowでのマッチングの変更

Amazon S3/ZACの連携項目を定義します。

【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。



② Amazon AppFlowをクリック



③ 「フローを表示」をクリック

AppFlowでのマッチングの変更

④ 一覧から

- ・送信元: Amazon S3
- ・送信先: [取込コネクタ名](#)

下記それぞれ該当のフローを選択します。

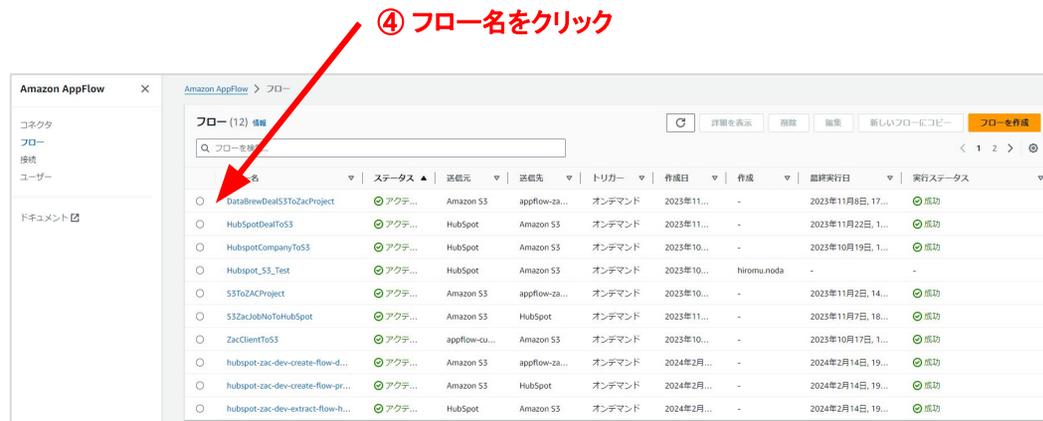
本番環境用の場合:

[zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac](#)
[zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac](#)

テスト環境用の場合:

[zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac](#)
[zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac](#)

- ### ⑤ 画面下部のマッピングされたフィールドで 「データフィールドを編集」をクリックします。



AppFlowでのマッチングの変更

- ⑥ マッチングを変更したい項目が、すでに別の項目とマッチングされている場合は、該当項目を選択し、「選択したマッチングを削除」をクリックします。

※右図は、初期値でSalesforceの「売上予定日」がZACの「売上予定日」にマッチングされてますので、「選択したマッチングを削除」を実施します。

- ⑦ 送信元から送信先フィールドへのマッピング欄で、「送信元フィールド名」のプルダウンから連携したい項目を選択し、「送信先フィールド名」でマッチングさせたい項目を選択し、「マップフィールド」をクリックします。

※右図は「クローズ日」をAmazon S3から 取込コネクタへ送信する 流れを記載しています。

マッピングされたフィールド (1/31) 情報

すべての 31 マッピングを選択 式を追加 値を変更 選択したマッチングを削除

送信元フィールド名	送信先フィールド名	式	データを変更
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_code_tokuisa_ki zac_project_infos_code_tokuisaki	得意先コード AddProjectInfos_CodeTokuisaki	-	-
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_code_tokuisa_ki_person zac_project_infos_code_tokuisaki_per son	得意先担当者コード AddProjectInfos_CodeTokuisakiPerson	-	-
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_code_tokuisa_ki_section zac_project_infos_code_tokuisaki_sec tion	得意先部門コード AddProjectInfos_CodeTokuisakiSection	-	-
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_code_type_d ata_import_progress zac_project_infos_code_type_data_i mport_progress	取込進捗 AddProjectInfos_CodeTypeDataimportProgress	-	-
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_date_hikiai zac_project_infos_date_hikiae	引継日 AddProjectInfos_DateHikiae	-	-
<input type="checkbox"/> zac_project_infos_date_kekka_h appyou zac_project_infos_date_kekka_happy you	受注予定日 AddProjectInfos_DateKekkaHappyyou	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> zac_project_infos_date_urinage_y yotai zac_project_infos_date_urinage_yotai	売上予定日 AddProjectInfos_DateUriageYotai	-	-

⑥ マッチングを解除する項目を選択し、「選択したマッチングを削除」をクリック

送信元から送信先フィールドへのマッピング

送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

Amazon S3

送信元フィールド名

送信元フィールドを選択

Close Date DateTime X
closedate

ZAC API Connector

送信先フィールド名

売上予定日

マップフィールド

⑦ 「送信元フィールド名」から「クローズ日」を選択し、「送信先フィールド名」で「売上予定日」を選択し、「マップフィールド」をクリック

AppFlowでのマッチングの変更

⑧ 最後に、画面右下の「保存」ボタンをクリックします。

▶ 妥当性確認 - オプション
データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル 前へ 次へ 保存

⑧ 「保存」ボタンをクリック



Glue DataBrewでのデータ変換の変更

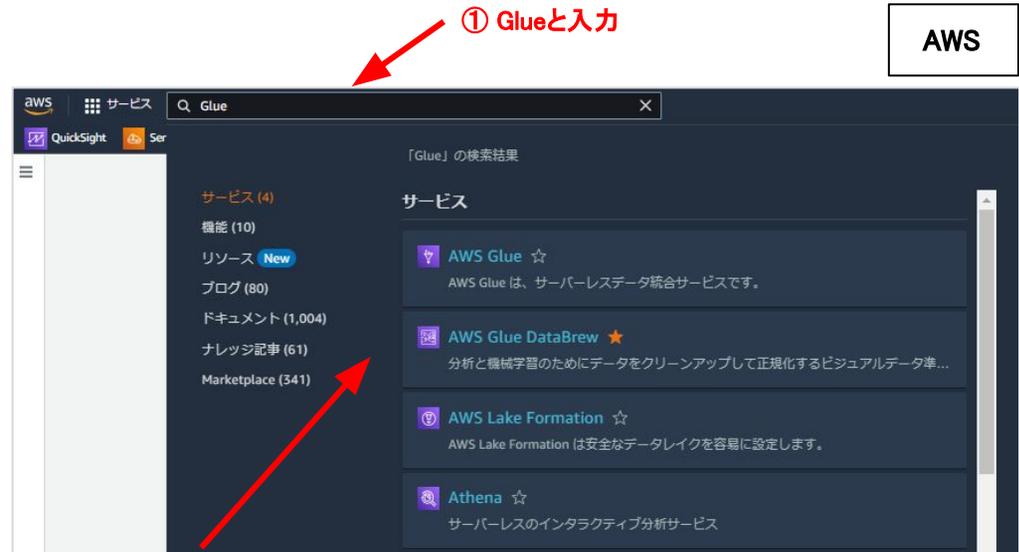
例) SalesforceからZACへ、取込進捗「引承」ではなく、「受承」で連携したい場合

AWS Glue DataBrewサービスの選択

【新規案件登録】

- ① ページ上部検索欄に「Glue」と入力します。
- ② 検索一覧から「AWS Glue DataBrew」をクリックします。
- ③ 「プロジェクト」画面でプロジェクト名:
「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-brew-project」
もしくは
「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project」
をクリックします。

AWS



② AWS Glue DataBrewをクリック

Glue DataBrew

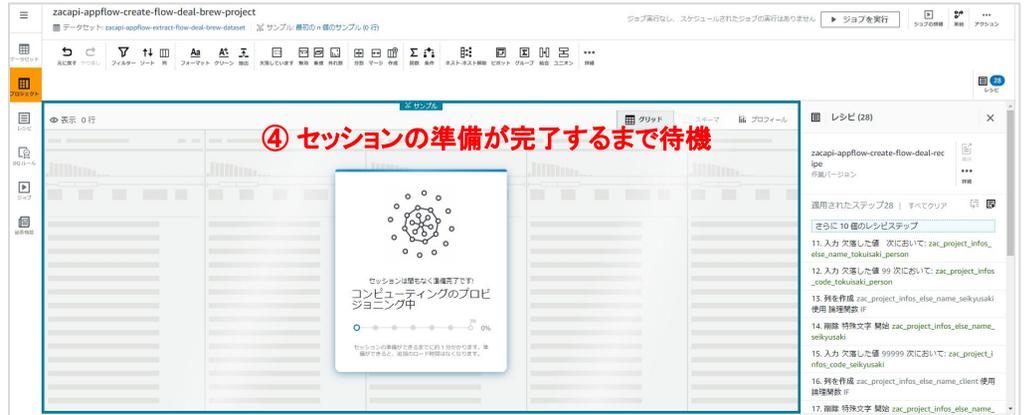
A screenshot of the AWS Glue DataBrew project list page. The page title is 'プロジェクト (4)'. There is a search bar for projects. Below the search bar is a table with columns: 'プロジェクト名', '関連付けられたデータセット', 'アタッチされたレシビ', 'ジョブ', '作成日', '作成者', '次により使用中:', and 'タグ'. The table contains four rows of project data. The first row is 'zacapi-appflow-update-flow-project-brew-project'. The second row is 'zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-project'. The third row is 'zacapi-appflow-create-flow-project-brew-project'. The fourth row is 'zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-project', which is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from the text '③ 「プロジェクト」をクリックし、プロジェクト画面で...'.

プロジェクト名	関連付けられたデータセット	アタッチされたレシビ	ジョブ	作成日	作成者	次により使用中:	タグ
zacapi-appflow-update-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日, 4:11:47 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-update-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日, 4:11:46 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-project-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-project-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-project-brew-job	2日前 2024年2月27日, 4:11:45 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-
zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-project	zacapi-appflow-extract-flow-deal-brew-dataset	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-recipe	zacapi-appflow-create-flow-deal-brew-job	2日前 2024年2月27日, 4:11:44 午後	zacapi-appflow-custom-resource-function-role	-	-

③ 「プロジェクト」をクリックし、プロジェクト画面で「zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-brew-project」もしくは「zac-appflow-test-create-flow-opportunity-brew-project」をクリック

Glue DataBrewでのデータ変換の変更

- ④ セッションの準備が完了するまで待機します。
- ⑤ 準備完了後、画面右側の「レシピ」から「zac_project_sales_code_type_data_import_progress」の「編集」を選択します。
- ⑥ 「カスタム値」に「03」を入力し、「適用」ボタンをクリックします。



⑤⑥
「03」を入力し、「適用」をクリック



Glue DataBrewでのデータ変換の変更

- ⑦ 「レシピのステップを検証」画面が表示されます。
 検証が完了しましたら、「続行」ボタンを押してクローズします。



Glue DataBrewでのデータ変換の変更

【案件更新】

① AWS Glue DataBrewから「プロジェクト」画面にもどり、

プロジェクト名:

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」

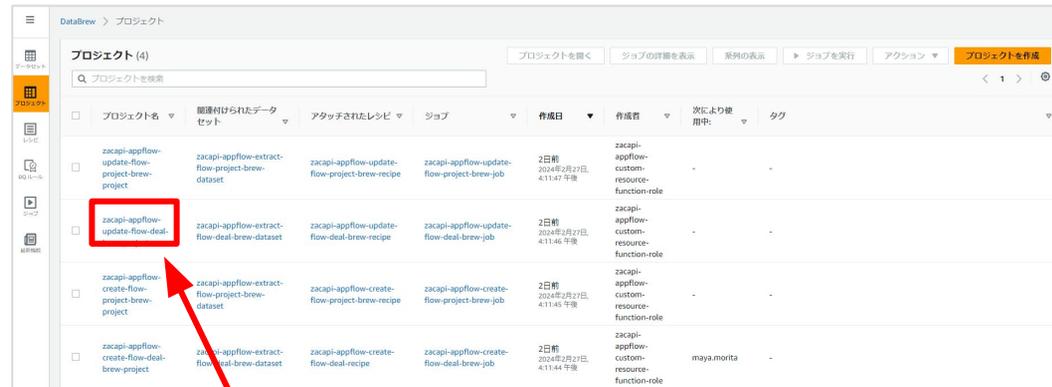
もしくは

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」

をクリックします。

② 以下の手順「[新規案件登録](#)」の流れと同じとなりますので、

省略します。



① プロジェクト画面で

「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-brew-project」

もしくは

「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-brew-project」をクリック

参考) Salesforce・AWS公式ドキュメント各種

Salesforceヘルプセンター

<https://help.salesforce.com/s>

Amazon AppFlow の開始方法 (動画とデモ)

<https://aws.amazon.com/jp/appflow/getting-started/?amazon-appflow-blogs.sort-by=item.additionalFields.createdDate&amazon-appflow-blogs.sort-order=desc&appflow-whats-new.sort-by=item.additionalFields.postDateTime&appflow-whats-new.sort-order=desc>

Amazon AppFlow User Guide

<https://docs.aws.amazon.com/appflow/latest/userguide/what-is-appflow.html>

Amazon Glue DataBrew Developer Guide

<https://docs.aws.amazon.com/databrew/latest/dg/getting-started.html>

[AWS Black Belt Online Seminar] AWS Glue DataBrew

https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20210217_BlackBelt_GlueDataBrew.pdf

Glue DataBrew ハンズオン

<https://dcj71ciaiav4i.cloudfront.net/322031A0-7CA9-11EB-8D02-B70DEDD8DFCB/>

AWS Step Functions の開始方法

<https://aws.amazon.com/jp/step-functions/getting-started/>

Amazon EventBridge

<https://aws.amazon.com/jp/eventbridge/>



 oRo co.,ltd.